

省エネ法・温対法報告

for Salesforce

操作マニュアル

2023年10月13日

目次

はじめに	2
本書の位置付け	2
対象読者	2
システムの構成	3
利用手順	4
1. 事前準備	7
1.1. 本アプリ利用の準備	7
1.1.1. 権限の割り当て	7
1.1.2. 「固定資産によるエネルギー使用量」のページレイアウト割り当て	9
1.1.3. 「車両によるエネルギー使用量」のページレイアウト割り当て	13
1.1.4. Apex 例外メールの登録	16
1.2. 省エネ法・温対法定期報告書作成のための準備	18
1.2.1. 「特定事業者情報」登録	18
1.2.2. 「事業者全体の報告」登録	21
1.2.3. 「工場等毎の報告」登録	23
2. エネルギーの使用量の登録	25
2.1. 追加設定による燃料種別の登録	25
2.2. 「定期報告書係数」登録	30
2.3. 「その他の排出係数セット」登録	38
2.4. 「その他の排出係数セット項目」登録	41
2.5. 「固定資産によるエネルギー使用量」登録	44
2.6. 「車両によるエネルギー使用量」登録	67
2.7. エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の再集計	78
3. 省エネ法定期報告に必要な情報の入力	81
3.1. 「定期報告書用その他情報」を登録	81
3.2. 「工場等毎の報告」の入力	96
3.3. 「事業者全体の報告」の入力	114
3.4. 「事業分類毎の集計」の入力	128
3.5. 「特定事業者情報」の入力	130
4. 温対法定期報告に必要な情報の入力	136
4.1. 温対法用「特定事業者情報」登録	136
4.2. 温対法用「定期報告書用その他情報」登録	140
4.3. 温対法用「工場等毎の報告」登録	150
4.4. 温対法用「事業者全体の報告」登録	156
4.5. 温対法用「特定事業者情報」の詳細入力	161
5. XMLファイル出力手順	167
付録	172
オブジェクト構成図	172
オブジェクト機能説明	173
変更履歴	174

はじめに

本書の位置付け

本書は、Salesforce Net Zero Cloudに入力されたデータを「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（以下、「省エネ法」という）および「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下、「温対法」という）に基づく「算定・報告・公表制度」への定期報告書データを作成するアプリケーション「省エネ法・温対法報告 for Salesforce」（以下、「本アプリ」という）の操作マニュアルです。

省エネ法および温対法の制度や、定期報告書における報告事項の説明、Net Zero Cloudや省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（EEGS）（以下、「EEGS」という）の操作方法は本書の対象外となります。ご不明な点は、それぞれの記入要領やマニュアルを並行して参照いただきながらご利用ください。

対象読者

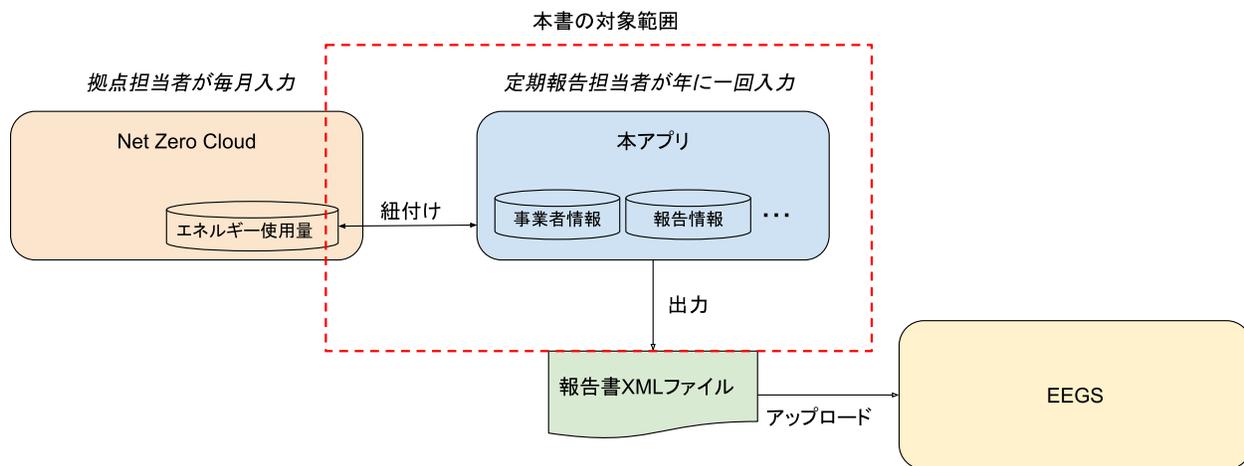
本書は、省エネ法および温対法の定期報告書を作成し提出する担当者を対象読者として想定しています。省エネ法および温対法の制度や、定期報告書の内容を理解していることが前提となります。

システムの構成

本アプリは、主に以下の3つの機能から構成されます。

1. Net Zero Cloudに入力されたエネルギー使用量の情報を集計し、省エネ法・温対法の定期報告の単位やフォーマットに変換する機能。
2. エネルギー使用量や二酸化炭素排出量以外の定期報告書に必要な項目を入力する機能。
3. EEGSへアップロード可能なXMLファイルを生成する機能。

Net Zero Cloudへ随時入力されたエネルギー使用量のうち、当該年度の対象となるデータが自動集計されるので、報告書作成者はエネルギー使用量や二酸化炭素排出量を算定する作業が不要となり、他に必要な項目を入力するだけで定期報告書データが完成します。



システム概要と本書の対象範囲

利用手順

STEP	操作	概要
事前準備		
本アプリ利用の準備		
1	権限の割り当て	本アプリを利用するユーザに、権限セット「省エネ法・温対法報告 for Salesforce」の割り当てを行います。
2	「固定資産によるエネルギー使用量」のページレイアウト割り当て	「固定資産によるエネルギー使用量」に本アプリ用のページレイアウトを割り当てます。
3	「車両によるエネルギー使用量」のページレイアウト割り当て	「車両によるエネルギー使用量」に本アプリ用のページレイアウトを割り当てます。
省エネ法・温対法定期報告書作成のための準備		
1	「特定事業者情報」を登録	省エネ法報告用の事業者情報を作成します。
2	「事業者全体の報告」を登録	特定表を作成するためのレコードを作成します。
3	「工場等毎の報告」を登録	工場等毎の基本情報を入力するためのレコードを作成します。
エネルギーの使用量の登録		
1	追加設定による燃料種別の登録	必要に応じて、報告に必要な燃料種別を追加で登録します。
2	「定期報告書係数」を登録	エネルギー使用量の集計で使用する燃料種別毎の発熱量や排出係数を登録します。（SHK制度における算定方法・排出係数で公開されている数値から変更する場合のみ。）

3	「その他排出係数セット」を登録	燃料用の排出係数セットを登録します。
4	「その他排出係数セット項目」を登録	燃料種別毎の排出係数を登録します。
5	「固定資産によるエネルギー使用量」を登録	燃料種別毎にエネルギー使用量等を入力し、関連するオブジェクトと紐付けを行い、登録します。
6	「車両によるエネルギー使用量」を登録	燃料種別毎にエネルギー使用量等を入力し、関連するオブジェクトと紐付けを行い、登録します。
7	エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の再集計	電気事業者別排出係数に更新があった場合など、「定期報告書係数」を変更後、関連する「固定資産によるエネルギー使用量」と「車両によるエネルギーによる使用量」を再計算を行います。
省エネ法定期報告に必要な情報の入力		
1	「定期報告書用その他情報」を登録	エネルギー使用量以外の報告に必要な各種情報を登録します。
2	「工場等毎の報告」の入力	工場等毎に報告が必要な情報を、関連するオブジェクトと紐付けを行い、登録します。
3	「事業者全体の報告」の入力	事業者情報と報告書情報の紐付けを行い、登録します。
4	「事業分類毎の集計」の入力	エネルギー使用に係る原単位を登録します。
5	「特定事業者情報」の入力	事業者情報を登録します。
温対法定期報告に必要な情報の入力		
1	「特定事業者情報」を登録	温対法報告用の事業者情報を登録します。

2	「定期報告書用その他情報を登録」	温室効果ガス排出量等を入力します。
3	「工場等毎の報告」を登録	工場等毎に報告が必要な情報を、関連するオブジェクトと紐付けを行い、登録します。
4	「事業者全体の報告」を登録	事業者情報と報告書情報の紐付けを行い、登録します。
5	「特定事業者情報」を詳細登録	温対法用の事業者情報を登録します。
報告書出力・更新・提出		
1	省エネ法／温対法用定期報告書のXMLファイル出力	作成した情報に基づき報告書データ(XMLフォーマット)を作成します。
2	報告書の提出	作成した報告書データを、EEGSにアップロードし、提出します。

図11.2 「省エネ法・温対法報告 for Salesforce」 のユーザ割り当て管理



図11.3 「省エネ法・温対法報告 for Salesforce」 のユーザ割り当て追加



1.1.2. 「固定資産によるエネルギー使用量」のページレイアウト割り当て

本アプリを使用して定期報告書を作成するためには、「固定資産によるエネルギー使用量」のページレイアウトを編集して、定期報告書作成用の項目を入力できるようにする必要があります。本アプリを使用するユーザプロフィールに専用のレイアウトを割り当てます。

※以下の設定手順では、一例として、システム管理者と標準ユーザに割り当てる場合を記載しています。

設定手順

1. ホームからアプリケーションランチャーを押下し、「省エネ法・温対法報告 for Salesforce」を押下します。[\(図1.1.4\)](#)
2. 「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。表示されていない場合は、タブの「さらに表示」を押下してください。タブにある「さらに表示」を押下し、「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。[\(図1.1.5\)](#)
3. 「固定資産によるエネルギー使用量」タブを開き、歯車アイコンから「オブジェクトを編集」を押下します。[\(図1.1.6\)](#)
4. メニューから「ページレイアウト」を押下し、右上の「ページレイアウトの割り当て」を押下します。[\(図1.1.7\)](#)
5. 「割り当てを編集」を押下し、本アプリの利用対象にページレイアウト「Shoen4nzdSAEULayout」を割り当てます。例えば、プロフィールが「システム管理者」と「標準ユーザ」の、レコードタイプが「マスタ」と「Stationary Asset Energy Use Layout」にレイアウト「Shoen4nzdSAEULayout」を割り当てます。他にも本アプリを利用したいレコードタイプがあれば同様に割り当てます。[\(図1.1.8\)](#)

図11.4 アプリケーションランチャーからの選択



図11.5 タブから「固定資産によるエネルギー使用量」を選択

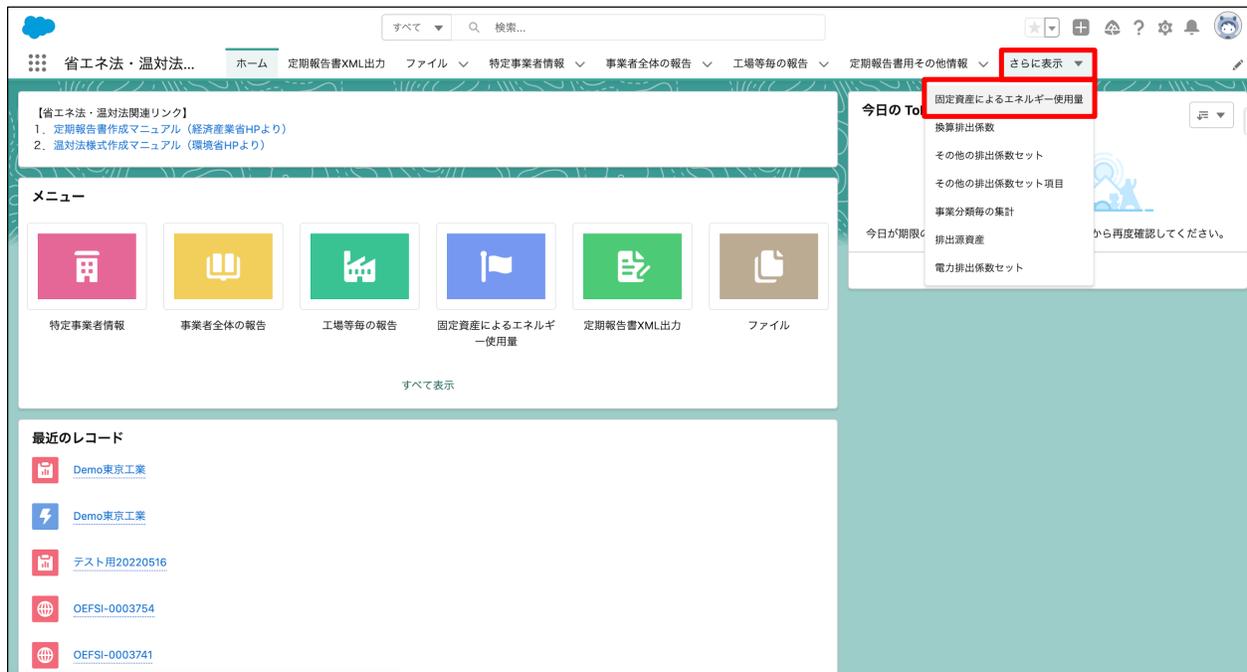


図11.6 「固定資産によるエネルギー使用量」オブジェクトを選択

固定資産によるエネルギー使用量

すべての固定資産によるエネルギー使用量

50+ 個の項目・並び替え基準: 名前・検索条件: すべての固定資産によるエネルギー使用量・1分前 に更新されました

名前 ↓	燃料種別	開始日	終了日	スコア...	燃料消...
13 本社工場 燃料油 3月	燃料油	2023/03/01		0.0000	708.96
14 本社工場 燃料油 2月	燃料油	2023/02/01		0.0000	721.81
15 本社工場 燃料油 1月	燃料油	2023/01/01		0.0000	797.11
16 本社工場 燃料油 12月	燃料油	2022/12/01		0.0000	751.20
17 本社工場 燃料油 11月	燃料油	2022/11/01		0.0000	639.28
18 本社工場 燃料油 10月	燃料油	2022/10/01		0.0000	719.54
19 本社工場 灯油 9月	灯油	2022/09/01		0.0000	701.46
20 本社工場 灯油 8月	灯油	2022/08/01		0.0000	742.07
21 本社工場 灯油 7月	灯油	2022/07/01		0.0000	721.43
22 本社工場 灯油 6月	灯油	2022/06/01		0.0000	623.42
23 本社工場 灯油 5月	灯油	2022/05/01		0.0000	685.57
24 本社工場 灯油 4月	灯油	2022/04/01		0.0000	798.32
25 本社工場 灯油 3月	灯油	2023/03/01		0.0000	644.24
26 本社工場 灯油 2月	灯油	2023/02/01		0.0000	607.17
27 本社工場 灯油 1月	灯油	2023/01/01		0.0000	686.26
28 本社工場 灯油 12月	灯油	2022/12/01		0.0000	637.96
29 本社工場 灯油 11月	灯油	2022/11/01		0.0000	801.28

図11.7 ページレイアウトの割り当て

固定資産によるエネルギー使用量

ページレイアウト

1件の項目 (ページレイアウト名順)

ページレイアウト名	作成者	更新者
Shoen4nzdSAEULayout	Fujii Hidekazu, 2022/11/07 19:45	Fujii Hidekazu, 2023/04/12 12:27

図1.1.8 ページレイアウトの割り当てを編集

レイアウトの割り当て
固定資産によるエネルギー使用量

以下のテーブルは、レコードタイプとプロファイルの組み合わせごとに割り当てられたページレイアウト

割り当ての編集

プロファイル	レコードタイプ	レイアウト
Analytics Cloud Integration User	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
Analytics Cloud Security User	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
Minimum Access - Salesforce	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
Read Only	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
システム管理者	Shoen4nzdSAEULayout	Shoen4nzdSAEULayout
ソリューション管理者	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
マーケティングユーザ	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
契約管理者	固定資産によるエネルギー使用量	Stationary Asset Energy Use Layout
標準 Platform ユーザ	Shoen4nzdSAEULayout	Shoen4nzdSAEULayout
標準ユーザ	Shoen4nzdSAEULayout	Shoen4nzdSAEULayout

割り当ての編集

プロファイル「システム管理者」と「標準ユーザ」にレイアウト「Shoen4nzdSAEULayout」を割り当てています。

1.1.3. 「車両によるエネルギー使用量」のページレイアウト割り当て

本アプリを使用して定期報告書を作成するためには、「車両によるエネルギー使用量」のページレイアウトを編集して、定期報告書作成用の項目を入力できるようにする必要があります。本アプリを使用するユーザプロフィールに専用のレイアウトを割り当てます。

※以下の設定手順では、一例として、システム管理者と標準ユーザに割り当てる場合を記載しています。

設定手順

1. 「車両によるエネルギー使用量」を押下します。表示されていない場合は、タブの「さらに表示」を押下してください。タブにある「さらに表示」を押下し、「車両によるエネルギー使用量」を押下します。(図11.9)
2. 「車両によるエネルギー使用量」タブを開き、歯車アイコンから「オブジェクトを編集」を押下します。(図11.10)
3. メニューから「ページレイアウト」を押下し、右上の「ページレイアウトの割り当て」を押下します。(図11.11)
4. 「割り当てを編集」を押下し、本アプリの利用対象にページレイアウト「Shoen4nzdSAEULayout」を割り当てます。例えば、プロフィールが「システム管理者」と「標準ユーザ」の、「レコードタイプ」にレイアウト「Shoen4nzdSAEULayout」を割り当てます。レコードタイプを複数設定しており、他にも本アプリを利用したいレコードタイプがあれば同様に割り当てます。(図11.12)

図11.9 タブから「車両によるエネルギー使用量」を選択

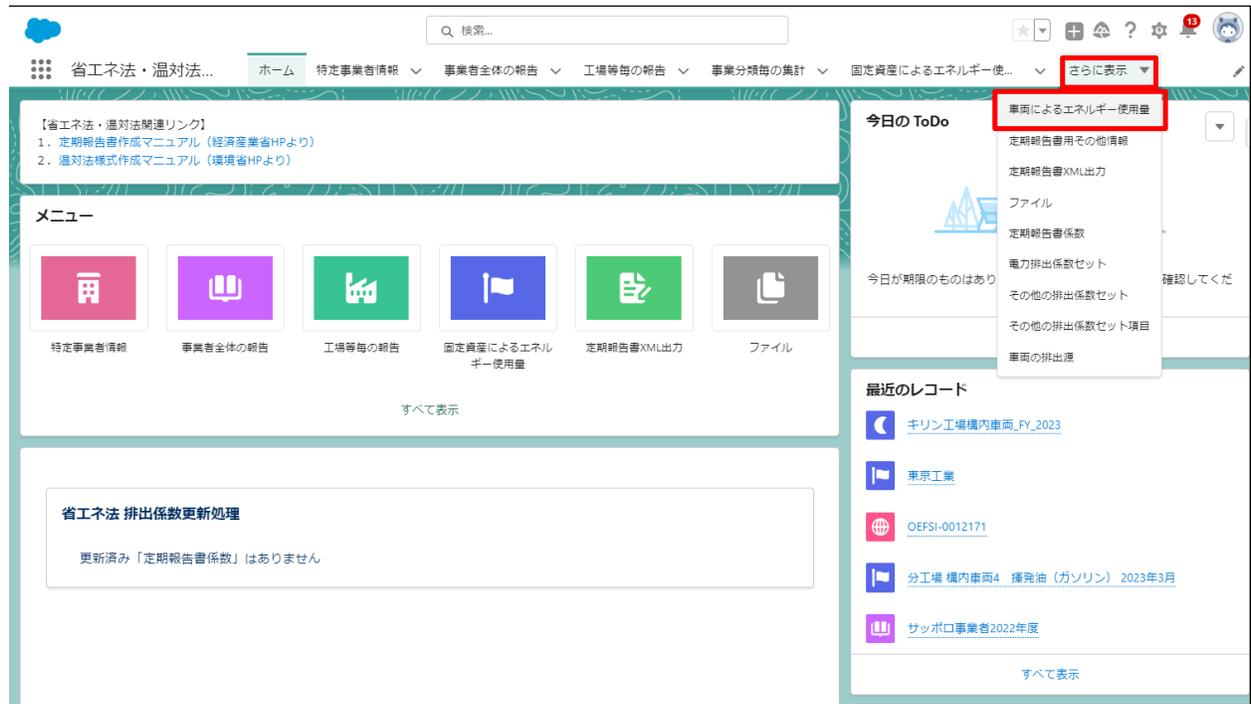


図11.10 「車両によるエネルギー使用量」オブジェクトを選択

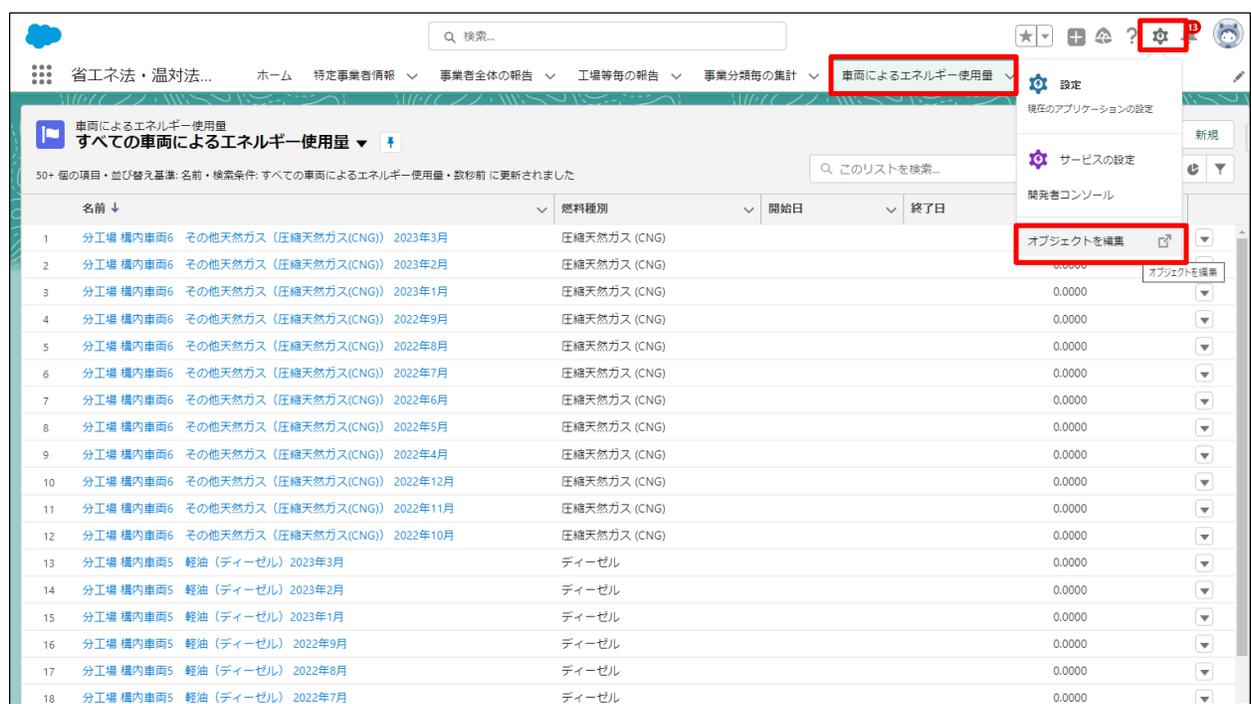
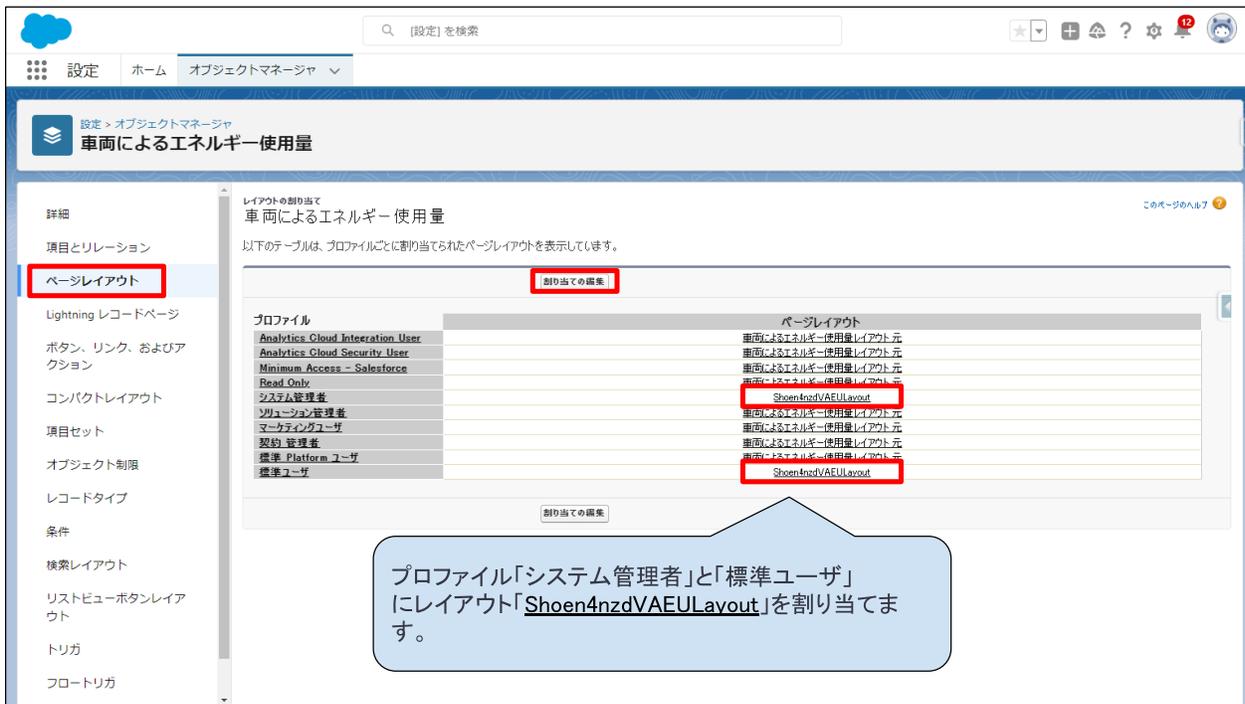


図1.1.11 ページレイアウトの割り当て



図1.1.12 ページレイアウトの割り当てを編集



1.1.4. Apex 例外メールの登録

本アプリを使用時に、Salesforceのアプリケーションサーバの制限に起因するエラーが発生した場合、本アプリのインストール時に「Apex エラーを通知」に登録したユーザにのみエラーの通知が届きます。本アプリの利用者と、登録したユーザが異なる場合は、Apex 例外メールに登録し、エラーの通知が届くようにします。

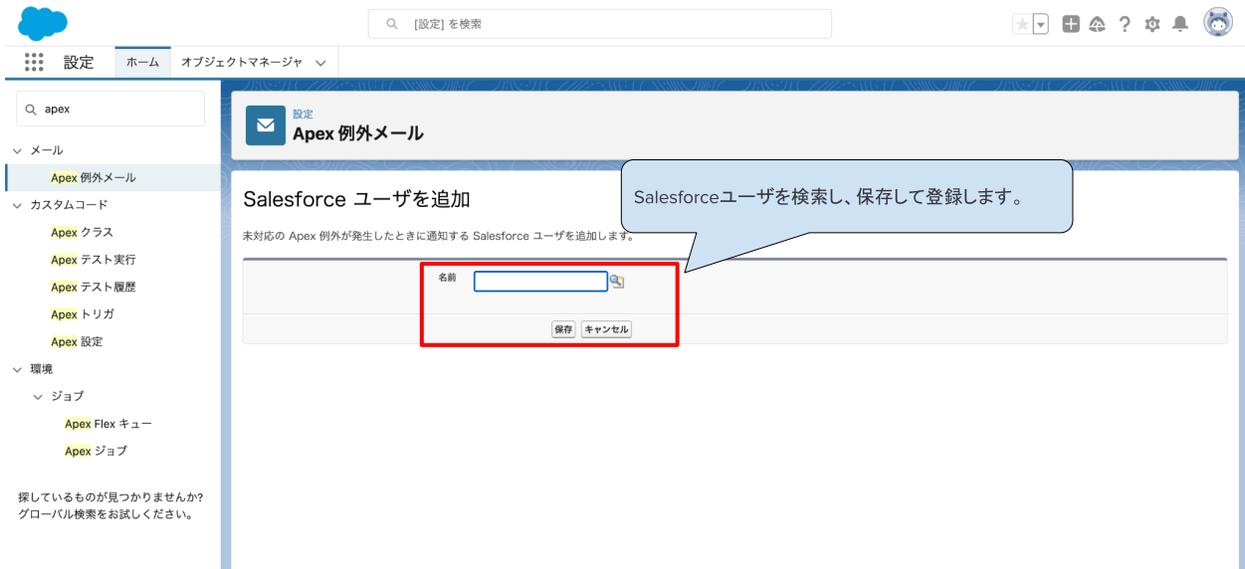
設定手順

1. メニュー「設定」から「メール」→「Apex例外メール」を選んで、Salesforceユーザを追加を押下します。(図1.1.13)
2. Salesforceユーザを検索し、通知したいユーザを選択して保存します。(図1.1.14)
3. Salesforceユーザ以外を通知先に指定したい場合は、外部メールアドレスを入力して保存します。(図1.1.13)

図1.1.13 Apex例外メールの登録



図1.1.14 Salesforceユーザを追加



1.2. 省エネ法・温対法定期報告書作成のための準備

本アプリを利用して定期報告書を作成するためには、まず初めに「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」のレコードを作成しておく必要があります。これらのレコードと「固定資産によるエネルギー使用量」のレコードを紐づけることで、定期報告書用のデータが生成されます。

なお、「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」は年度毎に作成する必要があります。省エネ法の報告年度が変わる4月に、当該年度用のレコードを新規作成してください。

1.2.1. 「特定事業者情報」登録

「特定事業者情報」に事業者の基本情報を入力します。

入力手順

1. 「特定事業者情報」タブから「新規」を押下し事業者情報を登録します。(図1.2.1)
2. 「特定事業者名」を入力し「保存」を押下します。(図1.2.2)
 - a. 「特定事業者情報」は毎年作成するレコードです。「特定事業者名」は年度が変わるような名称を推奨します。
 - b. 「特定事業者名」以外の情報は、報告書ファイル出力前に入力します。
 - c. この時点を入力しておきたい場合は、[3.5](#)に従って入力してください。
3. 保存後、参照画面に遷移し内容を確認します。(図1.2.3)

図1.2.1 「特定事業者情報」の新規登録



図1.2.2 特定事業者情報の入力・保存

新規特定事業者情報

情報

*特定事業者名 *は必須項目ですので必ず入力してください。

株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告

事業者全体の報告を検索中 年度がわかる名称を推奨します。

報告者情報を入力してください。

法人番号(13桁):

法人名(報告者名) 法人名(報告者名)(ふりがな)

報告者住所郵便番号(本社) 報告者住所(本社)(ふりがな)

報告者住所(本社) 報告者住所2(本社)(ふりがな)

報告者住所2(本社)

郵便番号 ※上記と異なる場合のみ記入

住所 ※上記と異なる場合のみ記入

キャンセル 保存 & 新規 保存

入力後「保存」を押下します。

図1.2.3 保存後の参照画

省エネ法・温対法... ホーム 定期報告書XML出力 ファイル ▼ 特定事業者情報 ▼ 事業者全体の報告 ▼ 工場等毎の報告 ▼ 定期報告書用その他情報 ▼ さらに表示 ▼

特定事業者情報
株式会社 東京工業 2022

新規取引先責任者 編集 新規商談 ▼

詳細 関連

▼ 情報

*
 ◎特定事業者名は年度ごとに識別できる名称を入力してください。
 (例：株式会社〇〇工業2022)
 ◎本レコードを「事業者全体の報告」に紐づける場合は当該「定期報告書名」を選択してください。

特定事業者名
株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告

▼ 提出日 *事業者全体の報告（定期報告書）の記入内容を自動表示しています。

提出年月日 提出年度

実績報告年度

▼ 報告者情報を入力してください。

法人番号(13桁) :
1234567891011

法人名(報告者名)
株式会社東京工業

報告者住所郵便番号(本社)
100-0000

法人名(報告者名) (ふりがな)
かぶしきがいしゃとうきょうこうぎょう

*郵便番号検索
郵便番号検索

事業者全体の報告 (0)

工場等毎の報告 (0)

定期報告書用その他情報 (0)

固定資産によるエネルギー使用量 (0)

メモ & 添付ファイル (0)

↑ ファイルをアップロード
またはファイルをドロップ

保存後、入力項目を確認してください。

1.2.2. 「事業者全体の報告」登録

「事業者全体の報告」に特定表に記載する情報を入力します。

入力手順

1. 「事業者全体の報告」タブから「新規」を押下します。(図1.2.4)
2. レコードタイプは様式9：定期報告書を選択し「次へ」を押下します。(図1.2.5)
3. 「定期報告書名」を入力します。毎年作成するレコードになりますので、年度がわかる名称をつけることを推奨します。「特定事業者情報」には1.2.1にて登録したレコードをルックアップ検索で選択し紐付けます。「提出年月日」はカレンダーから日付を選択します。「提出先」では選択可能な大臣を選択し「▶」を押下し「選択済み」のリストに追加します。(図1.2.6)

図1.2.4 事業者全体の新規登録

<input type="checkbox"/>	定期報告書名 ↑	レコードタイプ	該当する...	特定事業者情報	エネルギー...	エネルギー...
<input type="checkbox"/>	BIテスト1	様式9：定期報告書		BIテスト1		
<input type="checkbox"/>	F2 令和3年度報告	様式9：定期報告書		F2 (様式1)		
<input type="checkbox"/>	F2 令和3年度報告202204	様式9：定期報告書		F2 (様式1)		
<input type="checkbox"/>	F2グループ_令和3年度報告_20220430	様式9：定期報告書		F2_小山工場_20220420_省エネ報告		
<input type="checkbox"/>	Test00000_0621	様式9：定期報告書		Test0001_0621		
<input type="checkbox"/>	Test000001	様式9：定期報告書		Test0001	0.0000	-10.9260
<input type="checkbox"/>	Test000001-0624	様式9：定期報告書				
<input type="checkbox"/>	Test000001-0625	様式9：定期報告書		Test0001		
<input type="checkbox"/>	Test000001-1	様式9：定期報告書				
<input type="checkbox"/>	Test000009	様式9：定期報告書		Test0002		
<input type="checkbox"/>	test11111	様式9：定期報告書				
<input type="checkbox"/>	test20220512_定義報告書_特定事業者Test0001紐づけ	様式9：定期報告書				
<input type="checkbox"/>	Test20220624	様式9：定期報告書		Test20220624		
<input type="checkbox"/>	testBBBB	様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告		testBBBB 温対法		
<input type="checkbox"/>	TestWarming0001	様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告				
<input type="checkbox"/>	TestWarming0009	様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告		Test0002		
<input type="checkbox"/>	TestWarming20220624	様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告		Test20220624Warming		
<input type="checkbox"/>	Unit test 株式会社 エコネコルテスト	様式9：定期報告書		Unit test 株式会社 エコネコルテスト		
<input type="checkbox"/>	Unit test 株式会社 エコネコル(温対法)	様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告		Unit test 株式会社 エコネコル(温対法)		
<input type="checkbox"/>	あおぞら銀行2021	様式9：定期報告書		あおぞら銀行 2021		

図1.2.5 レコードタイプを選択

新規事業者全体の報告

レコードタイプを選択

様式9：定期報告書
 特定事業者は前年度のエネルギー使用量等について、特定第1表から第12表まで記入

様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告
 特定事業者は前年度の温室効果ガス排出量を算定し、第1表から第6表まで記入

キャンセル 次へ

図1.2.6 情報、追加情報、提出日、提出先の入力

新規事業者全体の報告: 様式9：定期報告書

* = 必須情報

情報

レコードタイプ
様式9：定期報告書

* 定期報告書名

株式会社 東京工業 2022

特定事業者情報

株式会社 東京工業 2022

追加情報

事業者全体の報告_追加情報を検索...

提出日 ※提出日と提出先を入力してください。

* 提出年月日

2022/06/29

* 提出先

選択可能	選択済み
経済産業大臣(北...	経済産業大臣(関東経...

経済産業大臣(近...

キャンセル 保存 & 新規 保存

定期報告書名を入力します。年度がわかる名称を推奨します。

紐付けたい「特定事業者情報」をルックアップ検索で選択成します。

「提出年月日」をカレンダーから選択します。

提出先を選択します。

「▶」を押下し「選択済み」リストに追加します。

1.2.3. 「工場等毎の報告」登録

「工場等毎の報告」に工場等毎の基本情報を入力します。レコードは、全ての工場等（工場やオフィスビルなど全ての拠点）毎に作成してください。

入力手順

1. 「工場等毎の報告」タブから「新規」を押下します。(図1.2.7)
2. レコードタイプは様式9：定期報告書を選択し「次へ」を押下します。(図1.2.8)
3. 「事業者全体の報告」「定期報告書 工場名」「特定事業者情報」を入力します。「事業者全体の報告」は1.2.2で、「特定事業者情報は」1.2.1で登録したレコードをルックアップ検索で選択し紐付けます。「定期報告書 工場名」には年度がわかる名称を推奨します。(図1.2.9)
4. 1～3の手順を繰り返して、全ての工場等（工場やオフィスビルなど全ての拠点）毎にレコードを作成してください。

図1.2.7 「工場等毎の報告」タブから「新規」を選択



図1.2.8 レコードタイプの選択

新規工場等毎の報告

レコードタイプを選択

様式9：定期報告書
 特定事業者は前年度の指定工場等のエネルギー使用量等について、指定-第1表～第10表まで記入

様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告
 特定事業者は前年度の指定工場等の温室効果ガス排出量を算定し、別紙第1表～第3表まで記入

キャンセル 次へ

図1.2.9 情報セクションを入力

新規工場等毎の報告: 様式9：定期報告書

* = 必須情報

情報

レコードタイプ
 様式9：定期報告書

事業者全体の報告 ⓘ
 東京工場

作成した「事業者全体の報告」を選択し紐付けます。

*定期報告書 工場名
 東京工場 2022

工場名を入力します。年度がわかる名称を推奨します。

特定事業者情報 ⓘ
 株式会社 東京工業 2022

作成した「特定事業者情報」を選択し紐付けます。

追加情報

【指定-第1表】 エネルギー管理指定工場等の基本情報

工場等の名称 ⓘ

以前の工場等の名称

主たる事業 ⓘ

当該事業を所管する大臣

キャンセル 保存 & 新規 保存

「保存」を押下します。

2. エネルギーの使用量の登録

2.1. 追加設定による燃料種別の登録

Net Zero Cloudの標準機能では、省エネ法で報告が求められている全ての燃料種別には対応していません。対応していない燃料種別の使用量を入力するためには、追加設定の燃料種別から事前に登録する必要があります。追加設定はNet Zero Cloud本体の機能です。詳細はSalesforceのヘルプをご参照ください。設定済みの場合は、次の手順に進んでください。

本アプリにおいて、省エネ法報告用の情報を適切に算定するためには「固定資産によるエネルギー使用量」の「燃料消費量 (GJ)」が正しく算定されていることが必須です。

以下に登録方法の一例を示します。登録した燃料種別が、適切な「その他の排出係数セット」と紐付けられ、燃料消費量とその発熱量の関係の整合が取れていれば、任意の入力方法で問題ありません。

入力手順

1. 追加が必要な燃料種別を登録します。省エネ法で報告が求められている燃料種別のうち、Net Zero Cloudに標準で登録されていない燃料種別は、原油、コンデンセート、ナフサ、B・C重油、石油アスファルト、石油コークス、石油系炭化水素ガス、原料炭、一般炭、無煙炭、石炭コークス、コールタール、コークス炉ガス、高炉ガス、転炉ガス、産業用以外の蒸気です。使用量の入力が必要な燃料種別を登録します。
 - a. メニュー「設定」から「Net Zero」→「追加設定」→「燃料種別」を選び、「新規燃料種別」を押下して燃料種別を登録します。[\(図2.1.1\)](#)
 - b. 必要な燃料種別ごとに、「燃料名」「API参照名」を入力し、「有効」「固定資産燃料」にチェックを入れて保存します。[\(図2.1.2\)](#)
2. 上記燃料種別のうち、測定単位が重量である石油アスファルト、石油コークス、石炭コークス、コールタール、無煙炭、原料炭、一般炭を登録した場合、重量をエネルギーに変換する設定が必要となりますので、測定単位と発熱量を登録します。
 - a. メニュー「設定」から「Net Zero」→「追加設定」→「Sustainability 測定単位」を選び、「新規Sustainability測定単位」を押下して重量の単位 (tやkgなど) を登録します。[\(図2.1.3\)](#)
 - b. 必要な単位 (tやkgなど) ごとに、「測定単位名」「API参照名」を入力、「単位種別」は「重量」を選択し、「固定資産の測定単位」にチェックを入れて保存します。[\(図2.1.4\)](#)

- c. メニュー「設定」から「Net Zero」→「追加設定」→「Sustainability 測定単位変換」を選び、「新規Sustainability 測定単位の変換」を押下して換算係数を登録します。(図2.1.5)
 - d. 必要な燃料種別ごとに、「API参照名」を入力、「燃料名」「参照元の測定単位」には登録したい燃料種別と測定単位を選択、「参照先の測定単位」はkWhを選択し、「換算係数」には重量単位(tやkgなど)を熱量(kWh)に変換する発熱量を入力して、保存します。(図2.1.6) ※「参照先の測定単位」でkWh以外の単位を選択するとNet Zero Cloudでは正常に算定がされませんので注意してください。(2023年7月時点)
3. 追加した燃料種別で利用する測定単位を設定します。
- a. メニュー「設定」から「Net Zero」→「追加設定」→「Sustainability 測定単位」を選び、「新規燃料種別Sustainability 測定単位」を押下して燃料種別を登録します。(図2.1.7)
 - b. 必要な燃料種別ごとに「API参照名」を入力、「燃料種別」「測定単位」は利用したい組み合わせを選んで保存します。(図2.1.8)

図2.1.1 追加設定による燃料種別



図2.1.2 燃料種別の登録



図2.1.3 追加設定によるSustainability測定単位



図2.1.4 Sustainability測定単位の登録



図2.1.5 追加設定によるSustainability測定単位変換



図2.1.6 Sustainability測定単位変換の登録

Sustainability 測定単位変換

Sustainability 測定単位の変換
kwh_kg_steam_coal

Sustainability 測定単位の変換の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

Sustainability 測定単位変換情報

API 参照名: kwh_kg_steam_coal

燃料名: 一般炭 (カスタム)

参照元の測定単位: kg (カスタム)

参照先の測定単位: kWh

換算係数: 7.138889

[保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

「API参照名」を入力、「燃料名」「参照元の測定単位」には登録したい燃料種別と測定単位を選択、「参照先の測定単位」はkWhを選択します。

「換算係数」には重量単位(tやkgなど)を熱量(kWh)に変換する発熱量を入力して、保存します。

図2.1.7 追加設定による燃料種別Sustainability測定単位

設定

燃料種別 Sustainability 測定単位

ビュー: [すべて] 新規ビューの作成

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 [すべて]

新規燃料種別 Sustainability の測定単位

API 参照名 + 燃料種別 測定単位

表示するレコードはありません。

追加登録した燃料種別の測定単位を登録します。

図2.1.8 燃料種別Sustainability測定単位の登録

燃料種別 Sustainability 測定単位

燃料種別 Sustainability の測定単位
crude_oil_l

燃料種別 Sustainability の測定単位の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

燃料種別 Sustainability 測定単位情報

API 参照名: crude_oil_l

燃料種別: 原油 (カスタム)

測定単位: リットル

[保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

「API参照名」を入力、「燃料種別」「測定単位」は利用したい組み合わせを選んで保存します。

2.2. 「定期報告書係数」登録

「定期報告書係数」は各燃料種別についての発熱量と二酸化炭素排出係数を登録するオブジェクトです。インストール時に算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧に準拠したデフォルトの係数が登録されています。Net Zero Cloudで標準で利用できる燃料種別について、デフォルトの係数から修正が不要な場合は次の手順に進んでください。係数を変更したい場合、または、[2.1. 追加設定による燃料種別の登録](#)にてNet Zero Cloudの標準ではないが定期報告書での報告が必要な燃料種別の登録を行った場合は、追加した燃料種別と係数の紐付けが必要になりますので、以下の手順に従ってレコードの修正を行ってください。

入力手順

1. タブ「定期報告書係数」を押下します。表示されていない場合は、タブの「さらに表示」を押下してください。(図2.2.1)
2. 修正したいレコードのリンクを押下します。燃料用の係数の修正や、追加した燃料種別との紐付けを行いたい場合は、レコードタイプが「燃料用係数」のレコードを、電力用の係数を修正したい場合は、レコードタイプが「電力用係数」のレコードを選んでください。(図2.2.2)
3. レコードタイプ「燃料用係数」のレコードを選択した場合、使用する各燃料種別の「API参照名」「発熱量」「排出係数」を変更し、「保存」を押下します。(図2.2.3)
 - a. [2.1. 追加設定による燃料種別の登録](#)にてNet Zero Cloudの標準ではないが、定期報告書での報告が必要な燃料種別の登録を行った場合は、必ず2.1で入力したものと同名の「API参照名」を入力してください。
 - b. 「発熱量」「排出係数」については、[算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧](#)の係数から変更したい場合にのみ、修正してください。
4. レコードタイプ「電力用係数」のレコードを選択した場合、「昼間買電発熱量 (GJ/千kWh)」「昼間買電基礎排出係数 (t-CO2/kWh)」「昼間買電調整後排出係数 (t-CO2/kWh)」「夜間買電発熱量 (GJ/千kWh)」「上記以外の買電発熱量 (GJ/千kWh)」「上記以外の買電排出係数 (t-CO2/kWh)」「上記以外の買電調整後排出係数 (t-CO2/kWh)」「自家発電発熱量 (GJ/千kWh)」から変更したい項目値を変更し、「保存」を押下します。(図2.2.4)
5. 都市ガスについて、供給事業者毎の発熱量を用いて報告をする場合は、事業者毎のレコードを登録します。

- 「新規」を押下します。(図2.2.5)
- レコードタイプは「燃料用係数」を選択し、「次へ」を押下します。(図2.2.6)
- 「定期報告書係数名」には、都市ガス供給事業者名と年度を含めた名称を入力、「報告対象年度」で年度を選択します。「都市ガス発熱量 (GJ/千m3)」「都市ガス排出係数 (tC/GJ)」を適切な値に修正し、保存します。(図2.2.7)

図2.2.1 タブから「定期報告書係数」を選択



図2.2.2 レコードタイプの選択

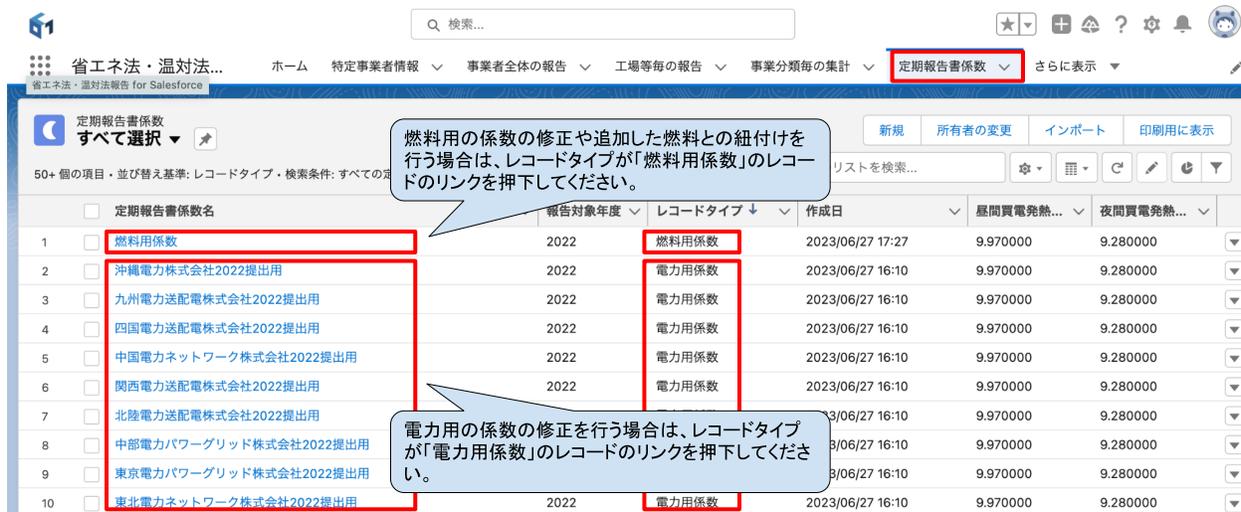


図2.2.3 レコードタイプ：「燃料用係数」の編集画面

ナフサ	
ナフサAPI参照名	<input type="text" value="naphtha"/>
ナフサ発熱量 (GJ/kl)	<input type="text" value="33.600000"/>
ナフサ排出係数 (tC/GJ)	<input type="text" value="0.018200"/>
灯油(ケロシン)	
灯油(ケロシン)発熱量 (GJ/kl)	<input type="text" value="36.700000"/>
灯油(ケロシン)排出係数 (tC/GJ)	<input type="text" value="0.018500"/>
<p>各燃料種別毎に「API参照名」「発熱量」「排出係数」から変更したい項目値を更新します。</p>	
軽油	
軽油発熱量 (GJ/kl)	<input type="text" value="37.700000"/>
軽油排出係数 (tC/GJ)	<input type="text" value="0.018700"/>
重油(A重油)	
重油(A重油)発熱量 (GJ/kl)	<input type="text" value="39.100000"/>
重油(A重油)排出係数 (tC/GJ)	<input type="text" value="0.018900"/>
重油 (B・C重油)	
重油 (B・C重油) API参照名	<input type="text" value="b_c_heavy_oil"/>
重油 (B・C重油) 発熱量 (GJ/kl)	<input type="text" value="41.900000"/>
重油 (B・C重油) 排出係数 (tC/GJ)	<input type="text" value="0.019000"/>
<p>入力が完了後に「保存」を押下します。</p>	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="保存 & 新規"/> <input type="button" value="保存"/>	

図2.2.4 レコードタイプ：「電力用係数」の編集画面

電気事業者情報

契約メニュー名

その他電気事業者 ⓘ

電気事業者別排出係数一覧
[\(電気事業者別排出係数一覧はこちら\)](#)
この項目は保存時に計算されます

昼間買電

昼間買電発熱量 (GJ/千kWh)

昼間買電基礎排出係数 (t-CO2/kWh)

夜間買電

夜間買電発熱量 (GJ/千kWh)

昼間買電調整後排出係数 (t-CO2/kWh)

電気事業者別排出係数一覧の排出係数から変更をしたい場合は、昼間買電、夜間買電の発熱量、基礎排出係数、調整後排出係数の変更を行います。

上記以外の買電

上記以外の買電発熱量 (GJ/千kWh)

上記以外の買電排出係数 (t-CO2/kWh)

上記以外の買電調整後排出係数 (t-CO2/kWh)

自家発電

変更後、「保存」を押下します。

図2.2.5 都市ガス供給事業者毎のレコード新規作成

定期報告書係数
すべて選択

50+ 個の項目・並び替え基準: レコードタイプ・検索条件: すべての項目

都市ガス供給事業者毎の発熱量を用いて算定する場合は、事業者毎のレコードを新規作成します。

レコード番号	レコード名	年	レコードタイプ	登録日時	昼間買電発熱...	夜間買電発熱...
1	燃料用係数	2022	燃料用係数	2023/06/27 17:27	9.970000	9.280000
2	沖縄電力株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
3	九州電力送配電株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
4	四国電力送配電株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
5	中国電力ネットワーク株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
6	関西電力送配電株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
7	北陸電力送配電株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
8	中部電力パワーグリッド株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
9	東京電力パワーグリッド株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000
10	東北電力ネットワーク株式会社2022提出用	2022	電力用係数	2023/06/27 16:10	9.970000	9.280000

図2.2.6 レコードタイプを選択

新規定期報告書係数

レコードタイプを選択

- 燃料用係数
実績対象年度ごとの燃料種別の換算係数および排出係数を設定、変更
- 電力用係数
実績対象年度ごとに購入した当該小売事業者の電力基礎排出係数を設定、変更

キャンセル 次へ

図2.2.7 都市ガス発熱量・排出係数の登録

新規定期報告書係数: 燃料用係数

定期報告書係数名には、都市ガス供給事業者名と年度を含む名称を入力します。 * = 必須情報

情報

* 定期報告書係数名

報告対象年度

--なし--

原油 (コンビナートを除く)

報告対象年度を選択します。

都市ガス

都市ガス発熱量 (GJ/千m3)	都市ガス排出係数 (tC/GJ)
44.800000	0.013600

システム情報

発熱量と排出係数を修正して、保存します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

表2.2.1 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧に準拠した、デフォルトの発熱量および排出係数

燃料種別	発熱量	排出係数
原油（コンデンセートを除く。）	38.2[GJ/kl]	0.0187[tC/GJ]
原油のうちコンデンセート（NGL）	35.3[GJ/kl]	0.0184[tC/GJ]
揮発油（燃料油）	34.6[GJ/kl]	0.0183[tC/GJ]
ナフサ	33.6[GJ/kl]	0.0182[tC/GJ]
ジェット燃料油	36.7[GJ/kl]	0.0183[tC/GJ]
灯油（ケロシン）	36.7[GJ/kl]	0.0185[tC/GJ]
軽油	37.7[GJ/kl]	0.0187[tC/GJ]
A重油	41.9[GJ/kl]	0.0195[tC/GJ]
B・C重油	39.1[GJ/kl]	0.0189[tC/GJ]
石油アスファルト	40.9[GJ/kl]	0.0208[tC/GJ]
石油コークス	29.9[GJ/kl]	0.0254[tC/GJ]
液化石油ガス（LPG）（プロパン）	50.8[GJ/t]	0.0161[tC/GJ]
石油系炭化水素ガス	44.9[GJ/1,000Nm ³]	0.0142[tC/GJ]
液化天然ガス（LNG）	54.6[GJ/t]	0.0135[tC/GJ]
その他可燃性天然ガス	43.5[GJ/1,000Nm ³]	0.0139[tC/GJ]
原料炭	43.5[GJ/t]	0.0139[tC/GJ]
一般炭	25.7[GJ/t]	0.0247[tC/GJ]
無煙炭	26.9[GJ/t]	0.0255[tC/GJ]
石炭コークス	29.4[GJ/t]	0.0294[tC/GJ]
コールタール	37.3[GJ/t]	0.0209[tC/GJ]
コークス炉ガス	21.1[GJ/1,000Nm ³]	0.011[tC/GJ]
高炉ガス	3.41[GJ/1,000Nm ³]	0.0263[tC/GJ]
転炉ガス	8.41[GJ/1,000Nm ³]	0.0384[tC/GJ]
都市ガス	44.8 [*] [GJ/千m ³]	0.0136[tC/GJ]

産業用蒸気	1.02[GJ/GJ]	0.06[tCO ₂ /GJ]
産業用以外の蒸気	1.36[GJ/GJ]	0.057[tCO ₂ /GJ]
温水（熱）	1.36[GJ/GJ]	0.057[tCO ₂ /GJ]
冷水	1.36[GJ/GJ]	0.057[tCO ₂ /GJ]
昼間買電	9.97[GJ/MWh]	—
夏期・冬期における電気需要平準化 時間帯	9.97[GJ/MWh]	—
夜間買電	9.28[GJ/MWh]	—
上記以外の買電	9.76[GJ/MWh]	—
自家発電	9.76[GJ/MWh]	—

（出所）算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧

https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf 2023年10月13日アクセス時点

※1 地球温暖化対策推進法施行令に示された標準状態での単位発熱量を多くの地方公共団体が都市ガス供給を受ける際の一般的と考えられる条件（温度 15°C、1.02 気圧）の体積あたりに換算して示したもの。都市ガス供給事業者毎の発熱量を利用する場合は、都市ガス供給事業者毎の数値を入力したレコードをそれぞれ作成し、「固定資産によるエネルギー使用量」（後述）に該当するレコードを紐づける。

2.3. 「その他の排出係数セット」登録

「その他の排出係数セット」は、Net Zero Cloud本体のオブジェクトです。Net Zero Cloudを利用して二酸化炭素排出量を算定するために必須のものです。詳細は、[Salesforceのヘルプ](#)もご参照ください。登録済みのレコードを利用する場合は、[次の手順](#)に進んでください。

入力手順

1. 「その他の排出係数セット」を押下します。表示されていない場合は、タブの「さらに表示」を押下し、「その他の排出係数セット」を押下します。[\(図2.3.1\)](#)
2. 「その他の排出係数セット」タブから「新規」を押下します。[\(図2.3.2\)](#)
3. 必要な項目を入力後、「保存」を押下します。[\(図2.3.3\)](#)

図2.3.1 タブから「その他の排出係数セット」を選択

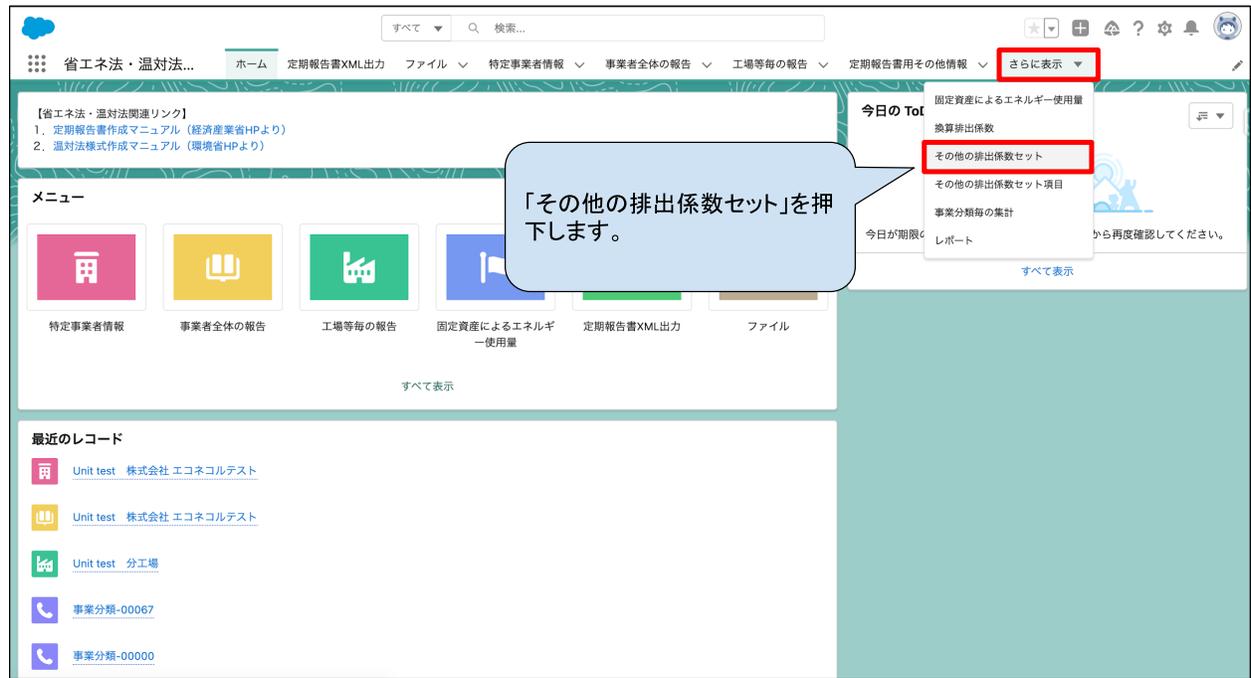


図2.3.2 「その他の排出係数セット」タブから「新規」を選択

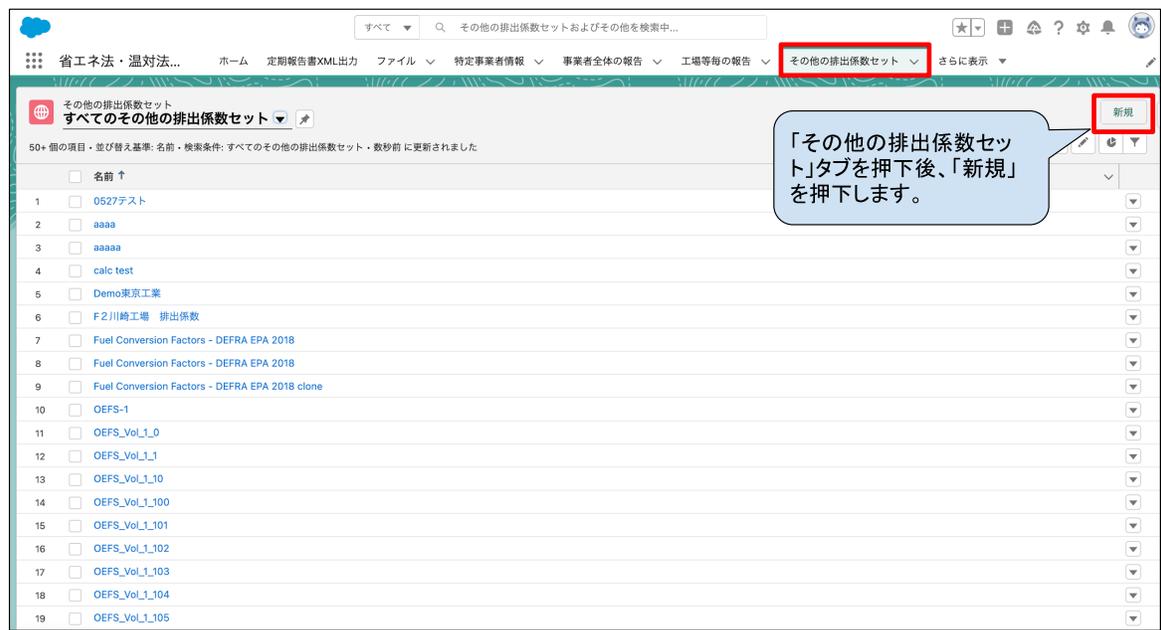


図2.3.3 「その他の排出係数セット」の入力画面

新規その他の排出係数セット

* = 必須情報

情報

*名前 ↶

算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数

排出係数更新年 ↶

2022

所有者 氏名

Hidaka Uhuru

排出係数データソース

標準換算

CH4 地球温暖化係数 ↶

28

N2O 地球温暖化係数 ↶

265

冷媒漏出

冷媒漏洩率 (kg/sqft) ⓘ

冷媒漏洩率 (kg/m2) ⓘ

データセンターの冷媒漏洩率 (kg/IT kWh) ⓘ

必要な項目を入力後「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

2.4. 「その他の排出係数セット項目」登録

「その他の排出係数セット項目」は、Net Zero Cloud本体のオブジェクトです。Net Zero Cloudを利用して二酸化炭素排出量を算定するために必須の係数で、「その他の排出係数セット」に紐付けられるものです。詳細は、[Salesforceのヘルプ](#)もご参照ください。[登録済みのレコード](#)を利用する場合は、[次の手順](#)に進んでください。

※本アプリでは、「その他の排出係数セット項目」に設定された係数を利用してエネルギーの使用量や二酸化炭素排出量を算定しています。「その他の排出係数セット項目」の発熱量には、[算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数](#)と整合した値を設定してください。「その他の排出係数セット項目」を新規登録する場合は、以下の手順に従って入力してください。

入力手順

1. 「その他の排出係数セット項目」を押下します。表示されていない場合は、タブにある「さらに表示」を押下し、「その他の排出係数セット項目」を押下します。[\(図2.4.1\)](#)
2. 「その他の排出係数セット項目」タブから「新規」を押下します。[\(図2.4.2\)](#)
3. 燃料種別ごとにレコードを作成します。[\(図2.4.3\)](#)
 - a. 燃料種別を選択し、[2.3](#)で作成したレコードを「親排出係数」で選択し紐付けます。
 - b. 「発熱量」には[算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数](#)と整合する発熱量を入力してください。発熱量の単位は選択できるものに限られますので、kWhに変換する値を入力してください。
 - c. 「供給済みCO2e排出係数」「CH4排出係数」「CO2排出係数」「N2O排出係数」について、必要な排出係数を入力してください。
 - これらの排出係数は、Net Zero Cloud内での排出量算定に利用されますが、省エネ法報告用の算定には利用されません。省エネ法報告用の算定には、[2.2](#)で登録した排出係数が利用されます。
 - d. 必要な項目を入力したら「保存」を押下します。

図2.4.1 タブから「その他の排出係数セット項目」を選択

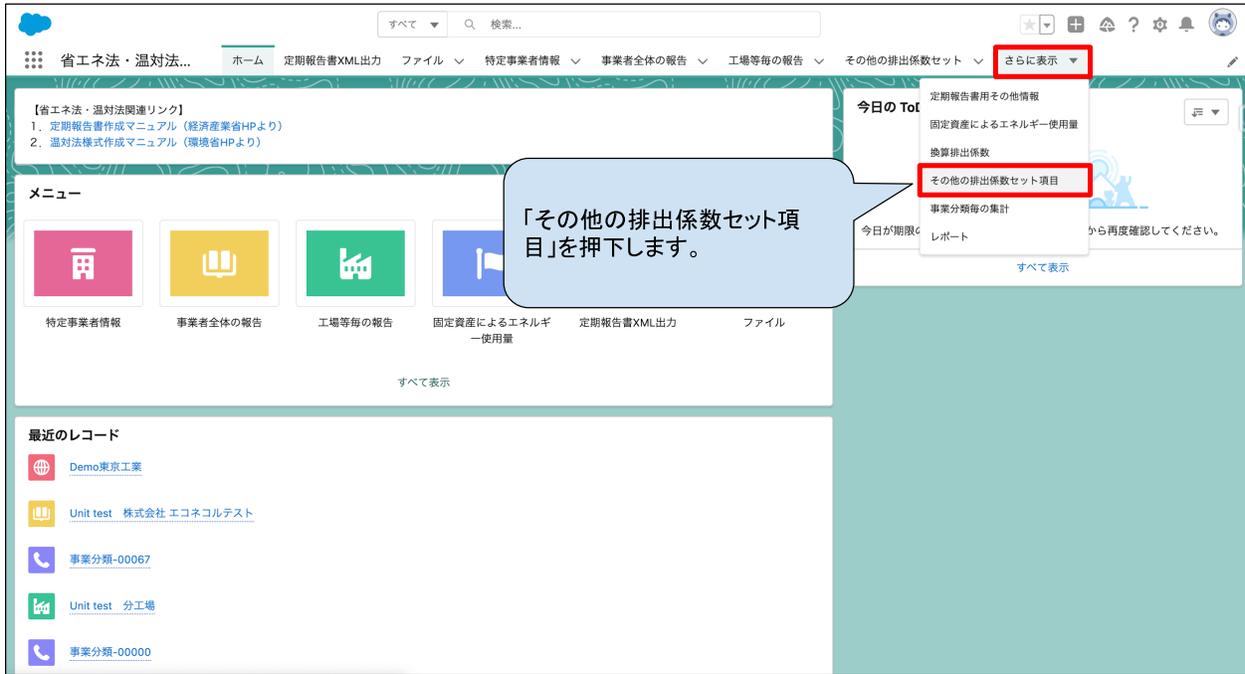


図2.4.2 「その他の排出係数セット項目」タブから「新規」を選択

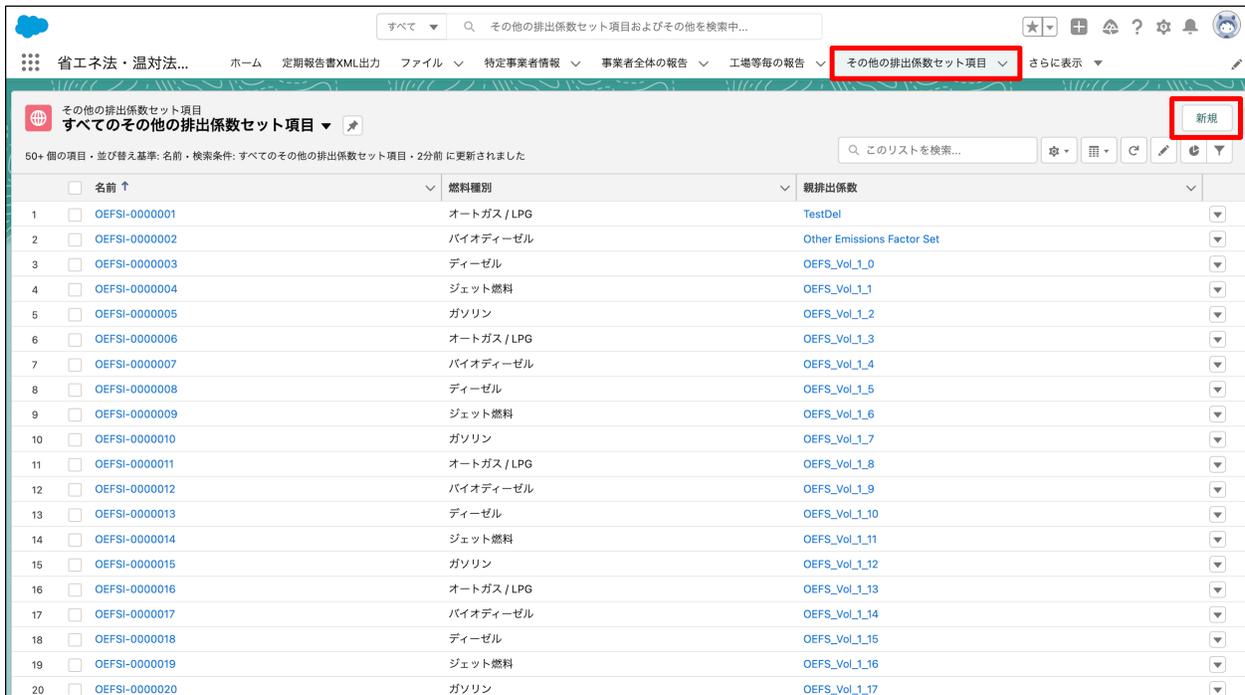


図2.4.3 「その他の排出係数セット項目」の登録

新規その他の排出係数セット項目

情報

「燃料種別」を選択します。

前項で作成したレコードを選択します。

* = 必須情報

***燃料種別**

重油

***親排出係数**

算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数

燃料係数

算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数と整合する発熱量を入力してください。Net Zero Cloudでは、kWhに変換する値を入力する必要があります。

<p>発熱量</p> <p>10.861111</p>	<p>発熱量単位</p> <p>kWh / L</p>
<p>供給済み CO2e 排出係数</p> <p>69.300000</p>	<p>供給済み CO2e 排出係数単位</p> <p>kg / GJ</p>
<p>CH4 排出係数</p> <p></p>	<p>CH4 排出係数単位</p> <p>g / kWh</p>
<p>CO2 排出係数</p> <p></p>	<p>CO2 排出係数単位</p> <p>g / kWh</p>
<p>N2O 排出係数</p> <p></p>	<p>N2O 排出係数単位</p> <p>g / kWh</p>

必要な排出係数を入力してください。
こちらの排出係数は、Net Zero Cloud内での排出量算定に利用されますが、省エネ法報告用の算定には利用されません。

保存 & 新規

保存

必要な項目を入力したら、「保存」を押下してください。

2.5. 「固定資産によるエネルギー使用量」登録

「固定資産によるエネルギー使用量」はNet Zero Cloud本体のオブジェクトです。詳細は、[Salesforceのヘルプ](#)もご参照ください。本アプリは、「事業者全体の報告」に紐づけられた「固定資産によるエネルギー使用量」に入力されたエネルギー使用量を元に、定期報告書で報告すべきエネルギーの使用量や二酸化炭素排出量などが算定されます。

本アプリをインストールすると、「固定資産によるエネルギー使用量」に複数の項目が追加されます。定期報告書の項目と紐づけるために、「特定事業者情報」や「定期報告書係数」の入力が必要となります。本アプリとNet Zero Cloudを同時に利用開始した場合と、Net Zero Cloudを既に利用していて、追加で本アプリを導入いただいた場合で入力手順が異なります。前者の場合は[入力手順A](#)に従って入力してください。後者の場合は入力済みの「固定資産によるエネルギー使用量」に対して紐づける情報を追加する必要がありますので、[入力手順B](#)に従って入力してください。

<p>本アプリを導入いただいた状態で、初めてNet Zero Cloudの利用をする場合。</p>	<p>既にNet Zero Cloudを利用しており、「固定資産によるエネルギー使用量」を入力している状態で、本アプリを導入いただいた場合。</p>
<p>入力手順Aへ</p>	<p>入力手順Bへ</p>

※本アプリでは、「固定資産によるエネルギー使用量」の「エネルギー消費量値」に登録されたエネルギー使用量のみが集計され、エネルギー使用量を元に二酸化炭素排出量が算定されます。「追加排出量(tCO2e)」に入力された二酸化炭素排出量は集計対象外となっていますので、定期報告書に報告すべき排出量は入力しないでください。また、Net Zero Cloudには「固定資産によるエネルギー使用量」のデータを集約した「固定資産のカーボンフットプリント」があります。「固定資産のカーボンフットプリント」にも追加排出量を入力することができますが、同様に集計対象外となっていますので、定期報告書に報告すべき排出量は入力しないでください。

入力手順A

1. 「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。表示されていない場合は、タブにある「さらに表示」を押下し、「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。(図2.5.1)
2. 「固定資産によるエネルギー使用量」タブから「新規」を押下します。(図2.5.2)
3. 必要な項目を入力します。「開始日」は必ず入力してください。開始日情報を元に集計すべきデータかが判別されます。(図2.5.3)
4. 「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」には適切なレコードを選択して入力します。「工場等の名称」は適切な名称を入力してください。エネルギー消費量として「燃料種別」「燃料消費量単位」「燃料消費量」を入力します。また「燃料種別」で“電力”を選択した場合、「電力種別」は“昼間買電”“夜間買電”、“上記以外の買電”、“自家発電”のいずれかを選択してください。(図2.5.4)
5. 「販売した副生エネルギーの量」「購入した未利用熱の量」がある場合は、それぞれ入力します。「電力排出係数」「その他の排出係数」は適切なレコードを選択し、紐付けます。(図2.5.5)
6. 「定期報告書係数」は、「燃料種別」が“電力以外”の場合はレコードタイプが「燃料用係数」のものから、「燃料種別」が“電力”の場合はレコードタイプが「電力用係数」のものから適切なものを選択し、紐付けます。入力後、「保存」を押下します。(図2.5.6)
電力の場合は、以下a～jに留意してください。
 - a. 電力について、環境省より電気事業者別排出係数一覧が公開されるまでは、適切なレコードが存在しませんので、未入力のまま保存してください。
 - b. 排出係数が公開され、本アプリがアップデートされましたら、以下の手順に従って、追加された最新の排出係数のレコードの紐付けを行います。
 - c. 登録済みの「固定資産によるエネルギー使用量」レコードに対して、省エネ法報告用に必要なレコードの一括紐付けを行うためのリストビューを作成します。歯車マークから、「新規」を押下します。(図2.5.7)
 - d. 任意の「リスト名」と「リストAPI参照名」を入力して、「保存」を押下します。(図2.5.8)
 - e. 省エネ法報告対象のレコードを絞り込むために、検索条件を設定します。「所有者別に絞り込み」を「すべての固定資産によるエネルギー使用量」を選択します。「レコードタイプ」には対象とするレコードが含まれているレコードタイプを一つ指定します。「名前」に施設名称など、施設を一つに絞り込めるキーワードを設定します。「開始日」を報告年度の開始日以降を指定します。「燃料種別」は「電力」を指定します。(図2.5.9)

- f. リストビューに表示する項目を指定します。歯車マークから、「表示する項目を選択」を押下します。[\(図2.5.10\)](#)
- g. 参照可能項目に必ず「定期報告書係数」を選択してください。任意でそれ以外の項目も追加し、「保存」を押下します。[\(図2.5.11\)](#)
- h. 省エネ法報告用に紐付けたい電力のレコード一覧が表示されたら、全てのレコードのチェックボックスをオンにします。一度にチェックを入れられるのは200レコードまでとなっています。対象レコードが200を超える場合は、以降の操作を複数回に分けて実施してください。「定期報告書係数」を紐付けたい全てのレコードにチェックを入れます。追加された報告年度用の適切な電気事業者の排出係数を選択し、「○個の選択済み項目を更新」にチェックを入れて、「適用」を押下します。[\(図2.5.12\)](#)
- i. 対象としたい全ての項目の「定期報告書係数」が更新されたことを確認して、「保存」を押下します。[\(図2.5.13\)](#)
- j. 紐付けをする排出係数（電力メニュー）ごとに、c～iの手順を繰り返します。

入力手順B

- 1. 「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。表示されていない場合は、タブにある「さらに表示」を押下し、「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。[\(図2.5.1\)](#)
- 2. 登録済みの「固定資産によるエネルギー使用量」レコードに対して、省エネ法報告用に必要なレコードの一括紐付けを行うためのリストビューを作成します。歯車マークから、「新規」を押下します。[\(図2.5.14\)](#)
- 3. 任意の「リスト名」と「リストAPI参照名」を入力して、「保存」を押下します。[\(図2.5.15\)](#)
- 4. リストビューのインライン編集機能を利用して、適切な「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場毎の報告」「定期報告書係数」を一括で設定します。以下は設定方法の一例になります。
 - a. 省エネ法報告対象のレコードを絞り込むために、検索条件を設定します。「所有者別に絞り込み」を「すべての固定資産によるエネルギー使用量」を選択します。「レコードタイプ」には対象とするレコードが含まれているレコードタイプを一つ指定します。「名前」に施設名称など、施設を一つに絞り込めるキーワードを設定します。「開始日」を報告年度の開始日以降を指定します。「燃料種

- 別」は「電力」を指定して、まずは電力のレコードのみを対象とします。(図2.5.16)
- b. リストビューに表示する項目を指定します。歯車マークから、「表示する項目を選択」を押下します。(図2.5.17)
 - c. 参照可能項目に「名前」「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場等毎の報告」「電力種別」「定期報告書係数」を選択して「保存」を押下します。(図2.5.18)
 - d. 省エネ法報告用に紐付けたい電力のレコード一覧が表示されたら、全てのレコードのチェックボックスをオンにします。一度にチェックを入れられるのは200レコードまでとなっています。対象レコードが200を超える場合は、以降の操作を複数回に分けて実施してください。(図2.5.19)
 - e. 「特定事業者情報」の編集マークを押下します。1.2.1にて作成したレコードを選択し、「○個の選択済み項目を更新」にチェックを入れて、「適用」を押下します。(図2.5.20)
 - f. 選択した「特定事業者情報」がチェックを入れた全てのレコードに反映されます。同様に、「事業者全体の報告」は1.2.2にて作成したレコードを選択し、「工場等の名称」には施設の名称を入力、「工場等毎の報告」は1.2.3にて作成したレコードを選択して、全てのレコードに反映します。(図2.5.17 図2.5.22)
 - g. 昼間売電のレコードのみチェックボックスをオンにします。電力種別はレコードの名前などから判断してください。「電力種別」で”昼間売電”を選択し、チェックしたレコード全てに反映します。(図2.5.23)
 - h. 昼間売電のレコードのチェックを外し、夜間売電のレコードのみチェックボックスをオンにします。「電力種別」で”夜間売電”を選択し、チェックしたレコード全てに反映します。昼間売電、夜間売電以外に、上記以外の売電や自家発電に該当するレコードがある場合は、同様の方法で「電力種別」を選択して反映させてください。(図2.5.24)
 - i. 「定期報告書係数」には、当該施設で契約している電力メニューの係数を選択し、他項目同様に全てのレコードに反映します。全ての項目が適切に反映されていることを確認したら、「保存」を押下します。(図2.5.25)
 - j. リストビューに表示する検索条件を変更して、燃料のレコードに対して紐付けを行います。検索条件の「燃料種別」を「電力」と”一致しない”に指定し、電力以外の全ての燃料を対象として絞り込みます。(図2.5.26)
 - k. 電力のレコードのときと同様に、「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場毎の報告」について反映します。「定期報告書係数」には、「燃料用係数」または当該施設用に作成した燃料用の定期報告書係数を選択して

反映します。全ての項目が適切に反映されていることを確認したら「保存」を押下します。[\(図2.5.27\)](#)

- i. a～kの操作を、全ての工場等（省エネ法への報告対象施設）について同様に実施することで、報告対象とする全ての「固定資産によるエネルギー使用量」レコードの紐付けを実施します。

以上の手順に従って、省エネ法への定期報告が必要な全ての入力済みの「固定資産によるエネルギー使用量」に対して追加入力が完了しましたら、以降、追加で新規に入力するエネルギー使用量は、[入力手順A](#)に従って入力してください。

図2.5.1 タブから「固定資産によるエネルギー使用量」を選択

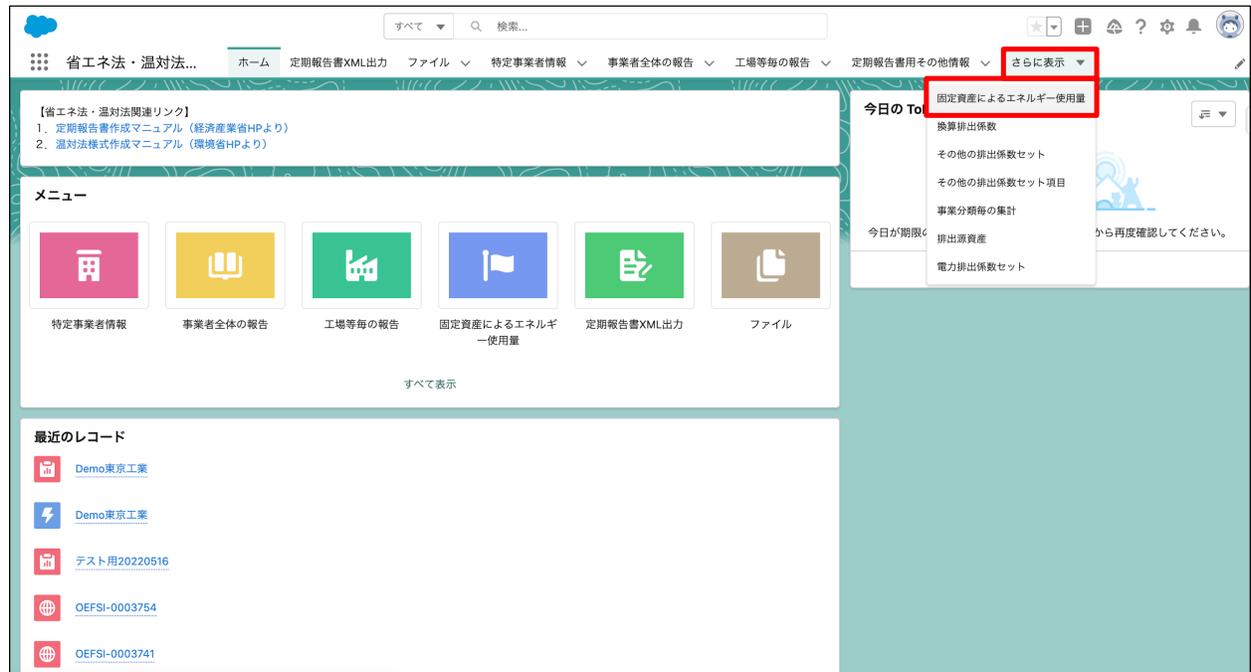


図2.5.2 「固定資産によるエネルギー使用量」タブから「新規」を選択

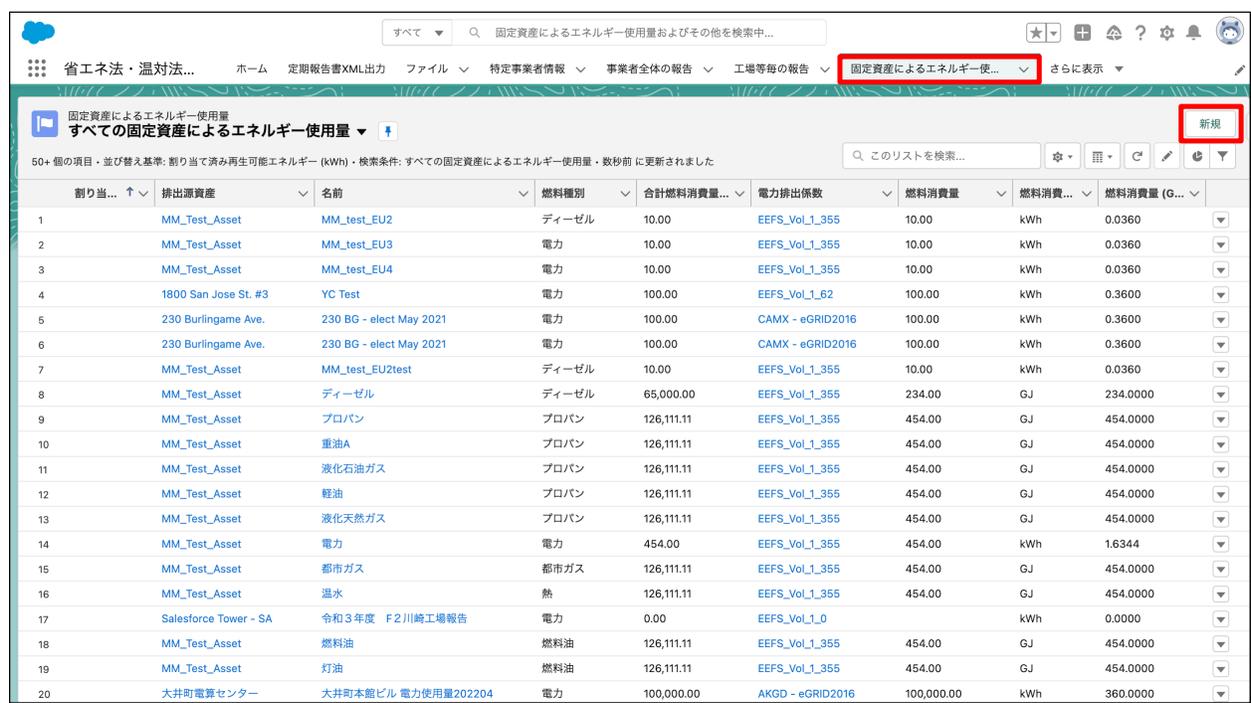


図2.5.3 新規固定資産によるエネルギー使用量作成画面

新規固定資産によるエネルギー使用量: Stationary Asset

必要な項目を入力してください。

* = 必須情報

情報

***名前**

東京工場 軽油 202204

会社所有資産

固定資産のカーボンフットプリント

東京工場

***固定資産排出源**

東京工場

サプライヤー

サプライヤーを検索...

建物の規模

占有床面積

延床面積

占有床面積単位

m2

延床面積単位

m2

レポート期間の詳細

開始日

2022/04/01

終了日

2022/04/30

カーボンフットプリント報告日

2022/05/02

【中期報告書用】 「特定事業者情報」および「工場等の名称」を入力してください。

「開始日」は必ず入力してください。

図2.5.4 定期報告書用レコードの紐付けとエネルギー消費量の入力

【定期報告書用】 「特定事業者情報」 および 「工場等毎の報告」

特定事業者情報

株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告

東京工場

工場等の名称

東京工場

工場等毎の報告

株式会社 東京工場 2022

エネルギー消費量値

*燃料種別
軽油

電力種別
--なし--

*燃料消費量単位
キロリットル

燃料消費量
10,000.00

【販売したエネルギー消費量値】 工場等で販売した副生エネルギー量を入力してください。

販売した副生エネルギーの量 (kL, t, km³, GJ, kWh)

キャンセル
保存 & 新規
保存

「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」には適切なレコードを選択して入力します。「工場等の名称」は適切な名称を入力してください。

「燃料種別」「燃料消費量単位」「燃料消費量」を入力します。

「燃料種別」で電力を選択した場合は適切な「電力種別」を選択してください。電力以外を選択した場合は「--なし--」のままにしてください。

図2.5.5 販売した副生エネルギー・購入した未利用熱の入力、排出係数の選択

【販売したエネルギー消費量値】 工場等で販売した副生エネルギー量を入力してください。

販売した副生エネルギーの量 (kl, t, km³, GJ, kW)

100,000.0000

「販売した副生エネルギーの量」「購入した未利用熱の量」がある場合は入力します。

【購入した未利用熱の量】 工場等で購入した未利用熱の量を入力してください。

購入した未利用熱の量

20,000.0000

補足排出量 (tCO₂e)

スコープ1 追加排出量 ⓘ

スコープ2 マーケット基準の追加排出量 ⓘ

スコープ2 ロケーション基準の追加排出量 ⓘ

スコープ3 (下流) の追加排出量 ⓘ

スコープ3 (上流) の追加排出量 ⓘ

「追加排出量 (tCO₂e)」は、本アプリの集計対象外ですので、定期報告書に報告が必要な排出量は入力しないでください。

排出係数詳細

電力排出係数

中部電力ミライズ(株)メニューB(残差)

その他の排出係数

算定・報告・公表制度における算定方法・排出係

冷媒排出係数

冷媒排出

適切な「電力排出係数」「その他の排出係数」を選択してください。

【定期報告書用】 当該年度の燃料種

キャンセル 保存 & 新規 保存

図2.5.6 定期報告書用係数の選択

【定期報告書用】 当該年度の燃料種別に対応する換算、排出係数、単位を入力してください。

定期報告書係数 ⓘ
定期報告書係数を検索...

燃料種別で“電力”を選択時は、レコードタイプが電力用係数のレコードを指定します。“電力以外(燃料)”を選択時は、レコードタイプが燃料用係数のレコードを指定します。

再生可能エネルギーの割り当て
割り当て済み再生可能エネルギー (kWh)

電力について、環境省より電気事業者別排出係数一覧が公開されるまでは、適切なレコードが存在しませんので、未選択のまま保存してください。排出係数が公開され、本アプリがアップデートされましたら、追加された最新の排出係数のレコードの紐付けを行ってください。

データギャップ補足の監査情報
システム生成レコード ⓘ

データギャップの補足方法名
--なし--

提示されたエネルギー消費量 ⓘ

入力後に「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

図2.5.7 リストビューの作成

省エネ法・温対法... ホーム 特定事業者情報 事業者全体の報告 工場等毎の報告 事業分類毎の集計 固定資産によるエネルギー使用... さらに表示

固定資産によるエネルギー使用量
最近参照したデータ

5個の項目・数秒前に更新されました

このリストを検索...

名前	燃料種別	開始日	終了日	リストビューコントロール	トータル1 排出量 (tCO ₂ e)
1 関東工場 A重油 10月	一般炭 (カスタム)	2022/10/01		新規	23
2 関東工場 A重油 10月	重油	2022/10/01		コピー	34
3 東北工場 熱 2月	熱	2023/02/01		名前を変更	00
4 九州工場 液化天然ガス (LNG) 6月	液化天然ガス (LNG)			共有設定	92
5 北海道工場 蒸気 1月	蒸気			リスト検索条件を表示	00

「新規」を押下して、省エネ法報告用の紐付けを行うためのリストビューを作成します。

- 新規
- コピー
- 名前を変更
- 共有設定
- リスト検索条件を表示
- 表示する項目を選択
- 削除
- 列幅のリセット

図2.5.9 対象レコードの絞り込み

The screenshot shows a search filter panel titled "検索条件" (Search Conditions) with a close button (X). At the top right of the panel is a "新規" (New) button. Below the title bar are several icons: a gear, a list, a refresh, a pencil, and a funnel icon which is highlighted with a red box. The filter panel contains several criteria, each with a close button (X):

- 所有者別に絞り込み** (Filter by owner): すべての固定資産によるエネルギー使用量 (Energy consumption by all fixed assets).
- レコードタイプ** (Record type): 次の文字列と一致する Stationary Asset Energy Use Layout (Matches the following text).
- 名前** (Name): 次の文字列を含む 本社工場 (Contains the following text: Main Plant).
- 開始日** (Start date): >= 2022/04/01 (Greater than or equal to 2022/04/01).
- 燃料種別** (Fuel type): 次の文字列と一致する 電力 (Matches the following text: Electricity).

At the bottom of the panel are two buttons: "検索条件を追加" (Add search conditions) and "すべて削除" (Delete all). Below the panel is a link: "検索条件ロジックを追加" (Add search condition logic).

Callouts on the right side of the panel explain the criteria:

- 検索条件を設定して、紐付けるレコードを絞り込みます。(Set search conditions to narrow down the linked records.)
- 「すべての固定資産によるエネルギー使用量」を選択します。(Select "Energy consumption by all fixed assets".)
- 紐付け対象とするレコードが含まれる「レコードタイプ」を一つ指定します。(Specify one "Record type" that includes the target records.)
- 「名前」に紐付け対象とするレコードが含まれるキーワードを指定して絞り込みます。(Specify a keyword that includes the target records under "Name" to narrow down.)
- 「開始日」を指定して、報告対象期間に該当するレコードに絞り込みます。(Specify "Start date" to narrow down records within the reporting period.)
- 「燃料種別」を「電力」のみに絞り込みます。(Narrow down "Fuel type" to "Electricity" only.)

図2.5.10 リストビューの表示項目選択

18 個の項目・並び替え基準: 名前・検索条件: すべての固定資産によるエネルギー使用量 - 4 件以上の検索条件が適用されています・2分前 に更新されました

名前 ↑	終了日	燃料種別	スコープ1 排出量 (tCO2e)	リストビューコントロール
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202304		電力	0.0000	新規
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202305		電力	0.0000	コピー
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202306		電力	0.0000	名前を変更
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202307		電力	0.0000	共有設定
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202308		電力	0.0000	リストの検索条件を編集
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202309		電力	0.0000	表示する項目を選択
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202310		電力	0.0000	削除
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202311		電力	0.0000	列幅のリセット
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202312		電力	0.0000	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202304		電力	0.0000	2023/04/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202305		電力	0.0000	2023/05/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202306		電力	0.0000	2023/06/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202307		電力	0.0000	2023/07/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202308		電力	0.0000	2023/08/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202309		電力	0.0000	2023/09/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202310		電力	0.0000	2023/10/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202311		電力	0.0000	2023/11/01
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202312		電力	0.0000	2023/12/01

「表示する項目を選択」を押下して、紐付けたい項目を表示します。

図2.5.11 表示する項目

電力

表示する項目を選択

選択可能な項目

- * *
- A重油単位
- CH4 排出量 (kg)
- CO2 排出量 (kg)
- ID

参照可能な項目

- 名前
- 燃料種別
- 定期報告書係数

参照可能項目に「定期報告書係数」を追加してください。任意でそれ以外の項目も追加し、「保存」を押下します。

キャンセル 保存

図2.5.12 定期報告書係数の選択

固定資産によるエネルギー使用量
本社工場電力

18個の項目が選択されました

名前 ↑	燃料種別	定期報告書係数
1	本社工場 昼間電力 202304	電力
2	本社工場 昼間電力 202305	電力
3	本社工場 昼間電力 202306	電力
4	本社工場 昼間電力 202307	電力
5	本社工場 昼間電力 202308	電力
6	本社工場 昼間電力 202309	電力
7	本社工場 昼間電力 202310	電力
8	本社工場 昼間電力 202311	電力
9	本社工場 昼間電力 202312	電力
10	本社工場 夜間電力 202304	電力
11	本社工場 夜間電力 202305	電力
12	本社工場	電力
13	本社工場	電力
14	本社工場	電力
15	本社工場	電力
16	本社工場 夜間電力 202310	電力
17	本社工場 夜間電力 202311	電力
18	本社工場 夜間電力 202312	電力

「〇個の選択済み項目を更新」にチェックを入れて、「適用」を押下します。

編集マークを押下し、報告年度用の適切な電気事業者の排出係数を選択します。

「定期報告書係数」を紐付けたい全てのレコードにチェックを入れます。

図2.5.13 定期報告書係数の一括紐付け

固定資産によるエネルギー使用量
本社工場電力

18個の項目が選択されました

名前 ↑	燃料種別	定期報告書係数
1	本社工場 昼間電力 202304	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
2	本社工場 昼間電力 202305	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
3	本社工場 昼間電力 202306	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
4	本社工場 昼間電力 202307	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
5	本社工場 昼間電力 202308	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
6	本社工場 昼間電力 202309	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
7	本社工場 昼間電力 202310	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
8	本社工場 昼間電力 202311	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
9	本社工場 昼間電力 202312	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
10	本社工場 夜間電力 202304	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
11	本社工場 夜間電力 202305	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
12	本社工場 夜間電力 202306	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
13	本社工場 夜間電力 202307	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2021提出用
14	本社工場 夜間電力 202308	電力
15	本社工場 夜間電力 202309	電力
16	本社工場 夜間電力 202310	電力
17	本社工場 夜間電力 202311	電力
18	本社工場 夜間電力 202312	電力

対象とした全ての項目の「定期報告書係数」が更新されたことを確認して、「保存」を押下してください。

保存

図2.5.14 リストビューの作成



図2.5.15 リストビューの名称設定

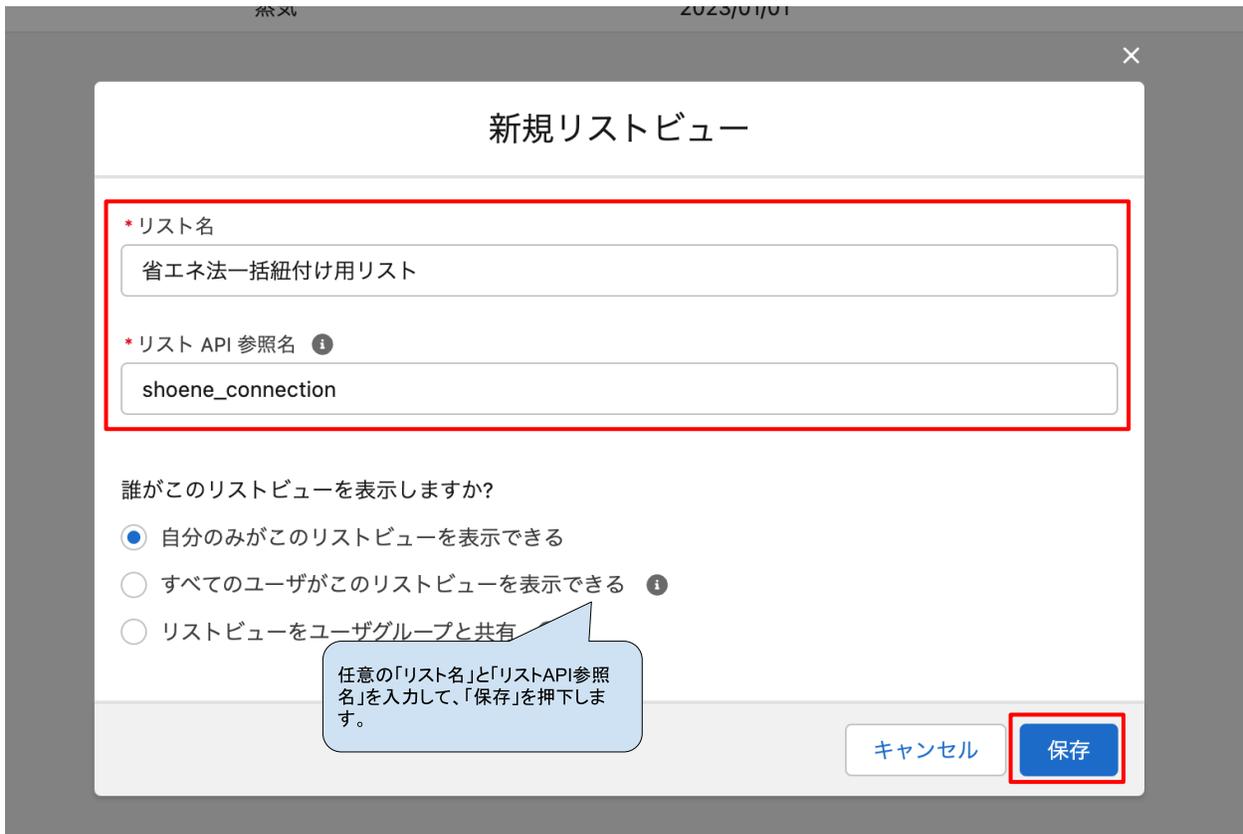


図2.5.16 対象レコードの絞り込み

The screenshot shows a search filter dialog box titled "検索条件" (Search Conditions). At the top right, there is a "新規" (New) button and a toolbar with icons for settings, list view, refresh, edit, and a highlighted search icon (a blue square with a white downward-pointing triangle). The dialog contains several filter conditions, each with a close button (X):

- 所有者別に絞り込み** (Filter by owner): 全ての固定資産によるエネルギー使用量 (All energy consumption by fixed assets).
- レコードタイプ** (Record type): 次の文字列と一致する Stationary Asset Energy (Matches the following text string).
- 名前** (Name): 次の文字列を含む 関東工場 (Contains the following text string: Kantou Factory).
- 開始日** (Start date): >= 2022/04/01 (Greater than or equal to 2022/04/01).
- 燃料種別** (Fuel type): 次の文字列と一致する 電力 (Matches the following text string: Electricity).

At the bottom, there are buttons for "検索条件を追加" (Add search conditions), "すべて削除" (Delete all), and "検索条件ロジックを追加" (Add search condition logic).

Callouts on the right explain the filters:

- 検索条件を設定して、紐付けるレコードを絞り込みます。(Set search conditions to narrow down the linked records.)
- 「すべての固定資産によるエネルギー使用量」を選択します。(Select "All energy consumption by fixed assets".)
- 紐付け対象とするレコードが含まれる「レコードタイプ」を一つ指定します。(Specify one "Record type" that includes the target records.)
- 「名前」に紐付け対象とするレコードが含まれるキーワードを指定して絞り込みます。(Specify a keyword that includes the target records under "Name" to narrow down.)
- 「開始日」を指定して、報告対象期間に該当するレコードに絞り込みます。(Specify "Start date" to narrow down records within the reporting period.)
- 「燃料種別」を「電力」のみに絞り込みます。(Narrow down "Fuel type" to "Electricity" only.)

図2.5.17 リストビューの表示項目選択

このリストを検索...

省エネ法・温対法... ホーム 特定事業者情報 事業者全体の報告 工場等毎の報告 事業分類毎の集計 固定資産によるエネルギー使用... さらに表示

固定資産によるエネルギー使用量
省エネ法一括紐付け用

50+個の項目・並び替え基準:名前・検索条件:すべての固定資産によるエネルギー使用量・数秒前に更新されました

このリストを検索...

名前 ↑	終了日	燃料種別	スコア	リストビューコントロール
1 関東工場 A重油 10月		重油	2.6634	新規
2 関東工場 A重油 11月		重油	2.6819	コピー
3 関東工場 A重油 12月		重油	2.4839	名前を変更
4 関東工場 A重油 1月		重油	2.1369	共有設定
5 関東工場 A重油 2月		重油	2.0895	リストの検索条件を編集
6 関東工場 A重油 3月		重油	2.7985	表示する項目を選択
7 関東工場 A重油 4月		重油	2.6948	削除
8 関東工場 A重油 5月		重油	6653	列幅をリセット
9 関東工場 A重油 6月				
10 関東工場 A重油 7月				
11 関東工場 A重油 8月				
12 関東工場 A重油 9月				
13 関東工場 コールタール 10月		コールタール (カスタム)	0.0000	
14 関東工場 コールタール 11月		コールタール (カスタム)	0.0000	
15 関東工場 コールタール 12月		コールタール (カスタム)	0.0000	
16 関東工場 コールタール 1月		コールタール (カスタム)	0.0000	
17 関東工場 コールタール 2月		コールタール (カスタム)	0.0000	

「表示する項目を選択」を押下して、紐付けたい項目を表示します。

図2.5.18 表示する項目

株式会社XXX 2023年... 本社工場 本社工場 東京電力エネルギーパートナー株

表示する項目を選択

選択可能な項目

- * A重油単位
- * CH4 排出量 (kg)
- CO2 排出量 (kg)
- ID

参照可能な項目

- 名前
- 特定事業者情報
- 事業者全体の報告
- 工場等の名称
- 工場等毎の報告
- 電力種別
- 定期報告書係数

参照可能項目に「名前」「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場等毎の報告」「電力種別」「定期報告書係数」を選択して「保存」を押下します。

キャンセル 保存

図2.5.19 対象レコードへの一括紐付け



図2.5.20 特定事業者情報の選択



図2.5.21 事業者全体の報告選択・工場等の名称入力

「工場等の名称」には、施設の名称を入力して、同様に適用します。

選択した「特定事業者情報」が全てのレコードに反映されます。

同様に、「事業者全体の報告」も作成したレコードを選択して、全てのレコードに反映します。

図2.5.22 工場等毎の報告選択

同様に、「工場等毎の報告」も作成したレコードから適切なものを選択して、全てのレコードに反映します。

図2.5.23 昼間売電の選択

電力種別が“昼間売電”のものだけにチェックを入れます。電力種別は、名前などがから判断してください。

“昼間売電”を選択し、チェックしたものに全てに適用します。

名前 ↑	特定事業者情報	事業者全体の報告	工場等の名称	工場等毎の報告	電力種別	定期報告書係数
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	

図2.5.24 夜間売電の選択

電力種別が“夜間売電”のものだけにチェックを入れます。電力種別は、名前などがから判断してください。

“夜間売電”を選択し、チェックしたものに全てに適用します。

名前 ↑	特定事業者情報	事業者全体の報告	工場等の名称	工場等毎の報告	電力種別	定期報告書係数
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 昼間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	
<input type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	
<input checked="" type="checkbox"/> 本社工場 夜間電力 202...	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	

“上記以外の売電”や“自家発電”がある場合は、同様の方法で選択してください。

図2.5.25 電力用定期報告書係数の選択

省エネ法・温対法... ホーム 特定事業者情報 事業者全体の報告 工場等毎の報告

固定資産によるエネルギー使用量
省エネ法一括紐付け用

18 個の項目が選択されました

「定期報告書係数」には、当該施設で契約している電力メニューの係数を選択し、他項目同様に全てのレコードに反映します。

名前 ↑	特定事業者情報	事業者全体の報告	工場等の名称	工場等毎の報告	電力種別	定期報告書係数
1	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
2	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
3	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
4	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
5	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
6	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
7	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
8	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
9	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	昼間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
10	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
11	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
12	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
13	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
14	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
15	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
16	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
17	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...
18	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	夜間買電	東京電力エナジーパートナー株式...

キャンセル 保存

全ての項目が適切に反映されていることを確認したら、「保存」を押下します。

図2.5.26 検索条件を電力以外へ変更

The screenshot shows a search filter dialog box titled "検索条件" (Search Conditions). At the top right, there is a "新規" (New) button and a toolbar with icons for settings, list, refresh, edit, and a search icon (a blue square with a white downward-pointing triangle) which is highlighted with a red box. A callout bubble points to this icon with the text "検索条件を変更します。" (Change search conditions).

The main area of the dialog lists several search conditions, each with a close button (X) on the right:

- 所有者別に絞り込み
すべての固定資産によるエネルギー使用量
- これらの検索条件のすべてに一致
- レコードタイプ
次の文字列と一致する Stationary Asset Energy
- 名前
次の文字列を含む 関東工場
- 開始日
>= 2022/04/01
- 燃料種別**
次の文字列と一致しない 電力

The "燃料種別" (Fuel Type) condition is highlighted with a red box. A callout bubble points to it with the text "「燃料種別」の検索条件を「次の文字列と一致しない」に変更し、「電力」以外に絞り込みます。" (Change the search condition for "Fuel Type" to "Does not match the following text string" and narrow down to "Electricity" and other categories).

At the bottom of the dialog, there are three buttons: "検索条件を追加" (Add search conditions), "すべて削除" (Delete all), and "検索条件ロジックを追加" (Add search condition logic).

図2.5.27 燃料用レコードの一括紐付け

燃料の場合「電力種別」の設定は不要ですので、図では表示項目から除外しています。

電力のレコードのときと同様に、「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場毎の報告」について反映します。

「定期報告書係数」には、「燃料用係数」または当該施設用に作成した燃料用の定期報告書係数を選択して反映します。

名前 ↑	特定事業者情報	事業者全体の報告	工場等の名称	工場毎の報告	定期報告書係数
1	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
2	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
3	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
4	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
5	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
6	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
7	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
8	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
9	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
10	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
11	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
12	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
13	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
14	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
15	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
16	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
17	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数
18	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場	本社工場	燃料用係数

全ての項目が適切に反映されていることを確認したら「保存」を押下します。

以上の操作を、全ての工場等(省エネ法への報告対象施設)について実施してください。

2.6. 「車両によるエネルギー使用量」登録

「車両によるエネルギー使用量」はNet Zero Cloud本体のオブジェクトです。詳細は、[Salesforceのヘルプ](#)もご参照ください。本アプリは、同一の「事業者全体の報告」に紐づいた「車両によるエネルギーによる使用量」に登録された「エネルギー使用量」の合計を算出し、そのエネルギー使用量を元に二酸化炭素排出量が算定されます。工場等の敷地内のみを走行する移動体（例えば構内専用フォークリフト）など、定期報告書での報告が必要な車両のみ、「事業者全体の報告」に紐づけるようにしてください。営業車両等、敷地外で走行する車両は対象外ですので、「事業者全体の報告」の紐付けは行わないでください。

本アプリをインストールすると、「車両によるエネルギー使用量」に複数の項目が追加されます。定期報告書の項目と紐づけるために、「特定事業者情報」や「定期報告書係数」の入力が必要となります。「固定資産によるエネルギー使用量」と同様に、本アプリとNet Zero Cloudを同時に利用開始した場合と、Net Zero Cloudを既に利用していて、追加で本アプリを導入いただいた場合で入力手順が異なります。前者の場合は以下の[入力手順A](#)に従って入力してください。後者の場合は入力済みの「車両によるエネルギー使用量」に対して紐づける情報を追加する必要がありますので、[入力手順B](#)に従って必要な項目を入力してください。

本アプリを導入いただいた状態で、初めてNet Zero Cloudの利用をする場合。	既にNet Zero Cloudを利用しており、「車両によるエネルギー使用量」を入力している状態で、本アプリを導入いただいた場合。
入力手順A へ	入力手順B へ

※本アプリでは、「車両によるエネルギー使用量」の「データ入力」に登録されたエネルギー使用量のみが集計され、エネルギー使用量を元に二酸化炭素排出量が算定されます。「補足排出量(tCO₂e)」に入力された二酸化炭素排出量は集計対象外となっていますので、定期報告書に報告すべき排出量は入力しないでください。また、Net Zero Cloudには「車両によるエネルギー使用量」のデータを集約した「車両のカーボンフットプリント」があります。「車両のカーボンフットプリント」にも補足排出量を入力することができますが、同様に集計対象外となっていますので、定期報告書に報告すべき排出量は入力しないでください。

入力手順A

1. 「車両によるエネルギー使用量」を押下します。表示されていない場合は、タブにある「さらに表示」を押下し、「車両によるエネルギー使用量」を押下します。(図2.6.1)
2. 「車両によるエネルギー使用量」タブから「新規」を押下します。(図2.6.2)
3. 必要な項目を入力します。「開始日」は必ず入力してください。開始日情報を元に集計すべきデータかが判別されます。(図2.6.3)
4. 工場等の敷地内のみを走行する移動体（例えば構内専用フォークリフト）など、定期報告書での報告が必要な車両についてのみ、「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」で適切なレコードを選択して入力します。「工場等の名称」は適切な名称を入力してください。「定期報告書係数」「その他の排出係数」は適切なレコードを選択し、紐付けます。(図2.6.4)
5. 「燃料種別」「燃料消費量」「燃料消費量単位」を入力します。(図2.6.5)
6. 入力後、「保存」を押下します。(図2.6.6)

入力手順B

1. 「車両によるエネルギー使用量」を押下します。表示されていない場合は、タブにある「さらに表示」を押下し、「固定資産によるエネルギー使用量」を押下します。(図2.6.1)
2. 登録済みの「車両によるエネルギー使用量」レコードに対して、省エネ法報告用に必要なレコードの一括紐付けを行うためのリストビューを作成します。歯車マークから、「新規」を押下します。(図2.6.7)
3. 任意の「リスト名」と「リストAPI参照名」を入力して、「保存」を押下します。(図2.6.8)
4. リストビューのインライン編集機能を利用して、適切な「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場毎の報告」「定期報告書係数」を一括で設定します。以下は設定方法の一例になります。
 - a. 省エネ法報告対象のレコードを絞り込むために、検索条件を設定します。「所有者別に絞り込み」を「すべての車両によるエネルギー使用量」を選択します。「レコードタイプ」には対象とするレコードが含まれているレコードタイプを一つ指定します。「名前」に施設名称など、施設を一つに絞り込めるキーワードを設定します。「開始日」を報告年度の開始日以降を指定します。(図2.6.9)
 - b. リストビューに表示する項目を指定します。「表示する項目を選択」を押下します。(図2.6.10)

- c. 参照可能項目に「名前」「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場等毎の報告」「定期報告書係数」を選択して「保存」を押下します。
([図2.6.11](#))
- d. 省エネ法報告用に紐付けたいレコード一覧が表示されたら、全てのレコードのチェックボックスをオンにします。一度にチェックを入れられるのは200レコードまでとなっています。対象レコードが200を超える場合は、以降の操作を複数回に分けて実施してください。([図2.6.12](#))
- e. 「特定事業者情報」の編集マークを押下します。[1.2.1.](#)にて作成したレコードを選択し、「○個の選択済み項目を更新」にチェックを入れて、「適用」を押下します。([図2.6.13](#))
- f. 選択した「特定事業者情報」がチェックを入れた全てのレコードに反映されます。同様に、「事業者全体の報告」も、[1.2.2.](#)にて作成したレコードを選択して、全てのレコードに反映します。「工場等の名称」には、施設の名称を入力して適用します。([図2.6.14](#))
- g. 「定期報告書係数」には、「燃料用係数」または当該車両用に作成した燃料用の定期報告書係数を選択して反映します。全ての項目が適切に反映されていることを確認したら、「保存」を押下します。([図2.6.15](#))
- h. a～gの操作を、全ての車両（省エネ法への報告対象に限る）について同様に実施することで、報告対象とする全ての「車両によるエネルギー使用量」レコードの紐付けを実施します。

以上の手順に従って、省エネ法への定期報告が必要な全ての入力済みの「車両によるエネルギー使用量」に対して追加入力が完了しましたら、以降、追加で新規に入力するエネルギー使用量は、[入力手順A](#)に従って入力してください。

図2.6.1 タブから「車両によるエネルギー使用量」を選択



図2.6.2 「車両によるエネルギー使用量」タブから「新規」を選択

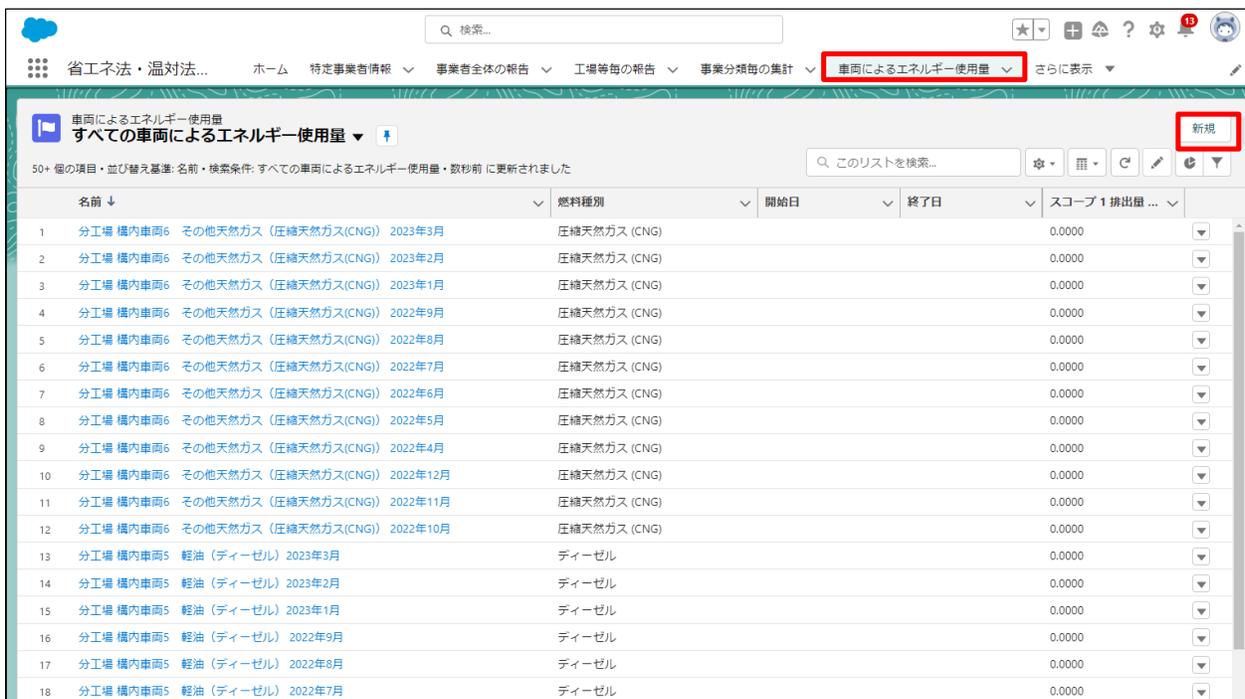


図2.6.3 新規車両によるエネルギー使用量作成画面

新規車両によるエネルギー使用量

* = 必須情報

情報

*名前
東京工場構内車両 202204

*車両の排出源
東京工場構内車両

所有者氏名
Hidaka Yukiya

車両のカーボンフットプリント
株式会社 東京工場構内車両 2022

会社所有資産

コストセンター

サプライヤー
サプライヤーを検索...

「開始日」は必ず入力してください。

レポート期間の詳細

開始日
2022/04/01

終了日
2022/04/30

カーボンフットプリント報告日
2022/05/02

図2.6.4 定期報告書用レコードの紐付け、排出係数の登録

【定期報告書用】

「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」には適切なレコードを選択して入力します。「工場等の名称」は適切な名称を入力してください。

特定事業者情報
株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告
株式会社 東京工業 2022

工場等の名称
東京工場

工場等毎の報告
株式会社 東京工場 2022

排出係数

適切な「定期報告書係数」「その他の排出係数」を選択します。

定期報告書係数
燃料用係数

その他の排出係数
算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数

図2.6.5 燃料消費量の登録

データ入力

適切な「燃料種別」を選択します。

適切な「燃料使用量」を入力します。

適切な「燃料使用量」の「単位」を入力します。

燃料種別
ガソリン

燃費 0.00

燃料消費量 2,113.00

距離 0.00

航空機の燃費

フライト日

航空機種別

燃費単位 L / 100 km

燃料消費量単位 リットル

距離単位 キロメートル

航空機の燃費単位 リットル / 時

フライト時間 (時間)

販売したエネルギー消費量値

販売した副生エネルギーの量 (kl)

補足排出量 (tCO₂e)

スコープ 1 追加排出量

キャンセル 保存 & 新規 保存

図2.6.6 レコードの保存

補足排出量 (tCO₂e)

「補足排出量 (tCO₂e)」は、本アプリの集計対象外ですので、定期報告書に報告が必要な排出量は入力しないでください。

入力後に「保存」を押下します。

スコープ 1 追加排出量

スコープ 2 ロケーション基準の追加排出量

スコープ 2 マーケット基準の追加排出量

スコープ 3 (上流) の追加排出量

スコープ 3 (下流) の追加排出量

キャンセル 保存 & 新規 保存

図2.6.7 リストビューの作成

The screenshot shows a web application interface for energy reporting. At the top, there is a search bar and navigation tabs. The main content area displays a table of vehicles with columns for name, fuel type, and date. A context menu is open over the table, with the '新規' (New) option highlighted. A callout box points to this option with the text: 「新規」を押下して、省エネ法報告用の紐付けを行うためのリストビューを作成します。

名前 ↑	燃料種別	開裂	リストビューコントロール	スコープ1排...	
1	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年10月	ガソリン	0.0000
2	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年11月	ガソリン	0.0000
3	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年12月	ガソリン	0.0000
4	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年4月	ガソリン	0.0000
5	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年5月	ガソリン	0.0000
6	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年6月	ガソリン	0.0000
7	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年7月	ガソリン	0.0000
8	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年8月	ガソリン	0.0000
9	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2022年9月	ガソリン	0.0000
10	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2023年1月	ガソリン	0.0000
11	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2023年2月	ガソリン	0.0000
12	関東工場 橋内車両7	揮発油 (ガソリン)	2023年3月	ガソリン	0.0000
13	関東工場 橋内車両8	液化石油ガス(LPG)	2022年10月	オートガス / LPG	0.0000
14	関東工場 橋内車両8	液化石油ガス(LPG)	2022年11月	オートガス / LPG	0.0000
15	関東工場 橋内車両8	液化石油ガス(LPG)	2022年12月	オートガス / LPG	0.0000
16	関東工場 橋内車両8	液化石油ガス(LPG)	2022年4月	オートガス / LPG	0.0000

図2.6.8 リストビューの名称設定

The screenshot shows a dialog box titled '新規リストビュー' (New List View). It contains two input fields: 'リスト名' (List Name) with the value '省エネ法一括紐付け用' and 'リスト API 参照名' (List API Reference Name) with the value 'shoene_connection_vehicle'. Below the fields are radio buttons for visibility settings. A callout box points to the '保存' (Save) button with the text: 任意の「リスト名」と「リストAPI参照名」を入力して、「保存」を押下します。

誰がこのリストビューを表示しますか?

- 自分だけがこのリストビューを表示できる
- すべてのユーザがこのリストビューを表示できる
- リストビューをユーザグループと共有

図2.6.9 対象レコードの絞り込み

新規

検索条件を設定して、紐付けるレコードを絞り込みます。

キャンセル 保存

所有者別に絞り込み
全ての車両によるエネルギー使用量

「すべての車両によるエネルギー使用量」を選択します。

これらの検索条件のすべてに一致

レコードタイプ* ×
次の文字列と一致する

紐付け対象とするレコードが含まれる「レコードタイプ」を一つ指定します。レコードタイプが定義されていない場合は、空白のまま指定します。

名前* ×
次の文字列を含む フォークリフト

「名前」に紐付け対象とするレコードが含まれるキーワードを指定して絞り込みます。

開始日* ×
>= 2023/04/01

「開始日」を指定して、報告対象期間に該当するレコードに絞り込みます。

検索条件を追加 すべて削除

検索条件ロジックを追加

図2.6.10 リストビューの表示項目選択

省エネ法・温対法... ホーム 特定事業者情報 事業者全体の報告 工場等毎の報告 事業分類毎の集計 車両によるエネルギー使用量 さらに表示

車両によるエネルギー使用量
省エネ法一括紐付け用

18 個の項目・並び替え基準: 名前・検索条件: すべての車両によるエネルギー使用量 - レコードタイプ, 開始日, 名前・数秒前 に更新されました

名前 ↑	終了日	燃料種別	スコープ1 排出量 (tCO...)	開始日	リストビューコントロール	コードタイプ
1	フォークリフト001 202304	ガソリン	0.0000	2023/0...	新規	
2	フォークリフト001 202305	ガソリン	0.0000	2023/0...	コピー	
3	フォークリフト001 202306	ガソリン	0.0000	2023/0...	名前を変更	
4	フォークリフト001 202307	ガソリン	0.0000	2023/0...	共有設定	
5	フォークリフト001 202308	ガソリン	0.0000	2023/0...	リストの検索条件を編集	
6	フォークリフト001 202309	ガソリン	0.0000	2023/0...	表示する項目を選択	
7	フォークリフト001 202310	ガソリン	0.0000	2023/1...	削除	
8	フォークリフト001 202311	ガソリン	0.0000	2023/11...	列幅をリセット	
9	フォークリフト001 202312	ガソリン	0.0000	2023/12...		
10	フォークリフト002 202304	ガソリン	0.0000	4/01		
11	フォークリフト002 202305	ガソリン	0.0000	5/01		
12	フォークリフト002 202306	ガソリン	0.0000	6/01		
13	フォークリフト002 202307	ガソリン	0.0000	2023/07/01		
14	フォークリフト002 202308	ガソリン	0.0000	2023/08/01		
15	フォークリフト002 202309	ガソリン	0.0000	2023/09/01		
16	フォークリフト002 202310	ガソリン	0.0000	2023/10/01		
17	フォークリフト002 202311	ガソリン	0.0000	2023/11/01		
18	フォークリフト002 202312	ガソリン	0.0000	2023/12/01		

「表示する項目を選択」を押下して、紐付けたい項目を表示します。

図2.6.11 表示する項目

表示する項目を選択

選択可能な項目	参照可能な項目
CH4 排出量 (kg)	名前
CO2 排出量 (kg)	特定事業者情報
N2O 排出量 (kg)	事業者全体の報告
System Modstamp	工場等の名称
エネルギーの使用に伴って発生する...	工場等毎の報告
エネルギーの使用に伴って発生する...	定期報告書係数

参照可能項目に「名前」「特定事業者情報」「事業者全体の報告」「工場等の名称」「工場等毎の報告」「定期報告書係数」を選択して「保存」を押下します。

キャンセル 保存

図2.6.12 対象レコードへの一括紐付け

省エネ法報告用に紐付けたい電力のレコード一覧が表示されたら、全てのレコードのチェックボックスをオンにします。一度にチェックを入れられるのは200レコードまでとなっています。対象レコードが200を超える場合は、以降の操作を複数回に分けて実施してください。

編集マークを押下します。

図2.6.13 特定事業者情報の選択

作成した「特定事業者情報」を選択します。

「3個の選択済み項目を更新」にチェックを入れて、「適用」を押下します。

図2.6.14 事業者全体の報告・工場等の名称入力

省エネ法一括紐付け用

18 個の項目が選択されました

名前 ↑	特定事業者情報	事業者全体の報告	工場等の名称	工場等毎の報告	定期報告書係数
1	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...	本社工場		
2	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
3	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
4	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
5	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
6	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
7	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
8	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
9	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
10	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
11	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
12	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
13	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
14	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
15	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
16	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
17	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			
18	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年...			

「工場等の名称」には、施設の名称を入力して、同様に適用します。

同様に、「事業者全体の報告」も作成したレコードを選択して、全てのレコードに反映します。

選択した「特定事業者情報」が全てのレコードに反映されます。

図2.6.15 定期報告書係数の選択

省エネ法一括紐付け用

18 個の項目が選択されました

名前 ↑	特定事業者情報	事業者全体の報告	工場等の名称	工場等毎の報告	定期報告書係数
1	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
2	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
3	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
4	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
5	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
6	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
7	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
8	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
9	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
10	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
11	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
12	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
13	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
14	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
15	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
16	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
17	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数
18	株式会社XXX	株式会社XXX 2023年度定期報告	本社工場	東京本社	燃料用係数

「定期報告書係数」には、「燃料用係数」または当該車両用に作成した燃料用の定期報告書係数を選択して反映します。

全ての項目が適切に反映されていることを確認したら、「保存」を押下します。

以上の操作を、全ての車両(省エネ法への報告対象に限る)について実施してください。

2.7. エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の再集計

環境省より公開されている[電気事業者別排出係数](#)が更新された場合、最新の排出係数を用いてCO2排出量を算定し直す必要があります。本アプリにおいて排出係数更新の準備が整いますと、ホーム画面に更新機能が表示されますので、以下の更新手順に従って、排出係数を自動更新し、温室効果ガス排出量の再集計を行うことができます。

また「定期報告書係数（レコードタイプ：燃料用係数または電力用係数）」レコードを登録または更新後に下記の更新手順を実行すると、紐づけられていた「事業全体の報告」および「工場等毎の報告」の使用量、温室効果ガス排出量等の再集計を行うことが可能です。

※この手順は、「定期報告書係数」のレコードが更新されたときのみ利用できる機能です。それ以外の通常時は利用できません。

更新手順

1. 「定期報告書係数」レコードを登録または更新後にタブ「ホーム」を押下すると、ホーム画面に「排出係数更新処理」機能が出力されます。「反映はこちら」を押下します。
([図2.7.1](#))
2. 確認画面で表示されるので「OK」を押下します。[\(図2.7.2\)](#)
3. 確認画面で「OK」を押下後に成功メッセージが表示され、ログインユーザ宛に完了メールが届きます。[\(図2.7.3, 図2.7.4\)](#)

図2.7.1 「排出係数更新処理画面」



図2.7.2 確認画面で「OK」を押下

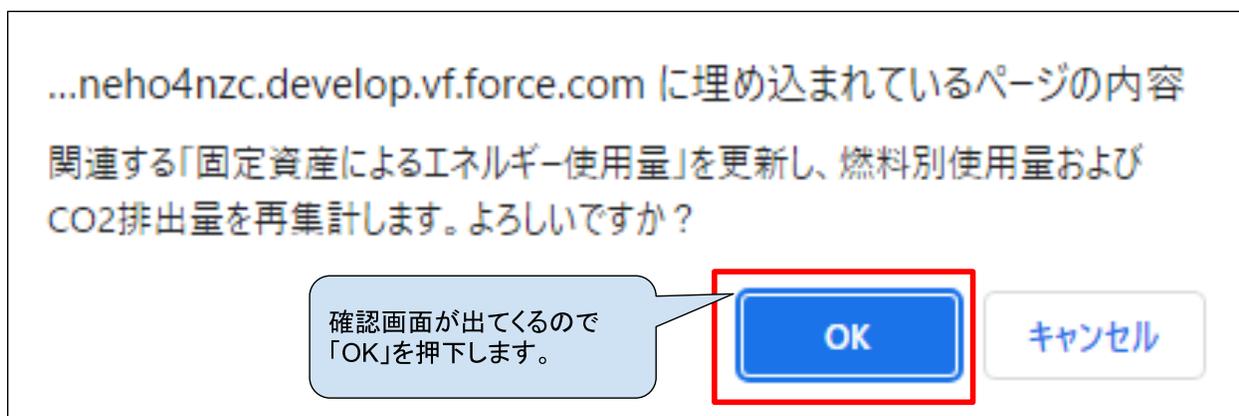


図2.7.3 成功画面を確認

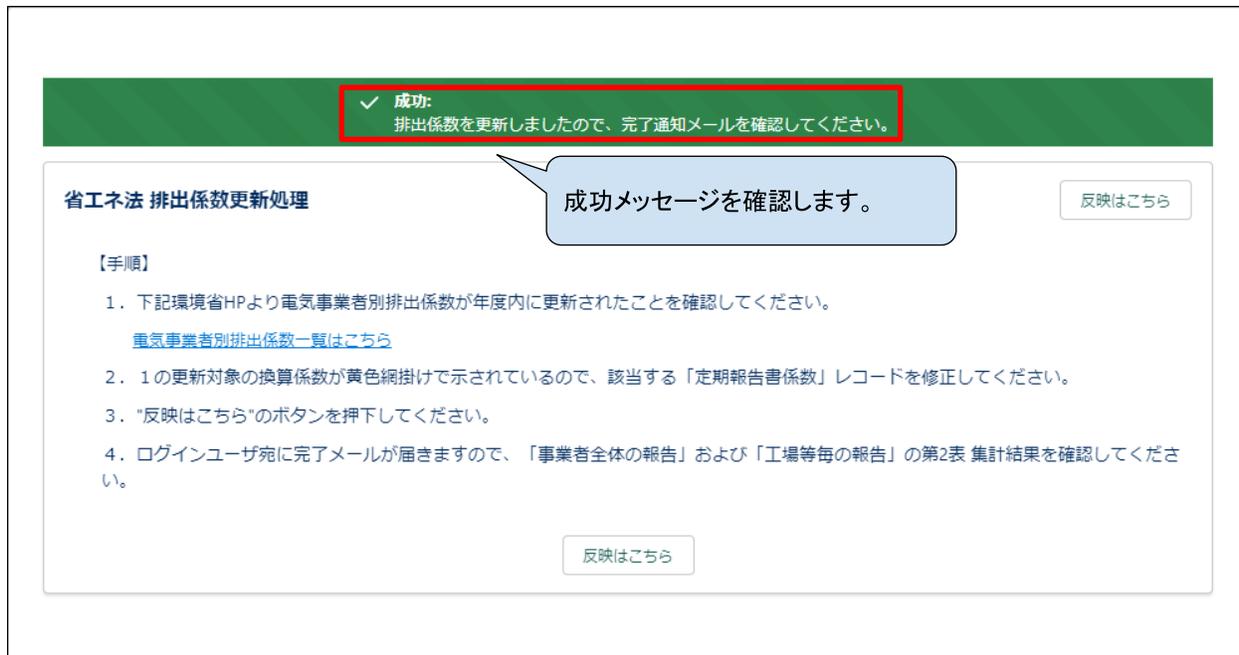
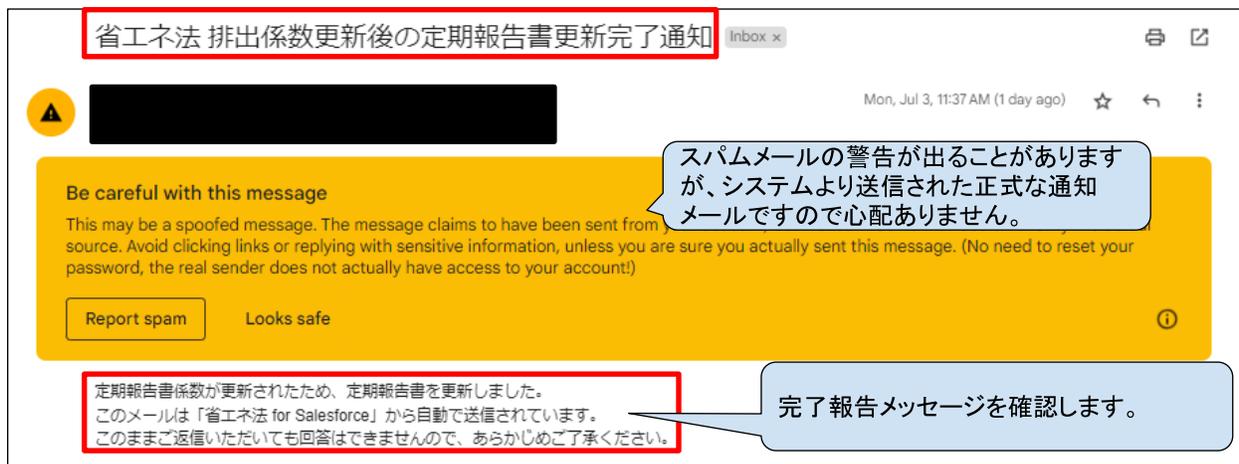


図2.7.4 完了報告メールを確認



3. 省エネ法定期報告に必要な情報の入力

3.1 「定期報告書用その他情報」を登録

「定期報告書用その他情報」は、エネルギー使用量に関連する項目以外の情報を入力するために使用します。「事業者全体の報告」「工場等毎の報告」「定期報告書係数」をレコード作成時に紐付けます。レコードタイプ毎にデータを入力します。

入力手順

1. 「定期報告書用その他情報」を押下します。表示されていない場合は、タブにある「さらに表示」を押下し、「定期報告書用その他情報」を押下します。(図3.1.1)
2. 「定期報告書用その他情報」タブから「新規」を押下します。(図3.1.2)
3. 省エネ法報告用である、様式9用のレコードタイプ(表3.1.1)のうち、入力したい情報に関するものを選択し、「次へ」を押下します。(図3.1.3)
4. 情報セクションで必要なレコードの紐付けを行います。「定期報告書用その他情報名」は一意となる名称を入力してください。年度がわかるような名称を推奨します。「特定事業者情報」には1.2.1作成した適切なレコードを紐付けます。選択したレコードタイプに応じて、「事業者全体の報告」または「工場等毎の報告」に1.2.2または1.2.3で作成した適切なレコードを紐付けます。(図3.1.4)

表3.11 定期報告書用その他情報のレコードタイプとその概要

レコードタイプ	概要・入力対象
01_様式9：定期報告書 特定-第12表-6の1_6の2_6の3_6の4	<p>国内認証排出量削減量及び海外認証排出量削減量、非化石電源二酸化炭素削減相当量を記入するためのレコードタイプです。</p> <p>国内クレジット、オフセット・クレジット(J-VER)、J-クレジット及びグリーンエネルギーCO2削減相当量、JCMクレジットによる排出削減量、非化石電源二酸化炭素削減相当量がある場合は、このレコードタイプを選択して入力してください。<u>該当する排出削減量または削減相当量がない場合は、入力不要です。</u></p>
02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2	<p>エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数を記入するためのレコードタイプです。</p> <p>電気事業者とその排出係数ごとに複数のレコードを作成してください。</p>
03_様式9：定期報告書 特定-第9表-3	<p>中長期計画書記載事項の実施状況について記入するためのレコードタイプです。</p> <p>実施項目ごとに複数のレコードを作成してください。</p>
04_様式9：定期報告書 指定-第1表	<p>エネルギー管理指定工場等の基本情報を記入するためのレコードタイプです。</p> <p><u>エネルギー管理指定工場等に指定されている工場等がない場合は、入力不要です。</u></p>
05_様式9：定期報告書 指定-第3表	<p>エネルギー指定管理工場におけるエネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況を記入するためのレコードタイプです。</p>

	<p><u>エネルギー管理指定工場等に指定されている工場等がない場合は、入力不要です。</u></p>
<p>06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3</p>	<p>エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数を記入するためのレコードタイプです。</p> <p>工場等ごと、電気事業者とその排出係数ごとに複数のレコードを作成してください。</p> <p><u>エネルギー管理指定工場等に指定されている工場等がない場合は、入力不要です。</u></p>

図3.1.1 タブから「定期報告書用その他情報」を選択

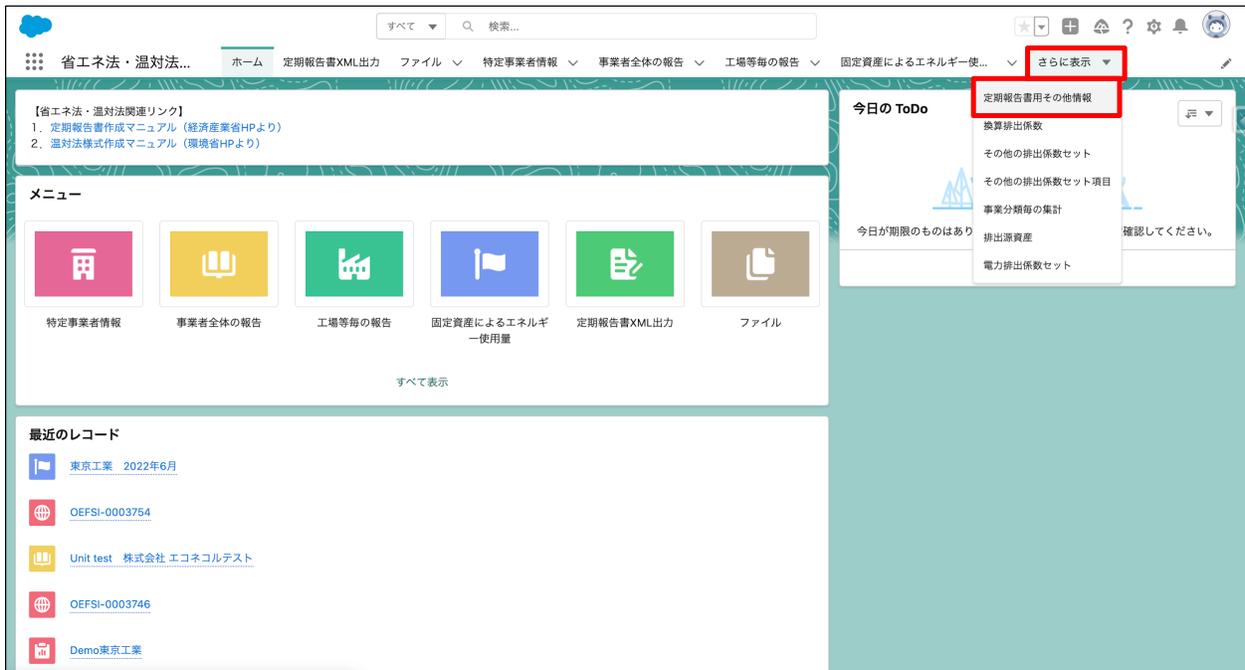


図3.1.2 「定期報告書用その他情報」タブから「新規」を選択

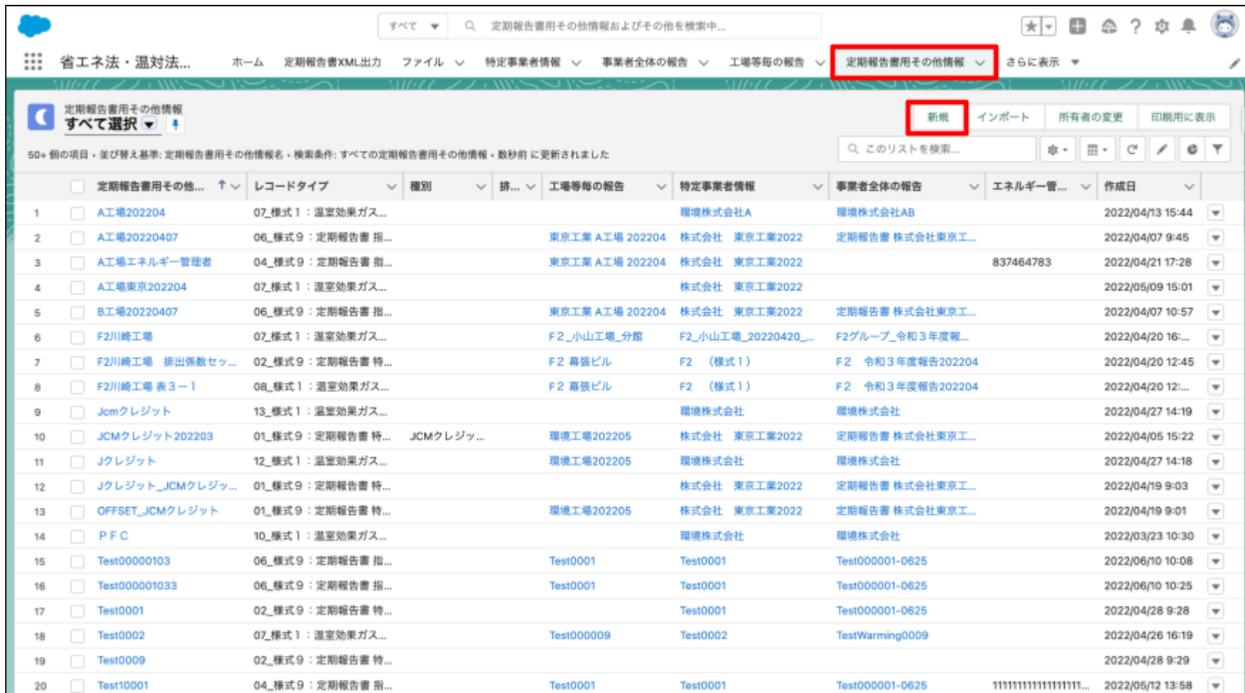


図3.1.3 レコードタイプの選択

新規定期報告書用その他情報

レコードタイプを選択

- 01_様式9：定期報告書 特定-第12表-6の1_6の2_6の3_6の4
国内認証排出量削減量及び海外認証排出量削減量、非化石電源二酸化炭素削減相当量を記入
- 02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の仕様に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数を記入
- 03_様式9：定期報告書 特定-第9表-3
中長期計画書記載事項の実施状況について記入
- 04_様式9：定期報告書 指定-第1表
エネルギー管理指定工場等の基本情報を記入
- 05_様式9：定期報告書 指定-第3表
エネルギー指定管理工場におけるエネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況を記入
- 06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3
他人から供給された電気の使用に伴うCO2排出係数を変更

- 07_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表
温室効果ガス算定排出量を記入
- 08_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表1
二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数
- 09_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2
調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の算定に用いた係数

キャンセル 次へ

省エネ法報告用である、様式9用のレコードタイプのうち、入力したい情報に関するものを選択し、「次へ」を押下します。

図3.1.4 情報セクションの入力

新規定期報告書用その他情報: 01_様式9 : 定期報告書 特定-第12表-6の1_6の2_6の3_6の4

* = 必須情報

情報

レコードタイプ
01_様式9 : 定期報告書 特定-第12表-6の1_6の2_6の3_6の4

* 定期報告書用その他情報名
株式会社 東京工業 2022 12表

* 特定事業者情報 ⓘ
株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告 ⓘ
株式会社 東京工業 2022

【特定-第12表6-2 国内認証排出削減量に係る情報】 記入用

削減量の種別
--なし--

クレジット特定番号 (ユニット開始番号)

クレジット特定番号 (ユニット終了番号)

無効化日又は移転日

キャンセル 保存 & 新規 保存

無効化量又は移転量

「定期報告書用その他情報名」は一意となる名称を入力してください。年度がわかるような名称を推奨します。

作成した「特定事業者情報」を紐付けます。

作成した「事業者全体の報告」を紐付けます。(レコードタイプによってはこの部分の項目が「工場等毎の報告」になります。)

5. レコードタイプを選択した後にそれぞれの表に入力を行います。国内認証排出削減量、海外認証排出削減量、非化石電源二酸化炭素削減相当量のそれぞれについて、複数の入力が必要な場合は、同レコードタイプで複数のレコードを作成してください。
 - a. 01_様式9：定期報告書 特定-第12表-6の1_6の2_6の3_6の4
 - i. 国内認証排出削減量の情報では「削減量の種別」「クレジット特定番号(ユニット開始番号)」「クレジット特定番号(ユニット終了番号)」「無効化日又は移転日」「無効化量日又は移転量」を入力し、保存を押下します。(図3.1.5)
 - ii. 海外認証排出削減量の情報では「削減量の種別」「識別番号」「無効化日又は移転日」「無効化量日又は移転量」を入力し、保存を押下します。(図3.1.5)
 - iii. 非化石電源二酸化炭素削減相当量の情報では「種別」「非化石証書の量」「全国平均係数」「補正率」「電気事業者から小売供給された電気使用に伴い発生する二酸化炭素排出量」を入力し、保存を押下します。(図3.1.6)

※クレジット特定番号や識別番号を誤った形式で入力して保存すると、出力したXMLファイルをEEGSにアップロードした際にエラーとなります。適切な形式で入力するように注意してください。

図3.1.5 クレジットの登録

【特定-第12表6-2 国内認証排出削減量に係る情報】 記入用

削減量の種別	↶
J-クレジット	▼
クレジット特定番号（ユニット開始番号）	↶
JCL-400-000-006-560-063	
クレジット特定番号（ユニット終了番号）	↶
400-000-0006-562-062	
無効化日又は移転日	↶
2021/12/20	📅
無効化量又は移転量	↶
1,000.0000	

国内認証排出削減量に係る
情報を入力します。

【特定-第12表6-3 海外認証排出削減量に係る情報】 記入用

削減量の種別	↶
JCMクレジット	▼
識別番号 ⓘ	↶
JCM-MIN-JP-99901-001	
無効化日又は移転日	↶
2021/09/30	📅
無効化量又は移転量	↶
100.0000	

海外認証排出削減量に係る
情報を入力します。

図3.1.6 非化石証書の登録

【特定-第12表6-4 非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報】 記入用

種別	FIT証書
非化石証書の量 (kWh)	10,000,000.0000
全国平均係数 (t-CO ₂ /kWh)	0.00044500
補正率	1.04000000
電気事業者から小売供給された電気使用に伴い発生する二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	5,000.00000000

システム情報

所有者
Inoue Jun

キャンセル 保存 & 新規 **保存**

非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報を入力します。

入力完了後に「保存」を押下します。

b. 02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2

- i. 適切な「電力基礎排出係数」を選択し紐づけます。(図3.1.7)
 - 1. (必要な場合) 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度の電気事業者別排出係数と異なる排出係数を用いて算定した場合は、
 - 「【4-1】 他人から供給された電気使用に伴うCO2排出量係数の変更が必要な場合、入力可」及び「【4-2】 他人から供給された電気使用に伴う調整後CO2排出量係数の変更が必要な場合、入力可」セクションにそれぞれ、「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」を入力し、保存します。
- ii. 「電力基礎排出係数」に登録されている「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」が自動的に報告データとして利用されます。

図3.1.7 02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2

新規定期報告書用その他情報: 02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2

* = 必須情報

情報

レコードタイプ
02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2

* 定期報告書用その他情報名		↩
東京工業 12表2		
* 特定事業者情報 ⓘ		↩
🏢	株式会社 東京工業 2022	✕
電力基礎排出係数 ⓘ		↩
🔍	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューG2021提出用	✕
事業者全体の報告 ⓘ		↩
🏢	東京工場	✕

【4-1】 他人から供給された電気使用に伴うCO2排出量係数の変更が必要な場合 入力可

c. 03_様式9：定期報告書 特定-第9表-3

- i. 中長期計画書記載事項の実施状況セクションの「内容」「中長期計画指針」「該当する工場等」には、過去に提出した中長期計画書に記載した事項のうち、本報告対象年度に実施する予定の計画について記載してください。
- ii. 中長期計画書に記載していないものについてもここに記載することは可能です。その場合、「中長期計画書記載の有無」は「無」を選択してください。（中長期計画書に記載がある計画の場合は「有」を選択してください。）
- iii. 「実施状況」には計画内容の実施状況を記載してください。なお、複数年度にわたって実施する事項については、報告対象年度に実施予定であった部分の実施状況を記載してください。
- iv. 保存を押下します。( [3.1.8](#))

図3.1.8 03_様式9：定期報告書 特定-第9表-3

新規定期報告書用その他情報: 03_様式9：定期報告書 特定-第9表-3

* = 必須情報

情報

レコードタイプ
03_様式9：定期報告書 特定-第9表-3

* 定期報告書用その他情報名 ↶

東京工業 特定9表

* 特定事業者情報 ⓘ ↶

株式会社 東京工業 2022 ✕

事業者全体の報告 ⓘ ↶

東京工場 ✕

「内容」「中長期計画作成指針」「該当する工場等」「中長期計画書記載の有無」「実施状況」を入力します。

【特定-第9表】 中長期計画書記載事項の実施状況

内容 ↶

重機（省エネ運転・メンテ強化）

中長期計画作成指針

該当する工場等 ↶

全工場

中長期計画書記載の有無 ↶

有 ▼

実施状況 ↶

完了

システム情報

入力完了後に「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

d. 04_様式9：定期報告書 指定-第1表

- i. 「工場等毎の報告」で作成するエネルギー管理者の「氏名」「職名」「電話」「エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号」「FAX」「メールアドレス」を入力し、保存を押下します。(図3.1.9)

図3.1.9 04_様式9：定期報告書 指定-第1表

工場等の名称 ①
東京工場

【指定-第1表 エネルギー管理者(員)の職位名・氏名・連絡先】 記入用

氏名
田中太郎

職名
管理部長

電話
000-1111-2222

エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号
123456789

FAX
000-1111-2222

メールアドレス
taro.tanaka@energy.com

システム情報

入力完了後に「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

e. 05_様式9：定期報告書 指定-第3表

- i. エネルギーの使用の合理化及びエネルギーを消費する主要な設備の概要等には「種別」「設備の名称」「設備の概要」「稼働状況」「新設、改造又は撤去の状況」を入力します。「種別」はエネルギーの使用の合理化に関する設備又は上記以外のエネルギーを消費する主要な設備のいずれかを選択し、保存を押下します。(図3.110)

図3.110 05_様式9：定期報告書 指定-第3表

【指定-第3表】 エネルギーの使用の合理化及びエネルギーを消費する主要な設備の概要等

*
 下記「種別」からエネルギー指定管理工場における「エネルギーの使用の合理化に関する主要な設備の概要」を選択し、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況を記入し、この項目は保存時に計算されます

種別

エネルギーの使用の合理化に関する設備

設備の名称 ⓘ

高効率温水ボイラー

設備の概要

型式：XX-XXXXXX

稼働状況 ⓘ

1日8時間、年間340日稼働

新設、改造又は撤去の状況 ⓘ

新設

作成者: Nakazawa Yuya, 2022/05/16 14:35

最終更新者: 2022/06/02 15:07

キャンセル
保存 & 新規
保存

「種別」は選択リストを選択し、「設備の名称」「設備の概要」「稼働状況」「新設、改造又は撤去の状況」を入力します。

入力完了後に「保存」を押下します。

f. 06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3

- i. 適切な「電力基礎排出係数」で選択し紐づけます。
 - 1. (必要な場合) 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度の電気事業者別排出係数と異なる排出係数を用いて算定した場合は、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素温室効果ガス排出量の算定に用いた係数に関する「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」を入力します。
- ii. 保存を押下します。(図3.11)
- iii. 「電力基礎排出係数」に登録されている「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」が自動的に入力されます。

図3.11 06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3

新規定期報告書用その他情報: 06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3

* = 必須情報

情報

レコードタイプ
06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3

* 定期報告書用その他情報名		↶
東京工業 指定10表		
* 特定事業者情報 ⓘ		↶
🏢	株式会社 東京工業 2022	×
工場等毎の報告 ⓘ		↶
🏭	東京工場 2022	×
工場等の名称 ⓘ		↶
東京工場		
電力基礎排出係数 ⓘ		↶
🔍	東京電力エナジーパートナー株式会社メニューJ(残差)2023提出用	×

適切な「電力基礎排出係数」を選択し紐づけます。

【指定-第10表3】 他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガスの算定係数【記入用】

係数の値 (t-CO2/kWh)

係数の根拠

キャンセル
保存 & 新規
保存

係数の適用範囲 ⓘ

入力完了後に「保存」を押下します。

3.2. 「工場等毎の報告」の入力

「工場等毎の報告」に工場等毎の基本情報を入力します。指定区分に限らず全ての工場のデータを入力します。

入力手順

1. 「工場等毎の報告」タブを押下し、レコード一覧を表示します。登録した「工場等毎の報告」のレコードそれぞれに情報を登録していきます。定期報告書 工場名を押下して、レコードを開きます。(図3.2.1)
2. 「編集」または鉛筆マークを押下して、編集画面を開きます。(図3.2.2)
3. 【指定-第1表】 エネルギー指定工場等の基本情報セクションを入力します。「当該事業を所管する大臣」では、選択可能な大臣のリストで任意の大臣を選択し、「▶」を押下し、右の選択済みリストに追加します。(図3.2.3)
4. 指定区分の変更セクションにて必要項目の入力を行います。「現在の指定区分」では、エネルギー管理指定工場の場合は「第1種」または「第2種」を選択し、エネルギー管理指定工場以外の工場等の場合には「なし」を選択します。「指定8表-1又は指定8表-2のどちらかを選択しますか」では「専ら事務所」または「工場」を選択します。この選択に応じて、後ほど作成する指定8表にて入力すべき箇所が異なります。(図3.2.4)
5. 【指定-第2表】 エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量セクションにて必要項目の入力を行います。「前年度原油換算換算kl」を入力します。各燃料種別毎の「使用量」「熱量換算」「販売した副生エネルギーの量」「販売した副生エネルギーの量熱量換算」「購入した未利用熱の量」「購入した未利用熱の量熱量換算」は、「固定資産によるエネルギー使用量」から自動で集計されるため、入力不要です。(図3.2.5)
6. 【指定-第4表】 生産量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値セクションでは、今回が初めての定期報告の場合、「提出初年度のため、前年度のデータは無し」にチェックを入れます。それ以外の場合は、エネルギーのしよと密接な関係を持つ値を入力します。「名称」「単位」は適切なものを選択し、「「名称」「単位」で選択した項目の値(今年度)」「「名称」「単位」で選択した項目の値(前年度)」にそれぞれ値を入力します。(図3.2.6)
7. 【指定-第5表】 エネルギーの使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位セクションは、定期報告書の提出初年度で、前年度データがない場合に限り、当該項目にチェックを入れてください。エネルギーの使用に係る原単位および電気需要平準化原単位は自動で計算されます。(図3.2.7)

8. 【指定-第6表】過去5年度間のエネルギー使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位の変化状況セクションでは、定期報告書の提出初年度で、前年度データがない場合に限り、当該項目にチェックを入れてください。1.過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況セクションおよび2.過去5年度間の電気需要平準化評価原単位の変化状況セクションでは、【前年度(報告年度-1年)】 【2年度前(報告年度-2年)】 【3年度前(報告年度-3年)】 【4年度前(報告年度-4年)】の「エネルギーの使用に係る原単位」及び「電気需要平準化評価原単位」を入力します。(図3.2.8, 図3.2.9)
9. 【指定-第9表】その他実施した措置セクションでは中長期計画書記載事項の実施状況について、当該工場等での「エネルギーの使用の合理化に関する事項」および「電気の需要の平準化に資する措置に関する事項」を、その他実施した措置の概要を入力します。(図3.2.10)
10. 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数を用いた場合、4.地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数の内容セクションに当該算定方法又は係数の内容について入力します。5.権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無セクションは“有”, “無”のいずれかの選択をします。入力完了後に「保存」を押下します。(図3.2.11)
11. 追加情報として「工場等毎の報告用追加情報」の【指定-第7表】 【指定-第8表】を入力します。最上部の情報セクションに、「追加情報」レコードが自動で生成されていますので、押下して開きます。(図3.2.12)
12. 「編集」または鉛筆マークを押下して、編集画面を開きます。(図3.2.13)
13. 8で入力した過去5年度の原単位から計算された「5年度間平均原単位変化」が99.0を超えた場合、【指定-第7表】エネルギー使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位が改善不可時の理由セクションに、「(イ)の理由」 「(ロ)の理由」 「(ハ)の理由」 「(ニ)の理由」を入力します。原単位が改善している場合は入力不要です。(図3.2.14)
14. 【指定-第8表】では、事業所が「専ら事務所」の場合は第8表-1を、「工場」の場合は第8表-2を入力します。
 - a. 「専ら事務所」の場合：第8表-1を入力します。設問毎に、選択肢を変更してください。デフォルトで“設定済”, “実施している”に設定されているので、変更箇所は選択リストから選択し直します。「一部設定済」の場合は「進捗(%)」を入力します。(図3.2.15)
 - b. 「工場」の場合：第8表-2を入力します。設問毎に、選択肢を変更してください。デフォルトで“設定済”, “実施している”に設定されているので、変更箇所は選択リストから選択し直します。「一部設定済」の場合は「進捗(%)」を入力します。(図3.2.16) 発電専用設備又はコージェネレーション設備がある場合はその情報を入力します。燃料種ごとの基本情報セクションには、最大5種の燃料の情報

を入力できます。「燃料種」「年間使用量(GJ)」「熱量構成比(%)」を入力してください。高効率化に向けた取組セクションにも必要な情報を入力してください。入力完了後に「保存」を押下します。([図3.2.17](#), [図3.2.18](#))

図3.2.1 工場等毎の報告の編集

「工場等毎の報告」タブを押下します。

登録した「工場等毎の報告」のレコードそれぞれに情報を登録していきます。定期報告書工場名を押下して、レコードを開きます。

レコード	工場名	業種	報告年	使用量(原...)	エネ...	エネルギー...	最終更新者	最終更新日
1	東京工場2023			2,5723	0.0051	4,5700	Hidaka Uhuru	2023/08/16 16:23
2	中国ヤード2023			1,811,2283	3.6225	4,087,7146	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02
3	北海道工場2023			3,201,7379	0.1601	8,234,8874	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02
4	中部ヤード2023			695.0936	1.3902	1,238,4676	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02
5	東北工場2023			10,048.2027	9.9645	25,388.2691	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02
6	四国工場2023			3,146.5876	6.2932	7,596.9157	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02
7	九州工場2023			73.1851	0.1464	169.8009	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02
8	関東工場2023			158.6206	0.3172	321.8114	Fujii Uhuru	2023/07/25 12:02

図3.2.2 編集画面への移行

「編集」または鉛筆マークを押下して、編集画面を開きます。

「編集」または鉛筆マークを押下して、編集画面を開きます。

工場等毎の報告
東京工場 2022

レコードタイプ: 様式9: 定期報告書
使用量(原油換算) (k): 0.0000
エネルギーの使用に係る原単位

詳細 関連

情報

レコードタイプ: 様式9: 定期報告書
事業者全体の報告: 東京工場

①定期報告書の「指定工場名」は年度ごとに識別できる名称を入力してください。
(例: OO工場2023_温対法様式1)
②本レコードを「特定事業者情報」に紐づける場合は当該「特定事業者名」を選択してください。
③本レコードを「事業者全体の報告」に紐づける場合は当該「定期報告書名」を選択してください。
④指定を受けている工場等は【指定-第1表】～【指定-第6表】が必須入力となります。
⑤指定を受けていない工場等は下記表が必須入力となります。
【指定-第1表】
【特定-第3表 1. エネルギーの使用に係る原単位等】 記入用
【特定-第3表 2. 電気需要平準化評価原単位等】 記入用
【指定-第4表】 生産量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値
⑥指定を受けていない工場等は「エネルギー指定工場等管理番号」を入力しないでください。
⑦指定を受けていない工場等であっても、使用量が1500kWhを上回る工場等がある場合は指定表の提出が必要。
⑧下記の1～3の条件をすべて満たす事業所については、1つにまとめて(1レコード)登録可能です。
1. 各事業所のエネルギー使用量がいずれも1500kWh未満(原油換算)
2. 各事業所の主たる事業が、いずれも同じ産業分類(細分類番号)
3. 各事業所のエネルギーの使用と密接な関係を持つ値が、いずれも同じ項目かつ同じ単位

定期報告書 工場名
東京工場 2022
特定事業者情報: 株式会社 東京工業 2022

追加情報
東京工場 2022

表紙

提出年月日: 2023/06/30
提出年度: 2023
特定事業者番号
報告対象年度: 2022
特定事業者名: 株式会社 東京工業 2022
提出先

【指定-第1表】 エネルギー管理指定工場等の基本情報

工場等の名称: 以前の工場等の名称

図3.2.3 基本情報の入力

【指定-第1表】 エネルギー管理指定工場等の基本情報

工場等の名称 ①	←	以前の工場等の名称	
東京工場			
主たる事業 ①	←	当該事業を所管する大臣	←
製造業		選択可能	選択済み
		厚生労働大臣	▶ 経済産業大臣
		農林水産大臣	◀
		国土交通大臣	
		環境大臣	
細分類番号	←	工場等の所在地2	
1051		1-2	
工場等の郵便番号	←		
100-0001			
工場等の所在地	←		
東京都千代田区			

工場の基本情報を【指定-第1表】エネルギー指定工場等の基本情報セクションに入力します。

指定区分の変更

エネルギー管理指定工場等番号 ①

キャンセル 保存 & 新規 保存

図3.2.4 指定区分の変更

8822	1-2
工場等の郵便番号	
100-0001	
工場等の所在地	
東京都千代田区	

「エネルギー管理指定工場番号」を入力し、「現在の指定区分」を選択し、指定8表-1又は指定8表-2のいずれかを選択します。

指定区分の変更

エネルギー管理指定工場等番号	1234567
現在の指定区分	第1種
指定区分の変更手続きが必要	<input type="checkbox"/>
指定-8表の1又は2のどちらを選択しますか	工場

【指定-第2表】 エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

提出初年度のため、前年度のデータは無し

前年度原油換算kl

揮発油(燃料油)使用量等

キャンセル 保存 & 新規 保存

図3.2.5 エネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量

【指定-第2表】 エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

提出初年度のため、前年度のデータは無し

前年度原油換算kl

揮発油(燃料油)使用量等

揮発油(燃料油)使用量

揮発油(燃料油)販売した副生エネルギーの量

揮発油(燃料油)使用量熱量換算

揮発油(燃料油)販売した副生エネルギーの量熱量換算

灯油(ケロシン)使用量等

灯油(ケロシン)使用量

灯油(ケロシン)販売した副生エネルギーの量

灯油(ケロシン)使用量熱量換算

灯油(ケロシン)販売した副生エネルギーの量熱量換算

軽油使用量等

軽油使用量

軽油使用量熱量換算

軽油販売した副生エネルギーの量

軽油販売した副生エネルギーの量熱量換算

「前年度原油換算kl」を入力します。

各燃料種別の使用量、熱量換算、販売した副生エネルギーの量、購入した未利用熱の量は、「固定資産によるエネルギー使用量」から自動で集計されるため、記入不要になります。

図3.2.6 エネルギーの使用量と密接な関係をもつ値

▼ 【指定-第4表】 生産量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値

*
 指定-4表の「生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用と密接な関係を持つ値」の対前年比(%)を算出するため、2022年度の「エネルギーの使用と密接な関係を持つ値」を入力します。
 前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値を以下の「名称」「単位」で選択した項目の値(前年度)に入力してください。(記入のヒント)

今回この項目を提出する事業者は、エネルギーの使用量を入力できない事業者はチェックを入れてください。
 今回が初めての定期報告の場合にチェックを入れます。

提出初年度のため、前年度のデータは無し ⓘ

▼ 報告対象年度の生産数量又は建物延

エネルギーの使用と密接な関係を持つ値を入力します。「名称」「単位」は適切なものを選択し、今年度と前年度の値を入力してください。

前年度比を自動算出

年度

2022

この項目は保存時に計算されます

名称 ⓘ	生産重量 ▼
単位 ⓘ	k g ▼
「名称」「単位」で選択した項目の値(今年度) ⓘ	500.0000
「名称」「単位」で選択した項目の値(前年度) ⓘ	654.0000

対前年度比(%)

76.5%

この項目は保存時に計算されます

図3.2.7 エネルギーの使用に係る原単位及び電気需要平準化原単位

【指定-第5表】 エネルギーの使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位

※
指定-5表の「エネルギーの使用に係る原単位」の対2021年度比（%）を自動計算しています。

今回初めて定期報告を行う場合等、前年度のエネルギーの使用量を入力できない事業者は、下記にチェックを入れてください。
この項目は保存時に計算されます

提出初年度のため、前年度のデータは無し

前年度データがない場合に
チェックします。

1. エネルギーの使用に係る原単位

年度	原単位
2021	273.3158
この項目は保存時に計算されます	この項目は保存時に計算されます
対前年度比（%）	
この項目は保存時に計算されます	

2. 電気需要平準化評価原単位

年度	電気需要平準化評価原単位
2021	273.3162
この項目は保存時に計算されます	この項目は保存時に計算されます
対前年度比（%）	
この項目は保存時に計算されます	

図3.2.8 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の入力

【指定-第6表】 過去5年度間のエネルギー使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位の変化状況

* 「過去5年度間のエネルギー使用に係る原単位の変化状況」を入力します。
前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値を下記に示す「過去年度ごとの原単位」に入力してください。

今回初めて定期報告を行う場合等、下記入力できない場合は、空欄にしてチェック
この項目は保存時に計算されます

前年度データがない場合にチェックします。

提出初年度のため、前年度のデータは無し

1.過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況

* 前年度の定期報告書を提出している事業者は報告した数値を下記過去年度ごとの「エネルギーの使用に係る原単位」に入力してください。（記入のヒント）
この項目は保存時に計算されます

前年度から4年度前までの「エネルギーの使用に係る原単位」を入力します。

【前年度(報告年度-1年)】 エネルギーの使用に係る原単位

【2年度前(報告年度-2年)】 エネルギーの使用に係る原単位

【3年度前(報告年度-3年)】 エネルギーの使用に係る原単位

【4年度前(報告年度-4年)】 エネルギーの使用に係る原単位

図3.2.9 過去5年度間の電気需要平準化評価原単位の入力

2. 過去5年度間の電気需要平準化評価原単位の変化状況

* 前年度の定期報告書を提出している事業者は報告した数値を下記過去年度ごとの「電気需要平準化評価原単位」に入力してください。（記入のヒント）
この項目は保存時に計算されます

前年度から4年度前までの「電気平準化原単位」を入力します。

【前年度(報告年度-1年)】 電気需要平準化評価原単位

【2年度前(報告年度-2年)】 電気需要平準化評価原単位

【3年度前(報告年度-3年)】 電気需要平準化評価原単位

【4年度前(報告年度-4年)】 電気需要平準化評価原単位

図3.2.10 中長期計画書記載事項について実施した措置

【指定-第9表】 その他実施した措置	
措置の概要... ⓘ エネルギー使用の合理化への取り組みを行った。	「エネルギーの使用の合理化に関する事項」について実施した措置の概要を入力します。
措置の概要... ⓘ 電気需要を平準化するための取り組みを行った。	「電気の需要の平準化に資する措置に関する事項」について実施した措置の概要を入力します。

図3.2.11 算定方法・係数の入力、権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無選択

【指定-第10表】 1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

※
CO2排出量は、登録されたエネルギー使用量などから自動計算しています。
この項目は保存時に計算されます
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 (t-CO2)
4.5700
この項目は保存時に計算されます

2. 電気事業(発電所)、熱供給事業(工場等)で発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

※
下記は当該事業所の「主たる事業」が発電所 (3311) 又は熱供給業 (3511) の場合のみ自動計算しています。
この項目は保存時に計算されます
燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素 (t-CO2)
この項目は保存時に計算されます

3. 他人から供給された電気使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量算定に用いた係数

※
他人から供給された電気の使用に伴うCO2排出係数について修正の必要がある場合は、関連リスト「定期報告書用その他情報」「レコードタイプ：06_様式9：定期報告書 指定-第10表-3」【指定-第10表-3 他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガスの算定係数】 記入用 で編集してください。関連する「定期報告書用その他情報」の参照、入力はこちら
この項目は保存時に計算されます

4. 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める

※
地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法
欄に記入してください。
この項目は保存時に計算されます

温対法の定めるものと異なる算定方法
や係数を用いた場合、その内容を入力
します。

当該算定方法又は係数の内容

5. 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無

※
権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無について、有を
この項目は保存時に計算されます

“有”，“無”のいずれかを選択します。

権利利益の保護に係る請求の有無 (該当するものを有にすること)

--なし--

その他の関連情報の提供の有無 (該当するものを有にすること)

--なし--

全て入力したら、「保存」
を押下します。

【特定-11表 エネルギーの使用量が令第6条に定める数値(1500KI)以上の工場

工場等の名称
なし
この項目は保存時に計算されます

キャンセル

保存 & 新規

保存

図3.2.12 追加情報の編集

詳細
関連

▼ 情報

レコードタイプ
 様式9：定期報告書

事業者全体の報告 ①
[定期報告書2022](#)

※
 ①定期報告書の「指定工場名」は年度ごとに識別できる名称を入力してください。
 (例：〇〇工場2023_温対法様式1)
 ②本レコードを「特定事業者情報」に紐づける場合は当該「特定事業者名」を選択してください。
 ③本レコードを「事業者全体の報告」に紐づける場合は当該「定期報告書名」を選択してください。
 ④指定を受けている工場等は【指定-第1表】～【指定-第8表】が必須入力となります。
 ⑤指定を受けていない工場等は下記表が必須入力となります。

【指定-第1表】
 【特定-第3表 1. エネルギーの使用に係る原単位等】 記入用
 【特定-第3表 2. 電気需要平準化評価原単位等】 記入用
 【指定-第4表】 生産量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値

⑥指定を受けていない工場等は「エネルギー指定工場等管理番号」を入力しないでください。
 ⑦指定を受けていない工場等であっても、使用量が1500klを上回る工場等がある場合は指定表の提出が必要です。
 ⑧下記の1～3の条件をすべて満たす事業所については、1つにまとめて（1レコード）登録可能です。

1. 各事業所のエネルギー使用量がいずれも1500kl未満（原油換算）
2. 各事業所の主たる事業が、いずれも同じ産業分類（細分類番号）
3. 各事業所のエネルギーの使用と密接な関係を持つ値が、いずれも同じ項目かつ同じ単位

定期報告書 工場名
 東京工場2023

特定事業者情報 ①
[株式会社デモ工業2022](#)

追加情報
東京工場2023

「追加情報」レコードが自動で生成されていますので、押下して開きます。

▼ 表紙

提出年月日 ① 提出年度

図3.2.13 指定第7表, 第8表の入力

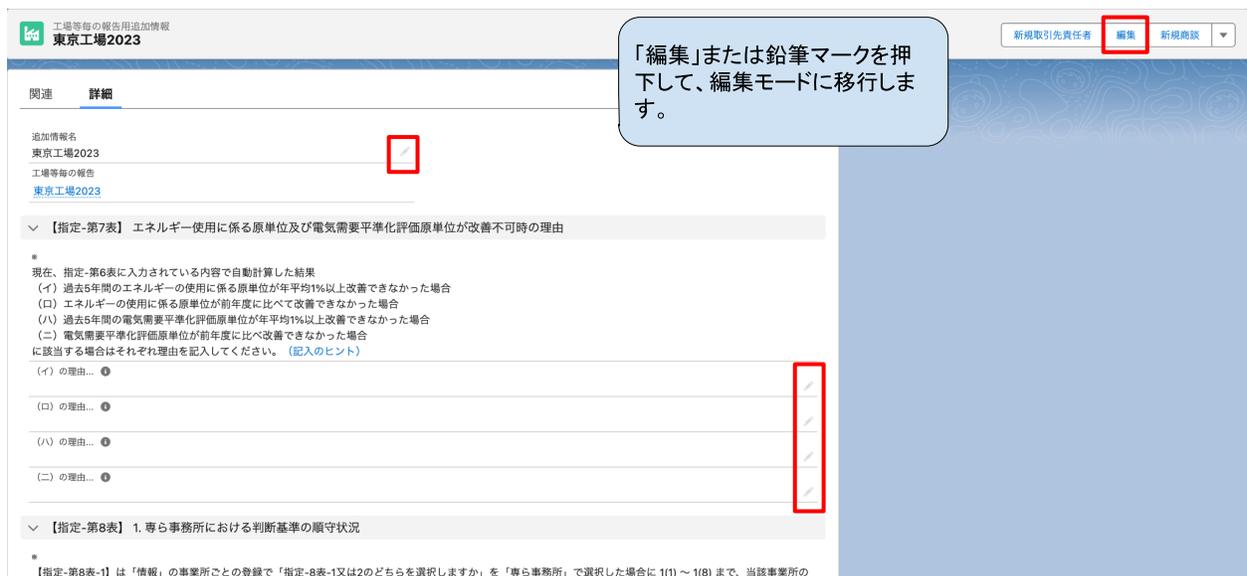


図3.2.14 エネルギー使用に係る原単位が改善不可時の理由入力



図3.2.15 指定第8表-1の入力

▼ 【指定-第8表】 1. 専ら事務所における判断基準の順守状況

※
 【指定-第8表-1】は「情報」の事業所ごとの登録で「指定-8表-1又は2のどちらを選択しますか」を「専ら事務所の順守状況を入力してください」
 この項目は保存時に計算されます

▼ (1) 空調設備、換気設備

管理標準の設定の状況	進捗(%)
設定済	
管理標準に定めている管理の状況	
実施している	
計測及び記録に関する管理標準の設定の状況	進捗(%)
設定済	
管理標準に定めている計測及び記録の実施状況	
実施している	
保守及び点検に関する管理標準の設定の状況	進捗(%)
設定済	
管理標準に定めている保守及び点検の実施状況	
実施している	
空調設備、換気設備の新設・更新に当たっての措置	
新設・更新の際、判断基準どおり措置した	

▼ (2) ボイラー設備、給湯設備

管理標準の設定の状況	進捗(%)
設定済	
管理標準に定めている管理の状況	
実施している	
計測及び記録に関する管理標準の設定の状況	進捗(%)
設定済	
管理標準に定めている計測及び記録の実施状況	
実施している	

事業所が「専ら事務所」の場合は、第8表-1を入力します。設問毎に、選択肢を変更してください。「一部設定済」を選択した設問については、進捗率を入力します。「工場」の場合は、選択肢はそのまま第8表-2へ進んでください。

図3.2.16 指定第8表-2の入力

▼ 【指定-第8表】 2-1. 工場における判断基準の順守状況

*
 【指定-第8表-2】は「情報」の事業所ごとの登録で「指定-8表-1又は2のどちらかを
 順守状況を入力してください。
 「BEMS」については、当該年度に関わらず、BEMSを採用している場合は「BEMS」
 この項目は保存時に計算されます

▼ 【指定-第8表】 (1) 燃料の燃焼の合理化

管理標準の設定の状況	設定済	
管理標準に定めている管理の状況	実施している	
計測及び記録に関する管理標準の設定の状況	設定済	進捗(%)
管理標準に定めている計測及び記録の実施状況	実施している	
保守及び点検に関する管理標準の設定の状況	設定済	進捗(%)
管理標準に定めている保守及び点検の実施状況	実施している	
燃焼設備の新設・更新に当たっての措置	新設・更新の際、判断基準どおり措置した	

▼ (2-1) 加熱設備等

管理標準の設定の状況	設定済	進捗(%)
管理標準に定めている管理の状況	実施している	
計測及び記録に関する管理標準の設定の状況	設定済	進捗(%)
管理標準に定めている計測及び記録の実施状況	実施している	
保守及び点検に関する管理標準の設定の状況	設定済	進捗(%)
管理標準に定めている保守及び点検の実施状況	実施している	

加熱等を行う設備の新設・更新に当たっての措置

キャンセル 保存

事業所が「工場」の場合は、第8表-2を入力します。設問毎に、選択肢を変更してください。「一部設定済」を選択した設問については、進捗率を入力します。「専ら事務所」の場合は、選択肢はそのまま保存してください。

図3.2.17 発電設備の情報入力

▼ 2-2.工場等に設置する発電専用設備又はコージェネレーション設備の発電

発電所の名称

型式 出力(kW)

設備の用途 --なし-- ▼ 実績効率(%)

設計効率(%)

発電専用設備又はコージェネレーション設備がある場合はその情報を入力します。

▼ 燃料種ごとの基本情報

燃料種 1	
熱量構成比(%) 1	
燃料種 2	
熱量構成比(%) 2	
燃料種 3	年間使用量(GJ) 3
熱量構成比(%) 3	
燃料種 4	年間使用量(GJ) 4
熱量構成比(%) 4	
燃料種 5	年間使用量(GJ) 5
熱量構成比(%) 5	

「燃料種」「年間使用量(GJ)」「熱量構成比(%)」を入力してください。
最大5種の燃料の情報を入力できます。

設備に投入する排熱エネルギーの有無	設備から得られた電気エネルギーの量(kkWh)
--なし--	

キャンセル
保存

図3.2.18 発電設備の高効率化に向けた取組の入力

▽ 高効率化に向けた取組

設備から得られた熱のエネルギーのうち熱として活用された量(GJ) <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	設備に投入したバイオマスのエネルギー量(GJ) <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>
バイオマスの種類 <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	設備に投入した水素のエネルギー量(GJ) <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>
設備に投入したアンモニアのエネルギー量(GJ) <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	設備に投入した副生物・廃棄物のエネルギー量(GJ) <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>
副生物・廃棄物の種類 <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	その他設備の高効率化に向けた取組 <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>
調整力稼働による補正值(%) <input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	

▽ 項目

備考

- 1 本表には、工場等に設置する発電専用設備又はコージェネレー
- 2 「施設番号」欄には、複数のボイラ、タービンが上記配管等を
- 3 「設備の用途」欄には、「電気事業用」又は「自家消費用」を
- 4 「実績効率」及び「設計効率」欄には、複数のユニットがある場合は、それぞれのユニットの加重平均値を記入すること。
- 5 「調整力稼働による補正值」欄には、石炭火力電力供給業であって、判断基準別表第5備考2に規定する補正值を加算する場合に、当該補正值及びその算定式を記入すること。

この項目は保存時に計算されます

作成者 Fujii Uhuru, 2023/07/16 15:35

最終更新者 Fujii Uhuru, 2023/07/16 15:35

キャンセル

保存

発電専用設備の高効率化に向けた取組を入力して下さい。

必要な項目を全て入力したら、「保存」を押下してください。

3.3. 「事業者全体の報告」の入力

「事業者全体の報告」に特定表に記載する情報を入力します。

入力手順

1. 「事業者全体の報告」タブを押下します。一覧から作成したレコードを開きます。(図3.3.1)
2. 「追加情報」レコードが自動で生成されていますので、押下して開きます。(図3.3.2)
3. 「編集」または鉛筆マークを押下して、編集画面を開きます。(図3.3.3)
4. 設問毎に、選択肢を変更します。デフォルト状態では、“設定済”または“実施している”が選択されていますので、変更箇所を選択リストから選択し直します。(2)管理体制の整備セクション及び1.2.1工場単位、設備単位での基本的実施事項セクションの(2)で“実施していない”を選択した場合は「整備予定年」を入力します。(図3.3.5)
5. 1.2.2 エネルギーの使用の合理化の目標及び計画的に取り組むべき措置セクションでは、「ISO50001の活用状況」を選択リストから選択します。“認証取得を検討している”を選択した場合は「取得予定年」を入力します。入力が完了したら「保存」を押下します。(図3.3.6)
6. 再び「事業者全体の報告」タブを押下します。一覧から作成したレコードを開きます。(図3.3.1)
7. 「編集」または鉛筆マークを押下して、編集画面を開きます。(図3.3.7)
8. 「前年度原油換算kl」を入力します。各燃料種別の「使用量」「熱量換算」「販売した副生エネルギーの量」「購入した未利用熱の量」は、「固定資産によるエネルギー使用量」から自動で集計されるため入力不要です。(図3.3.8)
9. 【特定-第3表】 1. 事業分類ごとのエネルギーの仕様に係る原単位の計算セクション及び 2. 事業分類ごとの電気需要平準化評価原単位等の計算セクションは、後に入力する「[事業分類毎の集計](#)」から自動入力されるため、この時点では入力不要です。(図3.3.9, 図3.3.10)
10. 【特定-第4表】 事業者の過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位セクションでは、エネルギーの使用に係る原単位が単一か複数かによって入力項目が変わります。
 - a. エネルギーの使用に係る原単位が事業者全体で1種類の場合、左側の列に過去5年間の原単位を入力して下さい。前年度比は自動で算定されます。(先の手順で、【特定-第3表】の①②③④が算定される場合に該当します。本年を除く過去5年の⑤に該当する値を左側の列のそれぞれに入力して下さい。)(図3.3.11)

- b. エネルギーの使用に係る原単位が事業者全体で複数種類あり、単一の原単位を定義できない場合は、右側の列に過去5年間の前年度比を入力して下さい。左側の列は入力不要です。（先の手順で、【特定-第3表】の⑤⑥⑦⑧が定義できず、⑨を算定している場合に該当します。本年を除く過去4年の⑨に該当する値を右側の列のそれぞれに入力して下さい。）[\(図3.3.11\)](#)
11. 同様に、【特定-第4表】事業者の過去5年度間の電気需要平準化原単位セクションも、電気需要平準化原単位が単一か複数かによって入力項目が変わります。
- a. 電気需要平準化原単位が事業者全体で1種類のみの場合は、左側の列に過去5年間の原単位を入力して下さい。前年度比は自動で算定されます。（先の手順で、【特定-第3表】の⑤⑥⑦⑧が算定される場合に該当します。本年を除く過去5年の⑧に該当する値を左側の列のそれぞれに入力して下さい。）[\(図3.3.12\)](#)
- b. 電気需要平準化原単位が事業者全体で複数種類あり、単一の原単位を定義できない場合は、右側の列に過去5年間の前年度比を入力して下さい。左側の列は入力不要です。（先の手順で、【特定-第3表】の⑤⑥⑦⑧が定義できず、⑨を算定している場合に該当します。本年を除く過去4年の⑨に該当する値を右側の列のそれぞれに入力して下さい。）[\(図3.3.12\)](#)
12. 報告年度セクションで計算されている「5年度間平均原単位変化」が99.0を超えた場合は、その理由を記入します。原単位が改善している場合は入力不要です。[\(図3.3.13\)](#)
13. 【特定-第9表】1. エネルギーの使用の合理化に関する事項セクションおよび2. 電気の需要の平準化に資する措置に関する事項セクションでは、エネルギーの使用の合理化に関して実施した措置および電気需要平準化に私することに関して実施した措置をそれぞれ記入します。[\(図3.3.14\)](#)
14. 調整後温室効果ガスの排出量の算定に当たって、「非エネルギー起源CO₂、メタン、一酸化二窒素、ヒドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素」のいずれかの温室効果ガス排出量の報告義務対象者は3.（追加情報）6.5ガスセクションに排出量を入力します。また、他社に移転したクレジット等がある場合は、その量を「自らが創出した国内認証排出削減量のうち他者へ移転した量」に入力します。[\(図3.3.15\)](#)
15. 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数を用いた場合、5. 地球温暖化対策推進に関する法律で定める算定方法 or 係数と異なる算定方法又は係数の内容セクションにその内容を入力します。[\(図3.3.16\)](#)
16. 7. 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無セクションは“有” “無”のいずれかの選択をします。入力後に「保存」を押下します。[\(図3.3.17\)](#)

図3.3.1 事業者全体の報告の編集

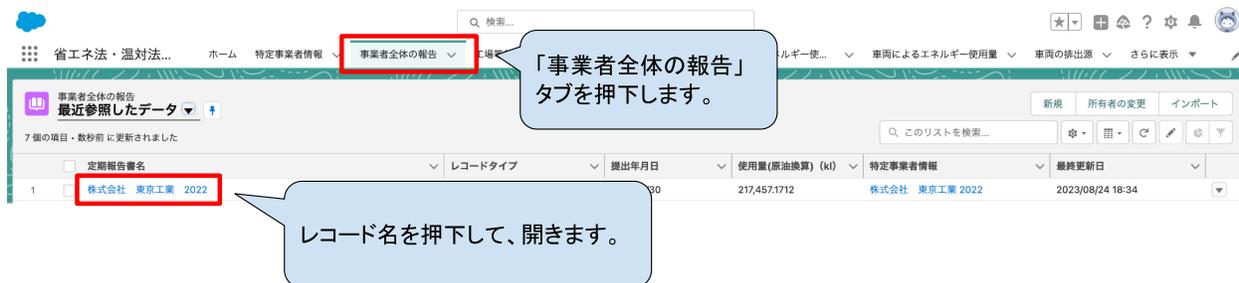


図3.3.2 追加情報の編集



図3.3.3 特定第8表の入力

図3.3.4 特定第8表編集画面

図3.3.5 特定第8表の回答の選択

【特定-第8表】 (1) 取組方針の策定

設置している全ての工場等における... ⓘ

策定している ▼

(2) 管理体制の整備

設置している全ての工場等について... ⓘ

実施している ▼

整備完了予定年

(3) 責任者等の配置等

(2)で整備された管理体制に... ⓘ

配置済み ▼

1.2.1 工場等单位、設備単位での基本的実施事項

(1) 設備の運転効率化や生産プロセスの... ⓘ

実施している ▼

(2) エネルギー管理に係る計量器等の... ⓘ

実施している ▼

整備予定年

(3) エネルギー消費量の大きい設備の廃熱等の発生状況を、優先順位等を... ⓘ

実施している ▼

(4) 既存の設備に関し、エネルギー効率や老朽化の状況等を把握・分析し... ⓘ

実施している ▼

(5) エネルギーを消費する設備の選定、導入においては、エネ... ⓘ

(6) 休日や非操業時等においては、操業の開始及び停止に伴

設問毎に、選択肢を変更してください。
デフォルトで「設定済」「実施している」に設定されているので、変更箇所は選択リストから選択し直します。
「実施していない」を選択した場合は「整備予定年」を入力します。

図3.3.6 ISO50001の活用状況

1.2.2 エネルギーの使用の合理化の目標及び計画的に取り組むべき措置

ISO50001の活用状況 ⓘ 取得予定年

作成者 最終更新者

「ISO50001の活用状況」を選択します。「認証取得を検討している」を選択した場合は「取得予定年」を入力します。

全て入力したら、「保存」を押下します。

図3.3.7 事業者全体の報告の編集

省エネ法・温対法... 事業者全体の報告

「編集」または鉛筆マークのいずれかを押下して、編集モードに移行します。

編集 削除 コピー

レコードタイプ	使用量(原油換算) (k)	エネルギーの使用に係る原単位	エネルギーの使用に係る...
様式9：定期報告書	217,457,1712		362,1788

▼ 情報

◎定期報告書名は年度ごとに識別できる名称を入力してください。
(例：定期報告書 株式会社〇〇工業2023)

◎事前に登録した「特定事業者情報」、「固定資産によるエネルギー使用量」、「工場等毎の報告」、「定期報告書用その他情報」と同じ「特定事業者情報」を検索し入力してください。(参照関係確立のため)

レコードタイプ
様式9：定期報告書

定期報告書名
株式会社 東京工業 2022

特定事業者情報 ⓘ

[株式会社 東京工業 2022](#)

追加情報

[株式会社 東京工業 2022](#)

特定事業者情報 (1)

株式会社 東京工業 2022

提出年月日: 2022-11-30

実績報告年度: 2021

細分類番号(4桁): 3511

すべて表示

事業者全体の報告_追加情報 (1)

株式会社 東京工業 2022

作成日: 2023/04/21 15:25

最終更新日: 2023/06/30 18:43

すべて表示

▼ 提出日 *提出日と提出先を入力してください。

図3.3.8 前年度原油換算の入力

この項目は保存時に計算されます

【特定-第2表】 事業者のエネルギーの使用量および販売した副生エネルギー使用量

※
 特定第2表の「エネルギー使用量の対比年度比 (%)」を算出するため、2022年度の事業者全体の原油換算エネルギー使用量を「固定資産によるエネルギー使用量」の画面にて入力した値の集計結果を自動設定しています。

関連する「固定資産によるエネルギー使用量」の参照、入力はこちら

①前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値を下記「前年度原油換算kl」に入力してください。(記入のヒント)

②今回初めて定期報告する場合など、前年度のエネルギー使用量がない事業者は、下記「前年度原油換算kl」を空欄にして以下にチェックをいれてください。

この項目は保存時に計算されます

提出初年度のため、前年度のデータは無し

「前年度原油換算kl」を入力します。

前年度原油換算 (kl)

25,432.0000

事業者の原油（コンデンセートを除く）使用量等

原油（コンデンセートを除く）使用量 (kl)

622.4321

原油 (コン)

23,776

原油（コンデンセートを除く）販売した副生エネルギーの量 (kl)

3.9930

原油 (コン) 換算 (GJ)

152.5326

各燃料種別の使用量、熱量換算、販売した副生エネルギーの量、購入した未利用熱の量は、「固定資産によるエネルギー使用量」から自動で集計されるため、記入不要です。

事業者の原油のうちコンデンセート（NGL）使用量等

原油のうちコンデンセート（NGL）使用量 (kl)

485.0482

原油のうちコンデンセート（NGL）使用量熱量換算 (GJ)

17,122.1981

図3.3.9 事業分類ごとのエネルギーの仕様に係る原単位

1. 事業分類ごとのエネルギーの使用に係る原単位の計算

*
事業分類ごとのエネルギーの使用に係る原単位等は、関連リスト「事業分類毎の集計」「レコードタイプ：特定第3表用」
「1. 事業分類ごとのエネルギーの使用に係る原単位の計算」の合計値をもとに自動表示しています。

関連する「事業分類毎の集計」の参照、入力はこちら

この項目は保存時に計算されます

エネルギーの使用量 (㊟-1) (合計)

19,137.2281

この項目は保存時に計算されます

販売した副生エネルギーの量 ㊟ (合計)

83.0785

この項目は保存時に計算されます

購入した未利用熱の量 ㊟' (合計)

0.5866

この項目は保存時に計算されます

事業者全体 (㊟-1) (合計)

19,053.5630

この項目は保存時に計算されます

【特定-第3表】事業分類ごとのエネルギーの仕様に係る原単位の計算セクションは「事業分類毎の集計」から自動入力されるため記入は不要です。

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値 ㊟ ⓘ

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値 ㊟名称 ⓘ

--なし--

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値 ㊟単位 ⓘ

--なし--

エネルギーの使用に係る原単位 (㊟-1)

この項目は保存時に計算されます

エネルギーの使用に係る前年度の原単位 (㊟-1) ⓘ

エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比 (㊟-1)

この項目は保存時に計算されます

エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度 (㊟-1) ⓘ

0.0%

図3.3.10 事業分類ごとの電気需要平準化評価原単位

2. 事業分類ごとの電気需要平準化評価原単位等の計算

*
事業分類ごとの電気需要平準化評価原単位等は、関連リスト「事業
2. 事業分類ごとの電気需要平準化評価原単位等の計算」の合計値
関連する「事業分類毎の集計」の参照、入力はこちら

この項目は保存時に計算されます

エネルギーの使用量（原油換算kl）(◎-1)（合計）

19,137.2281

この項目は保存時に計算されます

電気需要平準化時間帯の買電量（原油換算kl）（合計）

販売した副生エネルギーの量（原油換算kl）①（合計）

83.0785

この項目は保存時に計算されます

購入した未利用熱の量（原油換算kl）①'（合計）

0.5866

この項目は保存時に計算されます

事業者全体(◎'-1)（合計）

19,053.5630

この項目は保存時に計算されます

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値①

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値①名称

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値①単位

電気需要平準化評価原単位(◎'-1)

この項目は保存時に計算されます

前年度の電気需要平準化評価原単位(◎'-1)

電気需要平準化評価原単位の対前年度比(%) (◎'-1)

この項目は保存時に計算されます

電気需要平準化評価原単位の対前年度比の寄与度(%) (◎'-1)

【特定-第3表】事業分類ごとの電気
需要平準化評価原単位等の計算セ
クションは「事業分類毎の集計」から
自動入力されるため記入は不要で
す。

図3.3.11 過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位

【特定-第4表】 事業者の過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位

*
事業者の過去5年度間のエネルギー使用に係る原単位及び
対前年度比を入力した値の集計結果を表示しています。

1. 前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値
を「エネルギーの使用に係る原単位」
に入力してください。

【記入のヒント】

2. 入力可能な欄はすべて記入してください。
「エネルギーの使用と密接な関係がある」として
「エネルギーの使用に係る原単位」に記入する
場合は、対前年度比の部分のみ入力してください。

今回が初めての定期報告の場合はチェックを入れます。他の箇所は入力不要です。

エネルギーの使用に係る原単位が事業者全体で1種類のみ
の場合は、左側の列に過去5
年間の原単位を入力して下さい。
前年度比は自動で算定され
ます。(特定-第3表において、
①②③④が算定される場合は
こちらに該当します。本年を
除く過去5年の③に該当する
値を入力して下さい。)

エネルギーの使用に係る原単位
が事業者全体で複数種類あり、
単一の原単位を定義できない場
合は、右側の列に過去5年間の
前年度比を入力して下さい。(特
定-第3表において、①②③④が
定義できず、⑤を算定している
場合はこちらに該当します。本
年を除く過去4年の⑤に該当す
る値を入力して下さい。)

この項目は保存時に計算されます

提出初年度のため、前年度のデータは無し ❶

【前年度(報告年度-1年)】 エネルギーの使用に係る原単位	
【2年度前(報告年度-2年)】 エネルギーの使用に係る原単位	
【3年度前(報告年度-3年)】 エネルギーの使用に係る原単位	
【4年度前(報告年度-4年)】 エネルギーの使用に係る原単位	

【前年度(報告年度-1年)】 対前年度比 (%) ❶	
【2年度前(報告年度-2年)】 対前年度比 (%) ❶	
【3年度前(報告年度-3年)】 対前年度比 (%) ❶	

図3.3.12 過去5年度間の電気需要平準化原単位

【特定-第4表】 事業者の過去5年度間の電気需要平準化評価原単位

*

事業者の過去5年度間の電気需要平準化評価原単位及び対

前年度比

1. 前年度

を「電

(記入

2. 入力

で「エ

場合は、

い部分

この項目は保存時に計算されます

電気需要平準化原単位が事業者全体で1種類の場合は、左側の列に過去5年間の原単位を入力して下さい。前年度比は自動で算定されます。(特定-第3表において、①'②'③'④'が算定される場合はこちらに該当します。本年を除く過去5年の⑤'に該当する値を入力して下さい。)

電気需要平準化原単位が事業者全体で複数種類あり、単一の原単位を定義できない場合は、右側の列に過去5年間の前年度比を入力して下さい。(特定-第3表において、①'②'③'④'が定義できず、⑤'を算定している場合はこちらに該当します。本年を除く過去4年の⑥'に該当する値を入力して下さい。)

【前年度(報告年度-1年)】 電気需要平準化評価原単位	<input type="text"/>
【2年度前(報告年度-2年)】 電気需要平準化評価原単位	<input type="text"/>
【3年度前(報告年度-3年)】 電気需要平準化評価原単位	<input type="text"/>
【4年度前(報告年度-4年)】 電気需要平準化評価原単位	<input type="text"/>

【前年度(報告年度-1年)】 対前年度比 (%) ①	<input type="text"/>
【2年度前(報告年度-2年)】 対前年度比 (%) ①	<input type="text"/>
【3年度前(報告年度-3年)】 対前年度比 (%) ①	<input type="text"/>

図3.3.13 エネルギーの仕様に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位が未改善場合の理由

【特定-第5表】 エネルギーの使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位が未改善場合の理由

*
 現在、特定-4表に入力されている内容で自動計算した結果、
 (イ)事業者の過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位が前年度に比して増加した場合は、その理由を記入してください。
 (ロ)事業者のエネルギーの使用に係る原単位が前年度に比して減少した場合は、その理由を記入してください。
 (ハ)事業者の過去5年度間の電気需要平準化評価原単位が前年度に比して増加した場合は、その理由を記入してください。
 (ニ)事業者の電気需要平準化評価原単位が前年度に比して減少した場合は、その理由を記入してください。
 該当する場合はそれぞれ理由を記入してください。(記入欄は複数あります)

この項目は保存時に計算されます

「5年度間平均原単位変化」(報告年度セクションで自動計算されています。)が99.0を超えた場合は、その理由を記入します。原単位が改善している場合は記入不要です。

(イ)の理由... ⓘ

(ロ)の理由... ⓘ

(ハ)の理由... ⓘ

(ニ)の理由... ⓘ

図3.3.14 その他事業者が実施した措置

【特定-第9表】 その他事業者が実施した措置

*
 その他エネルギーの使用の合理化に関し、事業者が実施した措置をそれぞれ記入してください。
 この項目は保存時に計算されます

エネルギーの使用の合理化に関して実施した措置および電気需要平準化に私することに関して実施した措置をそれぞれ記入します。

【特定-第9表】 1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

【措置の概要】

2. 電気の需要の平準化に資する措置に関する事項

【措置の概要】

図3.3.15 【特定-第12表】 3.事業者の調整後温室効果ガス排出量セクション

3. (追加情報) 6.5ガス

*
調整後温室効果ガスの排出量の算定は、
「六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素」のいずれか
それぞれの排出量が3000tCO2未満と
この項目は保存時に計算されます

調整後温室効果ガスの排出量の算定に当たって、「非エネルギー
起源CO2、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、
パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素」のいずれか
の温室効果ガス排出量の報告義務対象者は入力します。

非エネルギー起源CO2 (t-CO2)	<input type="text"/>
メタン (t-CO2)	<input type="text"/>
一酸化二窒素 (t-CO2)	<input type="text"/>
ハイドロフルオロカーボン (t-CO2)	<input type="text"/>
パーフルオロカーボン (t-CO2)	<input type="text"/>
六ふっ化硫黄 (t-CO2)	<input type="text"/>
三ふっ化硫黄 (t-CO2)	<input type="text"/>
自らが創出した国内認証排出量削減量のうち他者へ移転した量 (t-CO2)	<input type="text"/>

他社に移転したクレジット等
がある場合はその量を入力
します。

図3.3.16 法律で定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容セクション

4.1 他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に使う係数

*
エネルギー使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算出排出の算定に用いた係数を関連リスト「定期報告書用その他情報」「レコードタイプ：02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2」で参照、入力してください。関連する「定期報告書用その他情報」の参照と入力はこちら
この項目は保存時に計算されます

4.2 他人から供給された電気使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量算定に使う係数

*
調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数を関連リスト「定期報告書用その他情報」「レコードタイプ：02_様式9：定期報告書 特定-第12表-4の1_4の2」で参照、入力してください。関連する「定期報告書用その他情報」の参照と入力はこちら
この項目は保存時に計算されます

温対法に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数を用いた場合、その内容を入力します。

5. 地球温暖化対策 推進に関する法律で定める算定方法 or 係数と異なる算定方法又は係数の内容

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる.. ⓘ

図3.3.17 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無セクション

7. 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無

*
権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無について、有を選択する場合、有を選択する場
この項目は保存時に計算されます

“有”“無”のいずれかの選択します。

権利利益の保護に係る請求の有無 ⓘ

--なし--

その他の関連情報の提供の有無 ⓘ

--なし--

3.4. 「事業分類毎の集計」の入力

「事業分類毎の報告」に前年度の原単位を入力します。「工場等毎の報告」に入力した主たる事業の細分類番号を元に自動で作成されますので、「事業者全体の報告」の関連リストからデータを入力します。

入力手順

1. 「事業者全体の報告」レコードの画面右にある関連リストの「事業分類毎の集計」に事業分類のレコードが自動で作成されているので、「特定第3表用」を押下します。(図3.4.1)
2. 「●エネルギーの使用に係る前年度の原単位」「●前年度の電気需要平準化評価原単位」それぞれに、前年に特定-第3表で報告した原単位を入力します。入力後に「保存」を押下します。(図3.4.2)
3. 全ての事業分類のレコードについて同様に前年の原単位を入力して下さい。

図3.4.1 関連リスト「事業分類毎の集計」選択



図3.4.2 前年度の原単位

省エネ法・温対法... ホーム 特定事業者情報 事業者全体の報告 工場等毎の報告 事業分類毎の集計

事業分類毎の集計
事業分類-18690

▼ 【特定-第3表用】

※
特定-3表の「エネルギー使用に係る原単位の対前年度比(%)」を算出するため、2021年度の事業に
係る原単位を入力します。

以下「●エネルギーの使用に係る前年度の原単位(㊸-1)」及び「●前年度の電気需要平準化評価
原単位(㊸'-1)」を入力してください。

●エネルギーの使用に係る前年度の原単位(㊸-1)

●前年度の電気需要平準化評価原単位(㊸'-1)

レコードの鉛筆マークを押下し編集します。

▼ 1. 事業分類ごとのエネルギーの使用に係る原単位

エネルギーの使用量(原油換算kl) ㊸-1	223,924.3855	
販売した副生エネルギーの量(原油換算kl) ㊸	83,398.4018	
購入した未利用熱の量(原油換算kl) ㊸'	3,876.6827	
(㊸-1) = (㊸-1) - ㊸ - ㊸'	136,649.3010	
(㊸-1)の構成割合(%) (㊸-1) (特定第3表)	25.2%	
生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使	1,000.0000	

「●エネルギーの使用に係る前年度の原単位(㊸-1)」
「●前年度の電気需要平準化評価原単位(㊸'-1)」それぞれ
に、前年に特定-第3表で報告した原単位を入力します。入
力後に「保存」を押下します。

全ての事業分類のレコードにつ
いて同様に前年の原単位を入
力して下さい。

3.5. 「特定事業者情報」の入力

「特定事業者情報」の詳細を入力します。

入力手順

1. 「特定事業者情報」タブから作成したレコードの「特定事業者情報名」を押下します。
([図3.5.1](#))
2. 「編集」を押下して編集画面を開きます。([図3.5.2](#))
3. 報告者情報を入力します([図3.5.3](#))
4. 事業者の名称等の入力を行います。当該事業を所管する大臣を選択する際には、選択可能な大臣のリストから任意の大臣を選択し、▶を押下し、選択済みのリストに追加します。([図3.5.4](#))
5. エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者の情報を入力します([図3.5.5](#))
6. 事象所の名称・所在地に変更があった場合には変更前の情報を入力します。([図3.5.6](#))

図3.5.1 「特定事業者情報」の選択

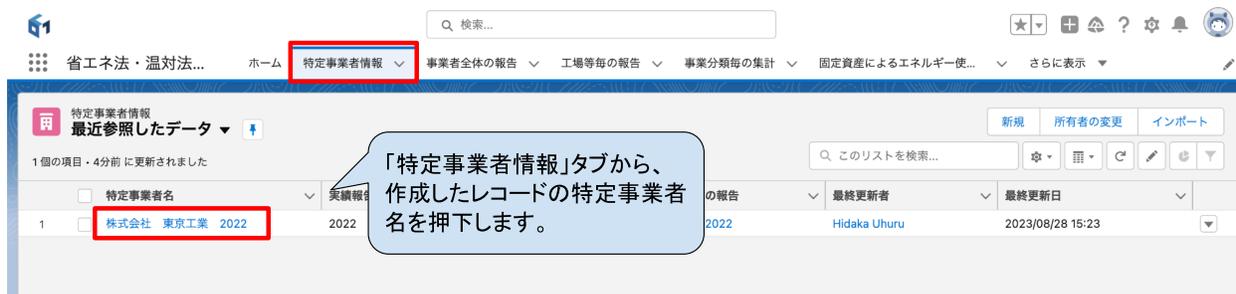


図3.5.2 レコード画面から編集を押下



図3.5.3 報告者情報の入力

報告者情報を入力してください。

法人番号(13桁) : 1234567891012	法人名(報告者名) : 株式会社東京工業	法人名(報告者名) (ふりがな) : かぶしがいしゃとうきょうこうぎょう
報告者住所郵便番号(本社) : 100-0000	報告者住所(本社) : 東京都千代田区1-1	報告者住所(本社) (ふりがな) : とうきょうとちよだく
報告者住所2(本社) : 	報告者住所2(本社) (ふりがな) : 	
<p>* 「報告者住所(本社)」が上記住所と異なる場合は、以下に実際に本社として機能している事務所の住所を記入してください。(例: 登記簿上の本社と異なる場合等) この項目は保存時に計算されません</p>		
郵便番号 *上記と異なる場合のみ記入 ⓘ	住所 *上記と異なる場合のみ記入	住所(ふりがな) *上記と異なる場合のみ記入

事業者(特定排出者)の名称等を入力してください。

キャンセル 保存 & 新規 保存

図3.5.4 事業者の名称等の入力

事業者（特定排出者）の名称等を入力してください。

※特定排出者番号検索
※環境省の特定排出者コード検索リンクより検索可能
この項目は保存時に計算されます

特定事業者番号、特定連鎖事業者番号又は認定管理統括事業者番号(7桁)：
1111111

事業者（特定排出者）の名称：
株式会社東京工業

※日本標準産業分類検索
※総務省の日本標準産業分類リンクより検索可能
この項目は保存時に計算されます

主たる事業：
廃棄物処分量

当該事業を所管する大臣：
選択可能
厚生労働大臣
農林水産大臣
国土交通大臣
環境大臣
選択済み
経済産業大臣

※特定排出者番号検索
※環境省の特定排出者コード検索リンクより検索可能
この項目は保存時に計算されます

特定排出者番号(9桁)：
111111111

事業者（特定排出者）の名称（ふりがな）：
かぶしきがいしゃとうきょうこうぎょう

細分類番号(4桁)：
1111

特定排出者について常時使用される従業員の数：
1000

「▶」を押下し「選択済み」のリストに追加します。

選択可能の欄にある提出先を選択します。

代表者の職名・氏名を入力してください。

代表者の役職名

キャンセル 保存 & 新規 保存

図3.5.5 エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者の情報の入力

エネルギー管理統括者の職名・氏名を入力してください。

職名 代表取締役社長	氏名 田中太郎
---------------	------------

エネルギー管理企画推進者（担当者）の職名・氏名・勤務地・連絡先を入力してください。

職名 取締役(環境・CSR担当)	作成実務者 <input type="checkbox"/>	エネルギー管理統括者の情報を入力します。
氏名 田中太一	氏名(ふりがな) たなかたいち	
エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 11-2006-3-11111		
郵便番号 300-9283	住所は本社と同じ <input type="checkbox"/>	
勤務地 東京都品川区	勤務地2 東京都足立区	
電話 03-123-1234	FAX <input type="checkbox"/>	エネルギー管理企画推進者の情報を入力します。
メールアドレス		

事業者の変更、事業者所在地の変更時に入力してください。

前回報告からの事業者の名称及び所在地について

キャンセル 保存 & 新規 保存

図3.5.6 事象所の名称・所在地の変更があった場合の入力

職名 取締役(環境・CSR担当)	作成実務者(未選任の場合) <input type="checkbox"/>
氏名 田中太一	氏名(ふりがな) たなかたいち
エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 11-2006-3-11111	
郵便番号 300-9283	住所は本社と同じ <input type="checkbox"/>
勤務地 東京都品川区	勤務地2 東京都足立区
電話 03-123-1234	FAX
メールアドレス	

事業者の変更、事業者所在地の変更時に入力してください。

前回報告からの事業者の名称及び所在地についての変更の有無 無	変更前の事業者の名称
郵便番号	変更前の事業者の所在地

事業者の名称・所在地に変更があった場合にはこちらに入力します。

入力完了後、「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存 最終更新日時: 2022/07/01 16:37

4. 温対法定期報告に必要な情報の入力

温対法の定期報告書の作成が必要な場合は、以下の手順に従って報告事項の入力をし、定期報告書ファイルを作成します。

温対法の定期報告書の作成が不要な場合は、[5. XMLファイル出力手順](#)へ進んでください。

※省エネ法の定期報告を行う事業者については、エネルギー起源二酸化炭素の排出量に関して省エネ法定期報告書で報告を行えば、温対法上の報告をしたとみなされます。エネルギー起源二酸化炭素の排出量のみを報告で、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量についての報告が不要の場合は、省エネ法定期報告書を使用して、エネルギー起源二酸化炭素排出量及び調整後温室効果ガス排出量に係る情報を報告するため、温対法定期報告書の作成は不要となっています。

4.1. 温対法用「特定事業者情報」登録

「特定事業者情報」に、事業者の基本情報を入力します。

入力手順

1. ホームからアプリケーションランチャーを押下し、「省エネ法・温対法報告 for Salesforce」を押下します。[\(図4.1.1\)](#)
2. 「特定事業者情報」タブから「新規」を押下し特定事業者情報を登録します。[\(図4.1.2\)](#)
3. 「特定事業者名」のみ入力し、「保存」を押下します。「特定事業者情報」は、省エネ法と温対法で共通のオブジェクトとなっていますので、温対法用レコードと認識できる名称で入力することを推奨します。[\(図4.1.3\)](#)
4. 保存後、参照画面に遷移し内容を確認します。[\(図4.1.4\)](#)

図4.1.1 アプリケーションランチャーからの選択



図4.1.2 「特定事業者情報」の新規登録

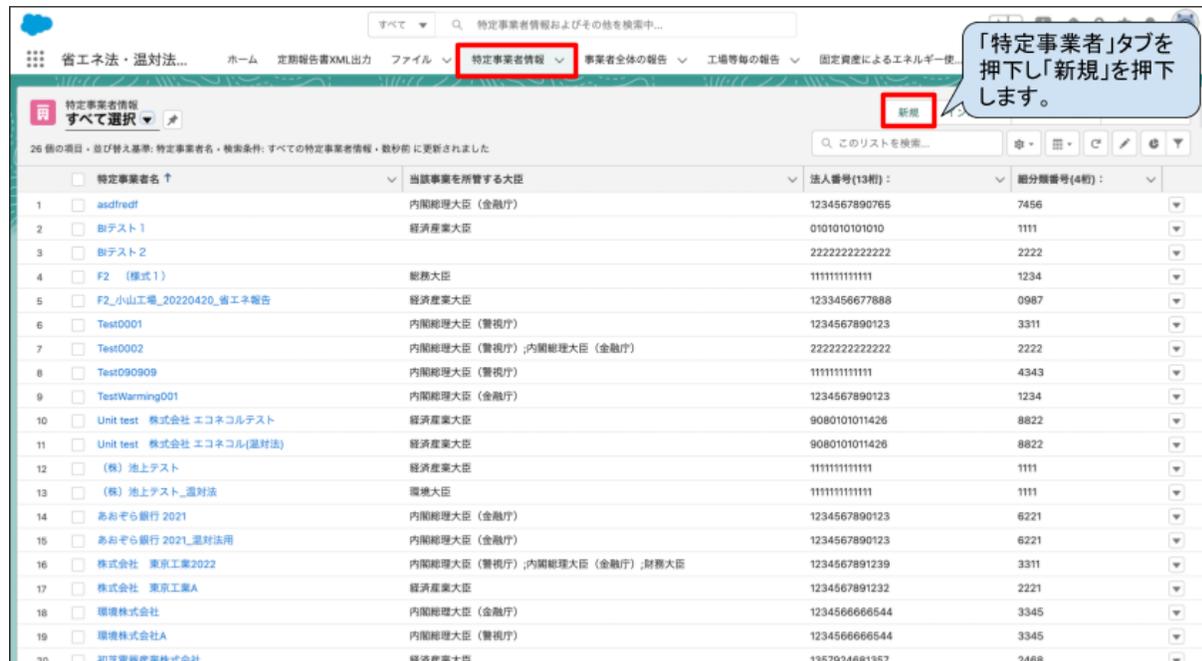


図4.1.3 特定事業者情報の入力・保存

新規特定事業者情報

情報

*** 特定事業者名** ↶

株式会社 東京工業 2022 温対法

事業者全体の報告 Q

事業者全体の報告

報告者情報

法人番号

法人名 (報告者) 法人名 (報告者名) (ふりがな)

報告者住所郵便番号(本社) 報告者住所 (本社) (ふりがな)

報告者住所 (本社) 報告者住所 2 (本社) (ふりがな)

報告者住所 2 (本社)

郵便番号 *上記と異なる場合のみ記入 ⓘ

住所 *上記と異なる場合のみ記入

住所 (ふりがな) *上記と異なる場合のみ記入

キャンセル 保存 & 新規 保存

*は必須項目ですので必ず入力してください。
ここでは「特定事業者名」のみ入力します。
温対法用のレコードであることがわかりやすい名称を入力することを推奨します。

項目入力後「保存」を押下します。

図4.1.4 保存後の参照画面

省エネ法・温対法... ホーム 定期報告書XML出力 ファイル 特定事業者情報 事業者全体の報告 工場等毎の報告 定期報告書用その他情報 さらに表示

特定事業者情報
株式会社 東京工業 2022

新規取引先責任者 編集 新規商談

詳細 関連

情報

◎特定事業者名は年度ごとに識別できる名称を入力してください。
(例：株式会社〇〇工業2022)
◎本レコードを「事業者全体の報告」に紐づける場合は当該「定期報告書名」を選択してください。

特定事業者名
株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告

提出日 ※事業者全体の報告（定期報告書）の記入内容を自動表示しています。

提出年月日 提出年度

実績報告年度

報告者情報を入力してください。

法人番号(13桁)
1234567891011

法人名(報告者名)
株式会社東京工業

報告者住所郵便番号(本社)
100-0000

法人名(報告者名)(ふりがな)
かぶしきがいしゃとうきょうこうぎょう

※郵便番号検索
[郵便番号検索](#)

事業者全体の報告 (0)

工場等毎の報告 (0)

定期報告書用その他情報 (0)

固定資産によるエネルギー使用量 (0)

メモ & 添付ファイル (0)

ファイルを上ロード
またはファイルをドロップ

保存後、入力項目を確認してください。

4.2. 温対法用「定期報告書用その他情報」登録

「定期報告書用その他情報」に、定期報告書作成に必要なレコード情報をレコードタイプ毎に入力します。（複数作成可）

入力手順

1. 「定期報告書用その他情報」タブから「新規」を押下します。[\(図4.2.1\)](#)
2. 入力したい情報に関するレコードタイプを選択し、「次へ」を押下します。[\(図4.2.2\)](#)
3. レコードタイプを選択した後に、情報セクションの「定期報告書用その他情報名」は一意となる名称を入力し、「特定事業者情報」「工場等毎の報告」「工場等の名称」「事業者全体の報告」には、それぞれ紐づけるべきレコードをルックアップ検索し選択します。[\(図4.2.3\)](#)

表4.2.1 定期報告書用その他情報のレコードタイプとその概要

レコードタイプ	概要・入力対象
07_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表	温室効果ガス算定排出量を記入する為のレコードタイプです。
08_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表1	他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数を入力するためのレコードタイプです。 <u>省エネ法定期報告書を作成している場合は、入力不要です。</u>
09_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2	調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数を入力するためのレコードタイプです。 <u>省エネ法定期報告書を作成している場合は、入力不要です。</u>
10_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表	法に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数を入力するためのレコードタイプです。 <u>省エネ法定期報告書を作成している場合は、エネルギー起源CO2に関する係数以外について入力してください。エネルギー起源CO2以外の報告がない場合は、入力不要です。</u>
11_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表2 第5表3	調節後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内認証排出削減量及び海外認証排出量を入力する為のレコードタイプです。 <u>省エネ法定期報告書を作成している場合は、入力不要です。</u>

図4.2.1 「定期報告書用その他情報」の新規登録

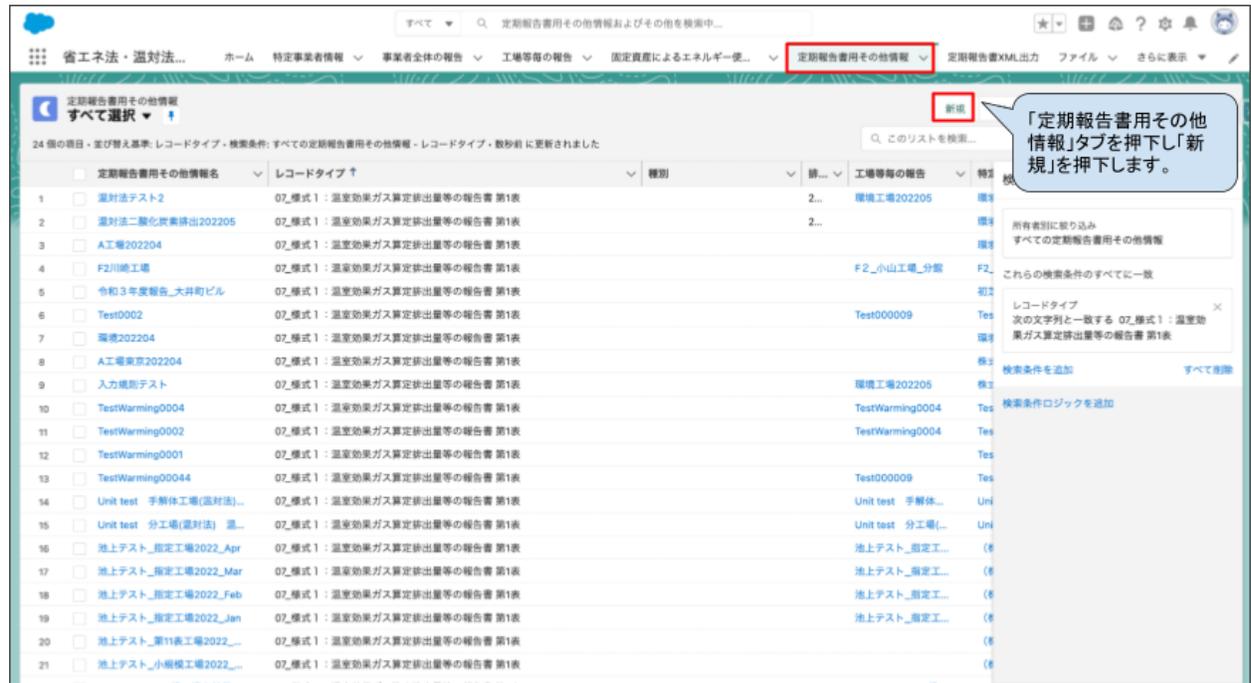


図4.2.2 レコードタイプの選択

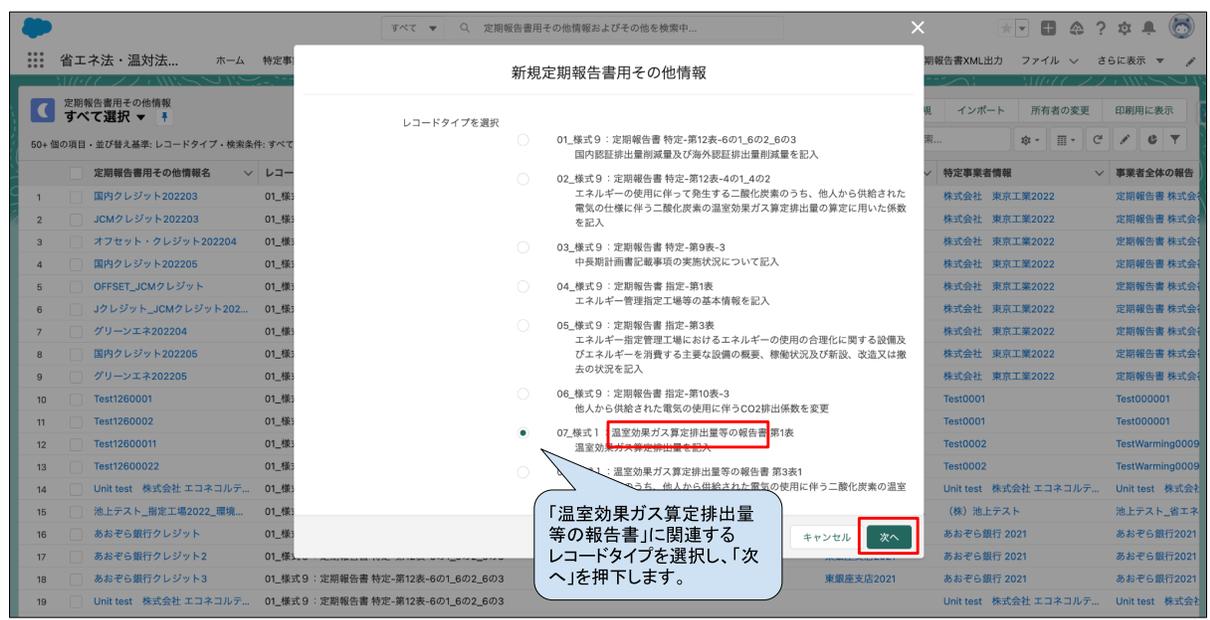


図4.2.3 情報セクションの入力

新規定期報告書用その他情報: 07_様式1 : 温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表

情報

レコードタイプ
07_様式1 : 温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表

作成した「特定事業者情報」を紐付け、「定期報告書用その他情報名」を入力します。(複数レコード作成時は繰り返し)

* 定期報告書用その他情報名
東京工業 温対法第1表

* 特定事業者情報
株式会社 東京工業 2022

工場等毎の報告
東京工場

工場等の名称

事業者全体の報告
事業者全体の報告を検索中...

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表】

①エネルギー起源CO2
②非エネルギー起源CO2 (②を除く)
③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO2

キャンセル 保存 & 新規 保存

④メタン(CH4)

4. レコードタイプを選択した後にそれぞれの表に入力を行います。
 - a. 07_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表
 - i. 紐づけた工場等の温室効果ガス種別毎に排出量を入力し、保存を押下します。(図4.2.4)

図4.2.4 07_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表の入力

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第1表】

①エネルギー起源CO2 ⓘ	1,234.0000	↶
②非エネルギー起源CO2 (②を除く) ⓘ	1,234.0000	↶
③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO2 ⓘ	1,234.0000	↶
④メタン(CH4)	1,234.0000	↶
⑤N2O(亜酸化窒素)	1,234.0000	↶
⑥HFC(ハイドロフルオロカーボン)	1,234.0000	↶
⑦PFC(パーフルオロカーボン)	1,234.0000	↶
⑧SF6(六フッ化硫黄)	1,234.0000	↶
⑨NF3(三フッ化窒素)	1,234.0000	↶
⑩エネルギー起源CO2 (発電所等配分前) ⓘ	1,234.0000	↶

キャンセル
保存 & 新規
保存

紐づけた工場等の温室効果ガス種別毎に排出量を入力します。

入力完了後に「保存」を押下します。

b. 08_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表1

- i. エネルギー使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の算定に用いた係数に関する「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」を入力し、保存を押下します。(図4.2.5)

※省エネ法の定期報告書を作成している場合は、本レコードは作成不要です。

図4.2.5 08_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表1の入力

特定事業者情報 ⓘ
 特定事業者情報を検索中...

工場等毎の報告 ⓘ
 工場等毎の報告を検索中...

工場等の名称 ⓘ

温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表1では基礎排出係数を入力します。

「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」を入力します。

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表1】 記入用

係数の値 ⓘ
 0.000447

係数の根拠 ⓘ
 東京電力(株)((参考値)事業者全体)の基礎排出係数

係数の適用範囲 ⓘ
 東京電力(株)((参考値)事業者全体)管内の工場等

システム情報

入力完了後「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

c. 09_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2

- i. 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数に関する「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」を入力し、保存を押下します。(図4.2.6)

※省エネ法の定期報告書を作成している場合は、本レコードは作成不要です。

図4.2.6 09_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2の入力

レコードタイプ
09_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2

* 定期報告書用その他情報名 ↶

東京工業 温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表

* 特定事業者情報 ⓘ ↶

四 株式会社 東京工業 2022 ✕

事業者全体の報告 ⓘ ↶

四 株式会社 東京工業 2022 ✕

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2】 記入用

係数の値 (t-CO₂/kWh) ⓘ ↶

0.000023 ↶

温室効果ガス算定排出量等の報告書 第3表2では、調整後排出係数を入力します。

係数の根拠 ⓘ ↶

東京電力エナジーパートナー(株)(参考値)事業者全体の調整後排出係数

係数の適用範囲 ⓘ ↶

東京電力(株)((参考値)事業者全体)管内の工場等 ↶

「係数の値」「係数の根拠」「係数の適用範囲」を入力します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

入力完了後「保存」を押下します。

d. 10_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表

- i. 法に基づく命令に定める算定方法または係数と異なる算定方法または計数を用いた場合に「温室効果ガスである物質の区分」「当該算定方法または係数の内容」を入力し、保存を押下します。(図4.2.7)

※省エネ法定期報告書を作成している場合は、エネルギー起源CO2に関しての係数以外について入力してください。エネルギー起源CO2以外の報告がない場合は、入力不要です。

図4.2.7 10_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表の入力

新規定期報告書用その他情報: 10_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表

情報

レコードタイプ
10_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表

• 定期報告書用その他情報名 ↶

• 特定事業者情報 ⓘ ↶

工場等毎の報告 ⓘ

工場等の名称 ⓘ

事業者全体の報告 ⓘ

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第4表】

温室効果ガスである物質の区分 ↶ <input type="text" value="CH4 (メタン)"/>	当該算定方法または係数の内容 ↶ <input type="text" value="[産業廃棄物の焼却] ・実測値を考慮して調整した係数?"/>
---	---

システム情報

入力完了後「保存」を押下します

「温室効果ガスである物質の区分」「当該算定方法または係数の内容」を入力します。

e. 11_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表2 第5表3

- i. 国内の認証排出削減量に係る情報を入力します。選択リストから「削減量の種別」を選択します。「無効化日又は移転日」を入力する時はカレンダーから選択します。(図4.2.8)

※省エネ法の定期報告書を作成している場合は、本レコードは作成不要です。

図4.2.8 11_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表2の入力

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表2】

削減量の種別
J-クレジット

クレジット特定番号 (ユニット開始番号)
JCL-400-000-006-560-063

クレジット特定番号 (ユニット終了番号)
JCL-400-000-006-560-062

無効化日又は移転日
2020/12/20

無効化量又は移転量
2,000.0000

【温室効果ガス算定】

削減量の種別
--なし--

識別番号 ⓘ

無効化日又は移転日

無効化量又は移転量

システム情報

キャンセル
保存 & 新規
保存

削減量の種別を選択します。ここでは国内認証排出削減量に関する削減量の種別を選択します。

無効化日又は移転日ではカレンダーから日付を選択します。

- ii. 海外の認証排出削減量に係る情報を入力します。選択リストから「削減量の種別」を選択します。「無効化日又は移転日」を入力する時はカレンダーから選択します。(図4.2.9)

図4.2.9 11_様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表3の入力

削減量の種別
--なし--

クレジット特定番号 (ユニット開始番号)

クレジット特定番号 (ユニット終了番号)

無効化日又は移転日

無効化量又は移転量

削減量の種別を選択します。ここでは海外認証排出削減量に関する削減量の種別を選択します。

【温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表 3】

削減量の種別	JCMクレジット
識別番号 ⓘ	JCM-MN-JP-101-600-99901-2015-2015
無効化日又は移転日	2021/06/30
無効化量又は移転量	500.0000

無効化日又は移転日ではカレンダーから日付を選択します。

システム情報

入力完了後に「保存」を押下します。

		6月					2021
日	月	火	水	木	金	土	
30	31	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	

4.3. 温対法用「工場等毎の報告」登録

「工場等毎の報告」に、定期報告書作成に必要な工場等毎のレコード情報を入力します。
(複数作成可)

入力手順

1. 「工場等毎の報告」タブから「新規」を押下します。(図4.3.1)
2. 「様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告」レコードタイプを選択し、「次へ」を押下。(図4.3.2)
3. レコードタイプを選択した後に、情報セクションの「特定事業者情報」の紐づけたいレコードをルックアップ検索し選択します。(図4.3.3)
4. 事業者（工場基本情報）セクションにて必要項目の入力を行います。「現在の指定区分」では、エネルギー管理指定工場の場合は「第1種」または、「第2種」を選択し、エネルギー管理指定工場以外の工場等の場合には「なし」を選択します。(図4.3.4)
5. 事業所において行われる事業及び、担当者（問い合わせ）セクションにて必要項目の入力を行います。「当該事業を所管する大臣」では、選択可能な大臣のリストで任意の大臣を選択し、「▶」を押下し、右の選択済みリストに追加します。(図4.3.5)
6. 【別紙-第1表】 特定事業所に係る温室効果ガス算定排出量セクションの入力を行います。各温室効果ガス算定排出量を入力した後に、「保存」を押下します。(図4.3.6)

図4.3.1 「工場等毎の報告」の新規登録



図4.3.2 レコードタイプの選択画面



図4.3.3 関連するレコードの紐付け画面

新規工場等毎の報告: 様式1 : 温室効果ガス算定排出量等の報告

情報

レコードタイプ
 様式1 : 温室効果ガス算定排出量等の報告

* 定期報告書 工場名

東京工場 温室効果ガス算定排出量等の報告

* 特定事業者情報 ⓘ

株式会社 東京工業 2022

事業者全体の報告 ⓘ

事業者全体の報告を検索中...

事業者 (工場基本情報)

<p>特定排出者コード(9桁) ↵</p> <p>123456789</p> <p>事業所の名称 ↵</p> <p>東京工場</p> <p>工場等の郵便番号 ↵</p> <p>418-0111</p> <p>工場等の所在地 ↵</p> <p>静岡県富士宮市山宮3507番地の19</p> <p>都道府県コード ⓘ ↵</p> <p>22</p>	<p>前回の報告における名称</p> <p>事業所の名称(ふりがな) ↵</p> <p>しゅかいたいこうじょう</p> <p>所在地(ふりがな) ↵</p> <p>やまみや</p> <p>現在の指定区分 ⓘ ↵</p> <p>第1種 ▼</p>
--	--

キャンセル 保存 & 新規 **保存**

エネルギー管理指定工場等番号 ⓘ

作成した「特定事業者情報」を選択肢紐付けます。

図4.3.4 事業者（工場基本情報）の入力画面

事業者（工場基本情報）

<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 特定排出者コード(9桁) ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="123456789"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 事業所の名称 ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="東京工場"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 工場等の郵便番号 ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="418-0111"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 工場等の所在地 ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="静岡県富士宮市山宮3507番地の19"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 都道府県コード ⓘ ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="22"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> エネルギー管理番号 ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="1234561"/> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 権利利益の保護に係る請求の有無（該当するものに○をすること） ⓘ <input style="width: 90%;" type="text" value="無"/> </div>	<div style="padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 前回の報告における名称 <input style="width: 90%;" type="text"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 事業所の名称(ふりがな) ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="しゅかいたいこう"/> </div> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 所在地(ふりがな) ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="やまみや"/> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 現在の指定区分 ⓘ ↶ <input style="width: 90%;" type="text" value="第1種"/> </div>
--	---

事業所において行われる事業

細分類番号 <input style="width: 95%;" type="text"/>	当該事業を所管する大臣 選択可能	選択済み
	<input style="width: 95%;" type="text" value="内閣総理大臣(警察庁)"/>	<input style="width: 95%;" type="text"/>

キャンセル
保存 & 新規
保存

図4.3.5 事業所において行われる事業、担当者（問い合わせ）セクションの入力

事業所において行われる事業

細分類番号

主たる事業

当該事業を所管する大臣

選択可能

- 厚生労働大臣
- 農林水産大臣
- 国土交通大臣
- 環境大臣

選択済み

- 経済産業大臣

担当者（問い合わせ先）

氏名(ふりがな)

部署

氏名

電話番号

【別紙-第1表】 特定事業所に係る温室効果ガス算定排出量

①エネルギー起源CO2

②非エネルギー起源CO2（①を除く）

③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO2

「▶」を押下し「選択済み」のリストに追加します。

選択可能の欄にある大臣を選択します。

図4.3.6 【別紙-第1表】 特定事業所に係る温室効果ガス算定排出量の入力

【別紙-第1表】 特定事業所に係る温室効果ガス算定排出量

①エネルギー起源CO2 ⓘ	0.0000	↶
②非エネルギー起源CO2 (②を除く)	373.8000	↶
③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO2	0.0000	↶
④メタン(CH4)	2,642.4000	↶
⑤N2O(亜酸化窒素)	2,824.2000	↶
⑥HFC(ハイドロフルオロカーボン)	5,751.0000	↶
⑦PFC(パーフルオロカーボン)	4,502.4000	↶
⑧SF6(六フッ化硫黄)	5,835.6000	↶
⑨NF3(三フッ化窒素)	4,884.6000	↶
⑩エネルギー起源CO2 (発電所等配分前) ⓘ	0.0000	↶

入力後、「保存」を押下します。

システム情報

キャンセル 保存 & 新規 **保存**

4.4. 温対法用「事業者全体の報告」登録

「事業者全体の報告」の作成に必要なレコード情報を入力します。

入力手順

1. 「事業者全体の報告」タブから「新規」を押下します。(図4.4.1)
2. 「様式1：温室効果ガス算定排出量等の報告」レコードタイプを選択し、「次へ」を押下します。(図4.4.2)
3. レコードタイプを選択した後に、情報セクションの「特定事業者情報」で、紐づけたいレコードをルックアップ検索し選択します。提出年月日をカレンダーから選択し、「提出先」では、選択可能な提出先のリストで任意の提出先を選択し、「▶」を押下し、右の選択済みリストに追加します。(図4.4.3)
4. 【第2表】 特定排出者の調整後温室効果ガス排出量セクションを入力します。入力が完了したら「保存」を押下します。(図4.4.4)
5. 4の工程で「保存」を押下したら作成したレコードの確認画面に移ります。ここで温対法第5表2、第5表3の内容を確認し、数値の横にあるペンマークを押下します。(図4.4.5)
6. 温対法第5表2、第5表3で確認した内容をそれぞれの削減量の種別毎に入力し、「保存」を押下します。(図4.4.6)

図4.4.1 「事業者全体の報告」の新規登録



図4.4.2 レコードタイプの選択画面

省エネ法・温対法報告

事業者全体の報告

33 個の項目・並び替え基準: 定期報告書名・検索条件: すべての事業者全体の報告・7分前に更新されました

レコードタイプ

レコードタイプを選択

様式9: 定期報告書
特定事業者表まで記入

様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告
特定事業者は前年度の温室効果ガス排出量を算定し、第1表から第6表まで記入

キャンセル 次へ

「様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告」レコードタイプを選択します。

「次へ」を押下します。

定期報告書名	レコードタイプ	該当する工...	特定事業者情報	エネルギー...	エネルギーの...
1	BIテスト1				
2	F2 令和3年度報告				
3	F2 令和3年度報告202204				
4	F2グループ_令和3年度報告_20220430				
5	Test00000_0621				
6	Test000001				
7	Test000001-0624				
8	Test000001-0625				
9	Test000001-1				
10	Test000009				
11	test11111				
12	test20220512_定義報告書_特定事業者Test0				
13	Test20220624	様式9: 定期報告書	Test20220624		
14	testBBBB	様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告	testBBBB 温対法		
15	TestWarming0001	様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告			
16	TestWarming0009	様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告	Test0002		
17	TestWarming20220624	様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告	Test20220624Warming		
18	Unit test 株式会社 エコネコルテスト	様式9: 定期報告書	Unit test 株式会社 エコネコルテスト		
19	Unit test 株式会社 エコネコル(温対法)	様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告	Unit test 株式会社 エコネコル(温対法)		
20	あおぞら銀行2021	様式9: 定期報告書	あおぞら銀行 2021		
21	あおぞら銀行 2021_温対法様式1	様式1: 温室効果ガス算定排出量等の報告	あおぞら銀行 2021_温対法用		

図4.4.3 情報、提出日、提出先の入力

新規事業者全体の報告: 様式1 : 温室効果ガス算定排出量等の報告

情報

レコードタイプ
様式1 : 温室効果ガス算定排出量等の報告

* 定期報告書名
東京工業 温室効果ガス算定排出量等の報告

紐付けたい「特定事業者情報」をルックアップ検索で選択します。

特定事業者情報 ⓘ
株式会社 東京工業 2022

提出日 ※提出日と提出先を入力してください。

* 提出年月日 ⓘ
2022/06/09

「提出年月日」をカレンダーから選択します。

* 提出先 ⓘ

選択可能	選択済み
経済産業大臣(北海道...	経済産業大臣(関東経...
経済産業大臣(東北経...	
経済産業大臣(中部経...	
経済産業大臣(近畿経...	
経済産業大臣(中国経...	

「▶」を押下し「選択済み」のリストに追加します。

事業者 (特定事業者) の名称等
郵便番号
主たる事務所の所在地 (ふりがな)

選択可能の欄にある提出先を選択します。

図4.4.4 第2表の入力

【第2表】 特定排出者の調整後温室効果ガス排出量

調整後温室効果ガス排出量 (t-CO₂) ①

12,345

【第5表】 1. 調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内/海外クレジット

調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(国内クレジット)

調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(オフセット・クレジット(J-VER))

調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(J-クレジット)

調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(グリーンエネルギーCO₂)

調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(JCMクレジット)

調整後温室効果ガス排出量を入力します。

ここは新規作成の際には入力せずに保存します。

【第5表】 2. 国内認証排出削減量に係る情報

国内認証排出削減量合計量(国内クレジット)

国内認証排出削減量合計量(オフセット・クレジット(J-VER))

国内認証排出削減量合計量(J-クレジット)

入力完了後、「保存」を押下します。

キャンセル 保存 & 新規 保存

図4.4.5 温対法第5表2, 3の集計値の確認

事業者全体の報告
東京工業 温室効果ガス算定排出量等の報告

▼ 【第5表】 2. 国内認証排出削減量に係る情報

※ 省エネ法定定期報告書を提出する事業者は、省エネ法定定期報告書において報告するため記入不要となります。
関連リスト「定期報告書その他情報」の「レコードタイプ：12_温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表2」を参照ください。
関連する「定期報告書用その他情報」の参照、入力はこちら

国内認証排出削減量合計量(国内クレジット)	1,000.0000	<input type="checkbox"/>
国内認証排出削減量合計量(オフセット・クレジット(J-VER))	2,000.0000	<input type="checkbox"/>
国内認証排出削減量合計量(J-クレジット)	5,000.0000	<input type="checkbox"/>
国内認証排出削減量合計量(グリーンエネルギーCO2削減相当量)	500.0000	<input type="checkbox"/>

▼ 【第5表】 3. 海外認証排出削減量に係る情報

※ 省エネ法定定期報告書を提出する事業者は、省エネ法定定期報告書において報告するため記入不要となります。
関連リスト「定期報告書その他情報」の「レコードタイプ：13_温室効果ガス算定排出量等の報告書 第5表3」を参照ください。
関連する「定期報告書用その他情報」の参照、入力はこちら

海外認証排出削減量合計量(JCMクレジット)	4,000.0000	<input type="checkbox"/>
------------------------	------------	--------------------------

▼ 【第6表】 特定排出者が設置する特定事業所の一覧

※ 関連リスト「工場等毎の報告」 「レコードタイプ：温室効果ガス算定排出量等の報告」
【指定-第1表】 エネルギー管理指定工場等を参照ください。関連する「工場等毎の報告」の参照、入力はこちら

作成者: Baba Ryo, 2022/06/29 17:23
最終更新者: Baba Ryo, 2022/06/29 17:28

第5表2、第5表3で「定期報告書用その他情報」で入力された値の集計値を確認し、ペンマークを押下します。

図4.4.6 温対法第5表1の入力

事業者全体の報告
東京工業 温室効果ガス算定排出量等の報告

▼ 【第5表】 1. 調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内/海外認証排出削減量

※ 省エネ法定定期報告書を提出する事業者は、省エネ法定定期報告書において報告するため記入不要となります。
調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内認証排出削減量又は海外認証排出削減量の下記種別ごとに合計量を記入してください。
この項目は保存時に計算されます

調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(国内クレジット)	<input type="text"/>
調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(オフセット・クレジット(J-VER))	<input type="text"/>
調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(J-クレジット)	<input type="text"/>
調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(グリーンエネルギーCO2)	<input type="text"/>
調整後温室効果ガス排出量削減量合計量(JCMクレジット)	<input type="text"/>

▼ 【第5表】 2. 国内認証排出削減量に係る情報

※ 省エネ法定定期報告書を提出する事業者は、省エネ法定定期報告書において報告するため記入不要となります。
関連リスト「定期報告書その他情報」の「レコードタイプ：12_温室効果ガス算定排出量等の報告書」
関連する「定期報告書用その他情報」の参照、入力はこちら
この項目は保存時に計算されます

国内認証排出削減量合計量(国内クレジット)	<input type="text"/>
-----------------------	----------------------

キャンセル 保存

第5表2、3で確認した内容を第5表1に入力します。

入力完了後に「保存」を押下します。

4.5. 温対法用「特定事業者情報」の詳細入力

3.1. で作成した「特定事業者情報」の詳細を入力します。

入力手順

1. 「特定事業者情報」タブから作成した「特定事業者情報」を押下します。(図4.5.1)
2. レコードの画面に遷移した後に、右上にある「編集」を押下します。(図4.5.2)
3. 報告者情報を入力します。(図4.5.3)
4. 事業者の名称等の入力を行います。当該事業を所管する大臣を選択する際には、選択可能な大臣のリストから任意の大臣を選択し、▶を押下し、選択済みのリストに追加します。(図4.5.4)
5. エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者の情報を入力します。(図4.5.5)
6. 事業所の名称・所在地に変更があった場合には変更前の情報を入力します。(図4.5.6)

図4.5.1 特定事業者情報の選択



図4.5.2 レコード画面から編集を押下



図4.5.3 報告者情報の入力

報告者情報を入力してください。

法人番号(13桁) : 1234567890123	法人名(報告者名) (ふりがな) かぶしきがいしゃとうきょうこうぎょう
法人名(報告者名) 株式会社 東京工業	*郵便番号検索 郵便番号検索 この項目は保存時に計算されます
報告者住所郵便番号(本社) 100-0000	報告者住所(本社) (ふりがな) とうきょうとちよだく
報告者住所(本社) 東京都千代田区1-1	報告者住所2(本社) (ふりがな)
報告者住所2(本社)	
* 「報告者住所(本社)」が上記住所と異なる場合は、以下に実際に本社として機能している事務所の住所を記入してください。(例:登記簿上の本社と異なる場合等) この項目は保存時に計算されます	
郵便番号 *上記と異なる場合のみ記入 ⓘ	住所(ふりがな) *上記と異なる場合のみ記入
住所 *上記と異なる場合のみ記入	

事業者(特定排出者)の名称等を入力してください。

*特定排出者番号検索
業種別の特定排出者コード検索リンクより検索可能
算されます

図4.5.4 事業者の名称等の入力

事業者（特定排出者）の名称等を入力してください。

※特定排出者番号検索
※環境省の特定排出者コード検索リンクより検索可能
この項目は保存時に計算されます

特定事業者番号、特定連鎖化事業者番号又は認定管理統括事業者番号(7桁)：
1234567

事業者（特定排出者）の名称
株式会社 東京工業

※日本標準産業分類検索
※総務省の日本標準産業分類リンクより検索可能
この項目は保存時に計算されます

主たる事業
製鉄業

当該事業を所管する大臣

選択可能

- 農林水産大臣
- 国土交通大臣
- 環境大臣
- 防衛大臣

選択済み

- 経済産業大臣

特定排出者番号(9桁)：
123456789

事業者（特定排出者）の名称（ふりがな）
かぶしきがいしゃとうきょうこうぎょう

細分類番号(4桁)：
3311

特定排出者において常時使用される従業員の数
500

代表者の職名・氏名を入力

代表者の役職名

代表者の氏名

キャンセル
保存 & 新規
保存

「▶」を押下し「選択済み」のリストに追加します。

選択可能の欄にある提出先を選択します。

図4.5.5 エネルギー管理統括者・エネルギー管理企画推進者の情報の入力

エネルギー管理統括者の職名・氏名を入力してください。

職名 代表取締役社長	氏名 田中太郎
---------------	------------

エネルギー管理企画推進者（担当者）の職名・氏名・勤務地・連絡先を入力してください。

職名 取締役(環境・CSR担当)	作成実務者(未選任) <input type="checkbox"/>
氏名 田中太一	氏名(ふりがな) たなかたいち
エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 11-2006-3-11111	
郵便番号 300-9283	住所は本社と同じ <input checked="" type="checkbox"/>
勤務地 東京都品川区	勤務地2 東京都足立区
電話 03-123-1234	FAX
メールアドレス	

エネルギー管理統括者の情報を入力します。

エネルギー管理企画推進者の情報を入力します。

事業者の変更、事業者所在地の変更時に入力してください。

前回報告からの事業者の名称及び所在地についての変更の有無
無

変更前の事業者の名称

キャンセル 保存 & 新規 保存

図4.5.6 事象所の名称・所在地の変更があった場合の入力

エネルギー管理企画推進者（担当者）の職名・氏名・勤務地・連絡先を入力してください。

職名 取締役(環境・CSR担当)	作成実務者(未選任の場合) <input type="checkbox"/>
氏名 田中太一	氏名(ふりがな) たなかたいち
エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 11-2006-3-11111	
郵便番号 300-9283	住所は本社と同じ <input checked="" type="checkbox"/>
勤務地 東京都品川区	勤務地2 東京都足立区
電話 03-123-1234	FAX
メールアドレス	

事業者の変更、事業者所在地の変更時に入力してください。

前回報告からの事業者の名称及び所在地についての変更の有無 無	変更前の事業者の名称
郵便番号	変更前の事業者の所在地

事業者の名称・所在地に変更があった場合にはこちらに入力します。

キャンセル 保存 & 新規 **保存**

入力完了後、「保存」を押下します。

5. XMLファイル出力手順

出力手順

1. タブの「定期報告書XML出力」を押下し、「提出年度」を選択します。表示されていない場合は、タブの「さらに表示」を押下し、「的報告書XML出力」を押下します。出力したい「様式タイプ」を選択し、「定期報告書表示」を押下します。(図5.1)
2. XMLファイルを出力する「定期報告書名」を選択し、「工場等の報告書表示」を押下します。(図5.2)
3. 出力したい工場にチェックを入れます。全ての工場を出力したい場合は「工場等の全選択」を押下します。選択後に「XMLファイル出力」を押下します。(図5.3)
4. 確認画面で表示されるので「OK」を押下します。(図5.4)
5. 確認画面で「OK」を押下後に出力開始が画面に表示されます。(図5.5)
6. XMLファイル出力完了後に出力をしたユーザにメールが送付されます。メールに記載されたURLを押下します。タブの「ファイル」を押下することでも、同じ画面に進めます。(図5.6)
7. ファイルの画面に遷移し出力されたファイルを確認・保存をすることが可能になります。提出したいファイルについて▼ボタンを押下して、ダウンロードします。(図5.7, 図5.8)
8. 出力したファイルを、省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)へアップロードして報告を進めてください。EEGSへのアップロード方法は、EEGSマニュアル (<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/manual/eegs>) を参照してください。

図5.1 「提出年度」と「様式タイプ」を選択

省エネ法・温対法報告 XMLファイル出力

【手順】

1. 「提出年度」と「様式」を選択してください。
2. 定期報告書表示ボタンを押下すると当該定期報告書の一覧が表示されます。
3. 出力対象の報告書をチェックしてください。
4. 定期報告書（特定）のみ出力する場合は、XMLファイル出力ボタンを押下してください。
5. 定期報告書（特定）と工場等の報告書を出力する場合は、工場等の報告書表示ボタンを押下してください。
6. 定期報告書に紐づいた工場等の報告書一覧が表示されますので、出力対象の工場等をチェックしてください。（複数選択可）
工場等を選択する場合は、工場等の全選択ボタンを押下してください。
7. XMLファイル出力ボタンを押下してください。
8. 数分後にログインユーザ宛に完了メールが届きますので、メールに記載された
[ファイル格納先はこちら](#)

提出年度

提出年度 * 2022

出力対象の様式タイプを選択します。

様式 ※提出年度と様式タイプを選択し、定期報告書表示を押下してください。

様式タイプ * 省エネ様式9:定期報告書-特定&指定

定期報告書表示

以降に事業者全体報告一覧を表示するため「定期報告書表示」を押下します。

定期報告書一覧 ※定期報告書のみ出力可

図5.2 「事業者全体の報告」を選択

定期報告書一覧 ※定期報告書のみ出力可

定期報告書名

定期報告書2022

作成した「事業者全体の報告」の名前と一致しているものを選択します。

工場等の報告書表示

「工場等の報告書表示」を押下します。

工場等の報告書一覧 ※複数出力可

定期報告書 指定工場名

工場等の全選択

XMLファイル出力

図5.3 「工場等」を選択後に「XMLファイル出力」を押下



図5.4 確認画面で「OK」を押下

...hoeneho4nzc.vf.force.com に接続して、XMLファイルの生成内容を確認画面が出てくるので「OK」を押下します。



図5.5 出力開始の表示



図5.6 XMLファイル出力完了後のメールのURLを押下

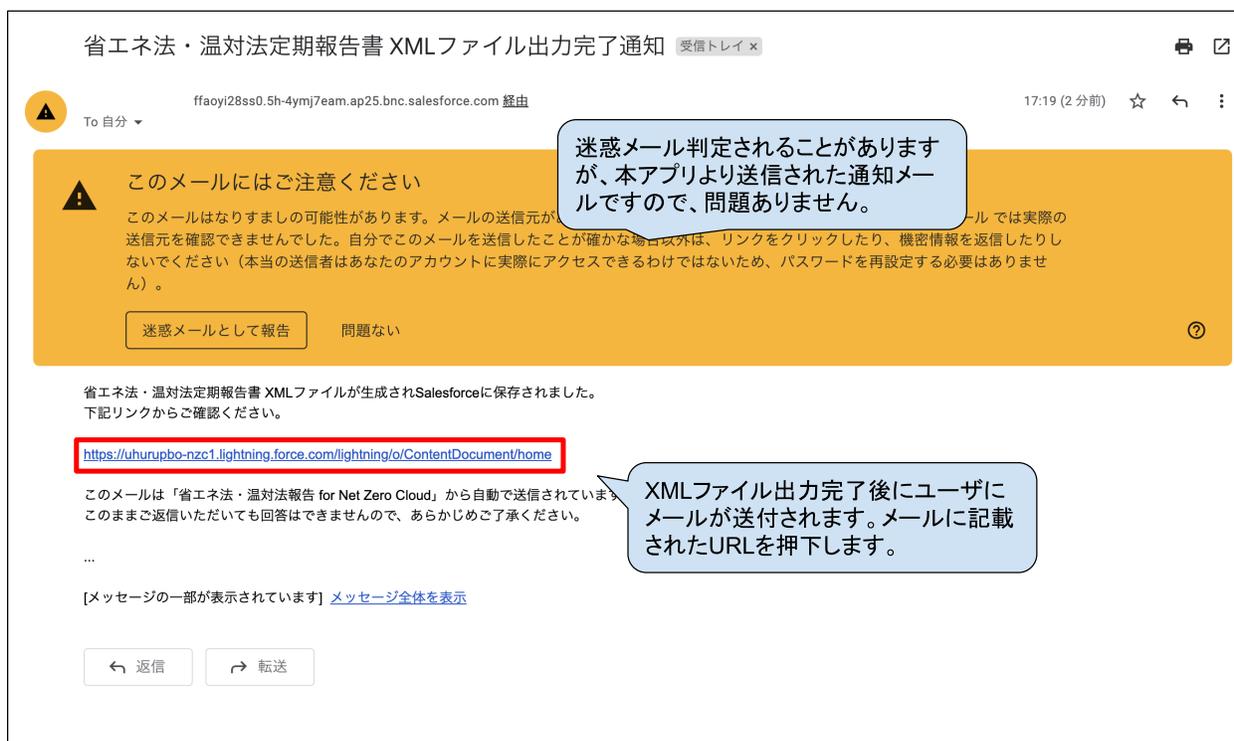


図5.7 出力されたXMLファイル確認

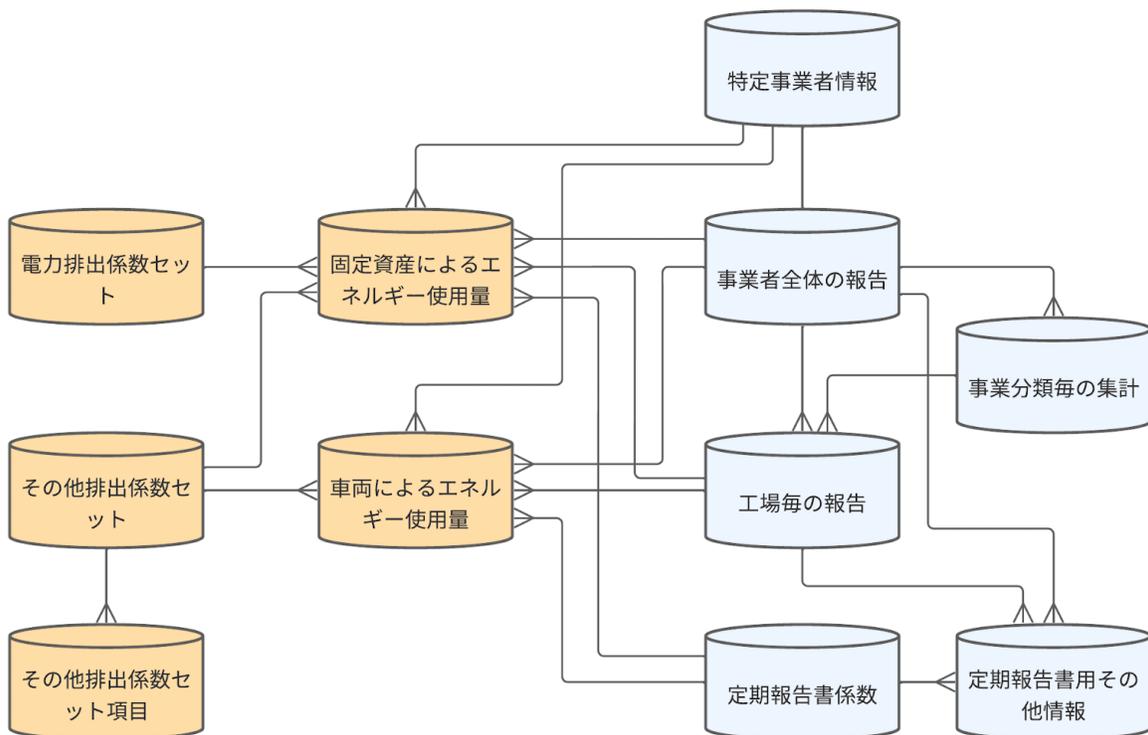


図5.8 ファイルのダウンロード

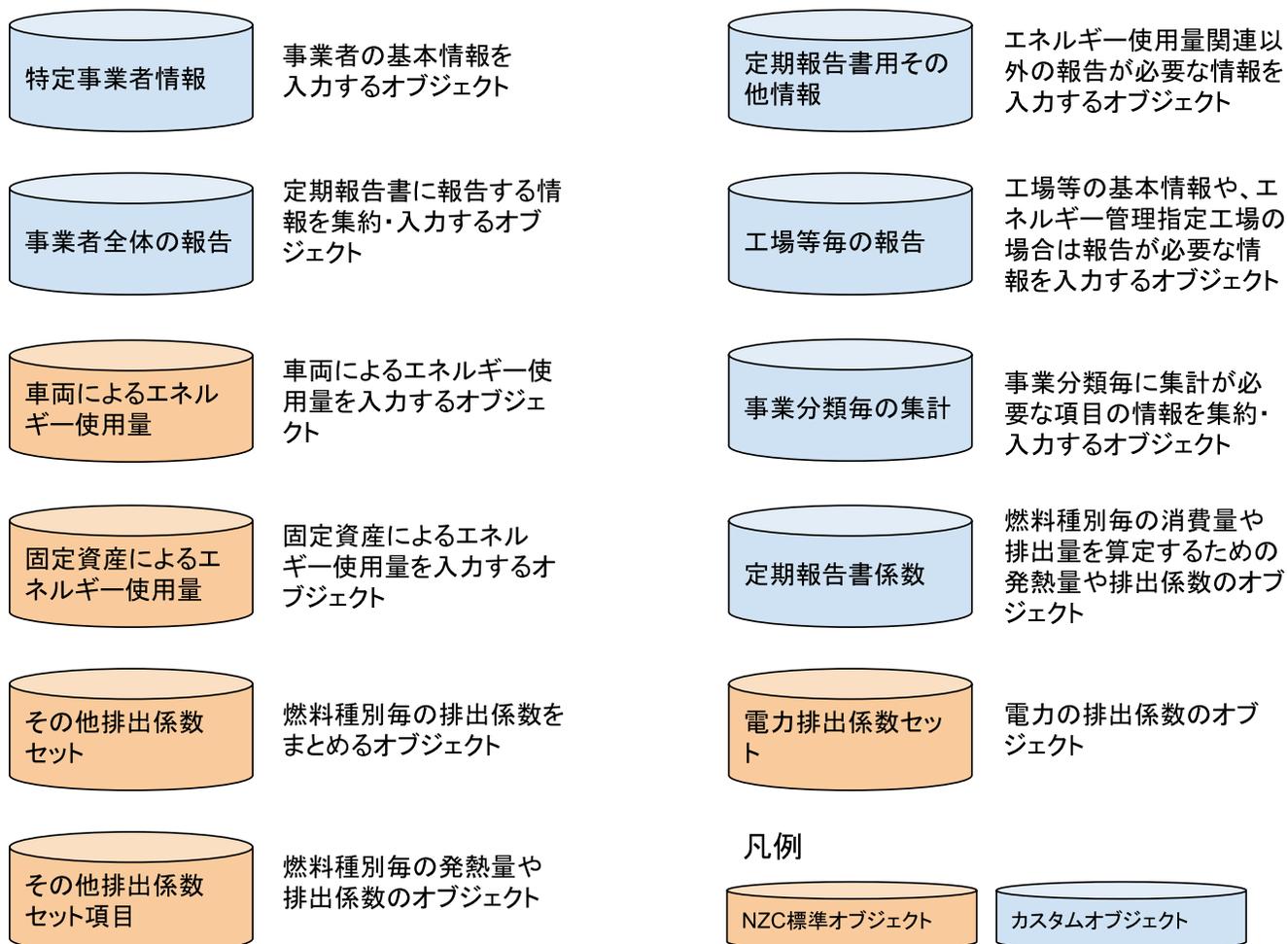


付録

オブジェクト構成図



オブジェクト機能説明



変更履歴

バージョン	変更日付	説明
1.0	2022/08/31	初版
2.0	2023/08/31	Ver.1.2に合わせて改版
2.1	2023/10/13	全般的に説明のわかりづらい箇所を改変